

# 子ども・子育て支援に関するニーズ調査 青少年の意識と行動調査

## 集計結果速報・概要版 ※単純集計の結果です

### < 調査概要 >

- ◆調査目的 子育てについての意識や教育・保育事業の利用状況と利用希望、また青少年の意識や生活実態などについて把握し、「第4次福岡市子ども総合計画」（平成27～31年度）を策定するための基礎資料を得ることを目的として調査を実施
- ◆調査地域 福岡市全域
- ◆抽出方法 住民基本台帳より抽出
- ◆調査方法 郵送法
- ◆調査期間 平成25年 10月～11月
- ◆調査対象者と回収数

調査票の種類	対象者数	回収数	回収率
乳幼児の保護者	9,000	5,074	56.4%
小学生の保護者	3,000	1,588	52.9%
中高生等の保護者	2,000	888	44.4%
中学生・高校生等	中学生1,000 高校生等1,000	中学生431 高校生等369	40.0%
青年 (18～30歳までの男女)	2,000	586	29.3%

- 【前回調査】 「次世代育成支援に関するアンケート調査」  
 (乳幼児、小学生：平成21年1月～2月実施)  
 (中学生・高校生等、青年：平成21年5月～6月実施)



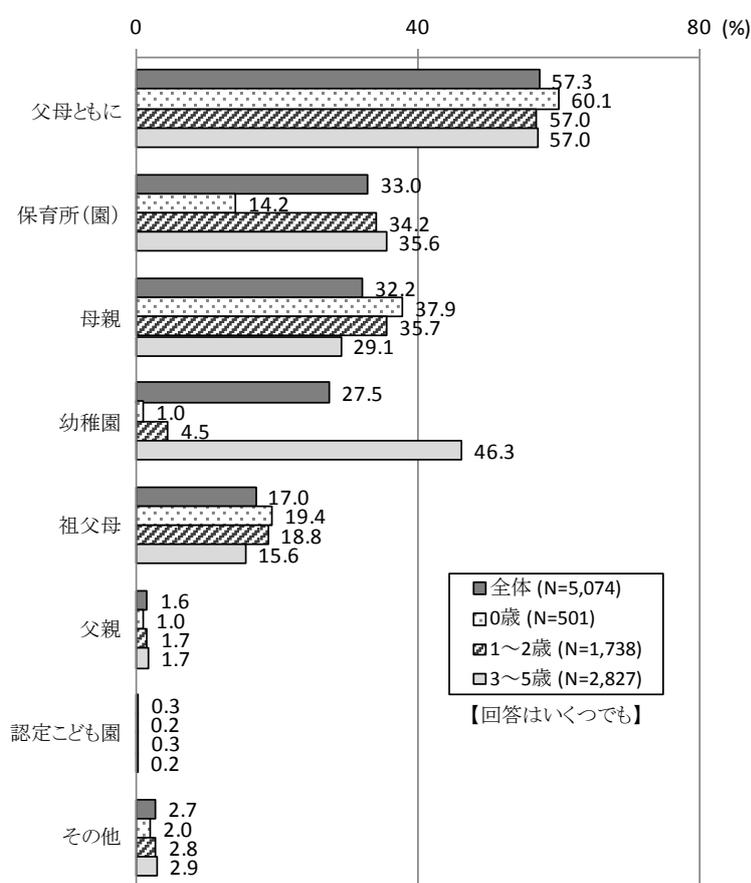
# 乳幼児の保護者

## 1. 子育て環境

### (1) 子育て（教育含む）に日常的に関わっている人（施設）

- 「父母ともに」が57.3%で1位。「保育所（園）」「母親」「幼稚園」と続いている。
- 「父親」は、1.6%と少ない。

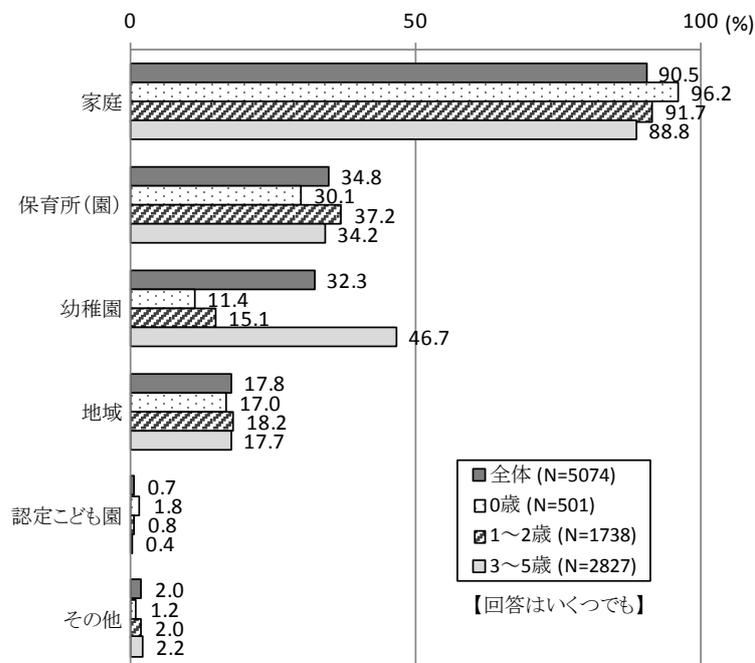
問10 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっているのはどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号すべてに○）



(2) 子育てに特に影響する環境

■「家庭」が約9割で圧倒的に高い。これに「保育所(園)」「幼稚園」が3割台で続いている。

問 11 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

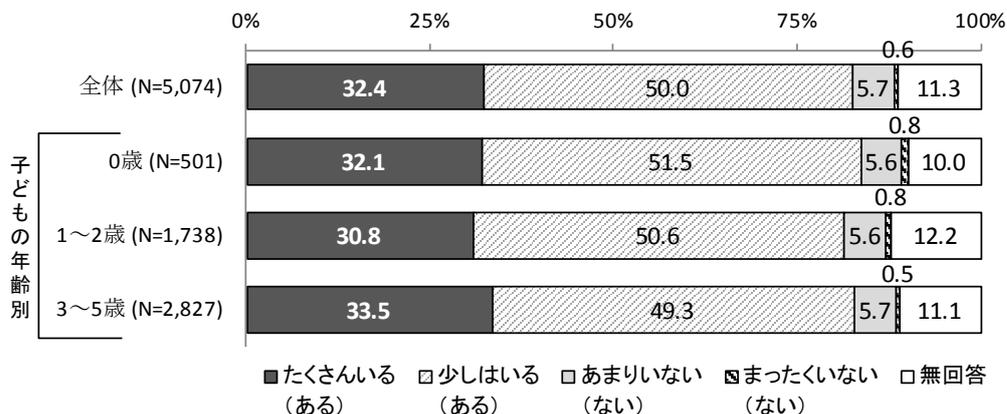


(3) 子育てに関する相談相手

①相談相手の有無

■相談できる人が「たくさんいる」人は32.4%、「少しはある」と合わせると8割を超える。  
 ■「まったくいない」人は0.6%となっている。

問 13 あて名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人、また、相談できる場所についてお答えください。(○は1つ)

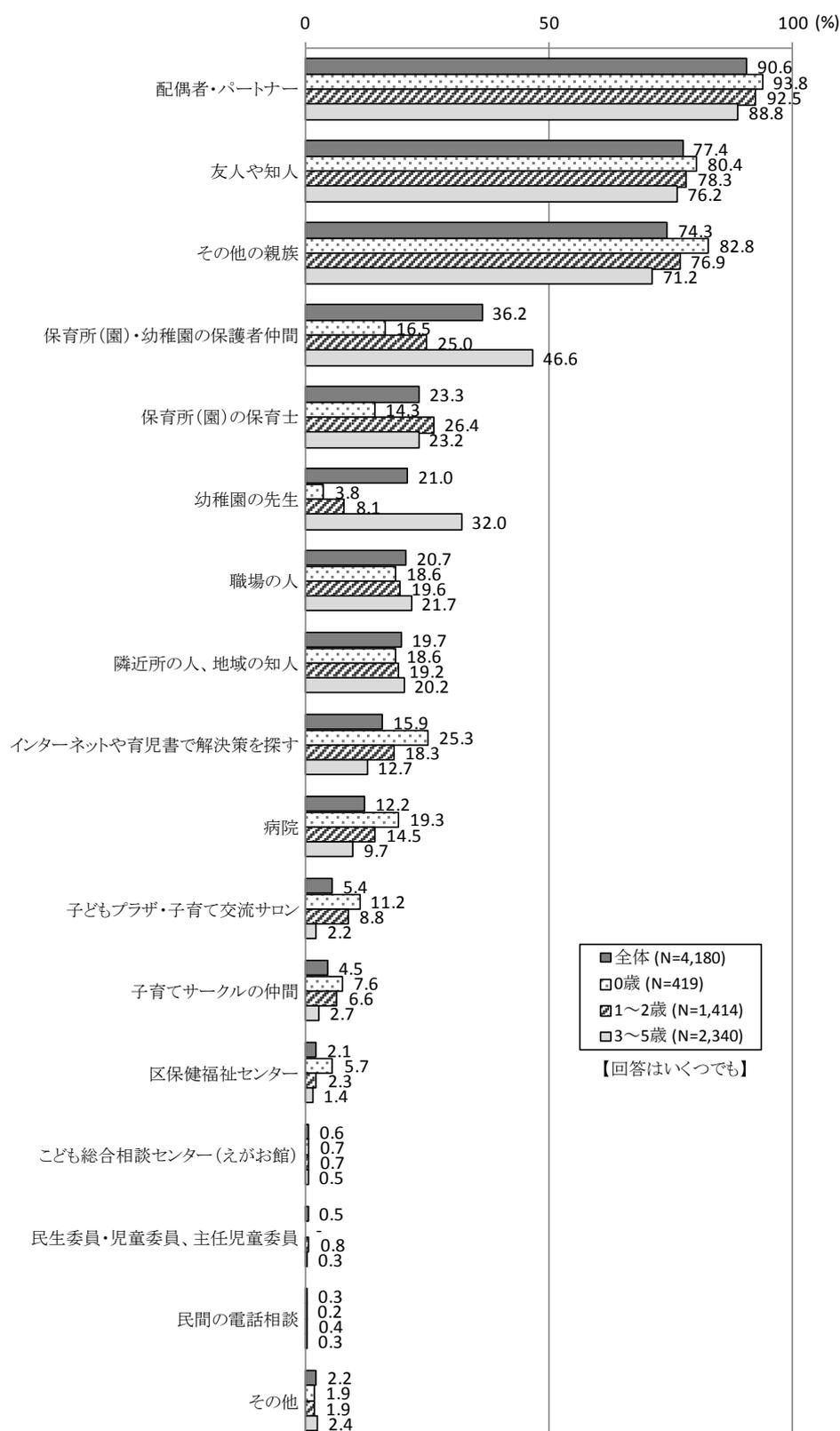


## ②気軽に相談できる相手

- 相談相手は「配偶者」が約9割。「友人・知人」「その他の親族」が7割台で続いている。  
 ■次いで「保育所(園)・幼稚園の保護者仲間」となっている。

問 13-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先についてお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

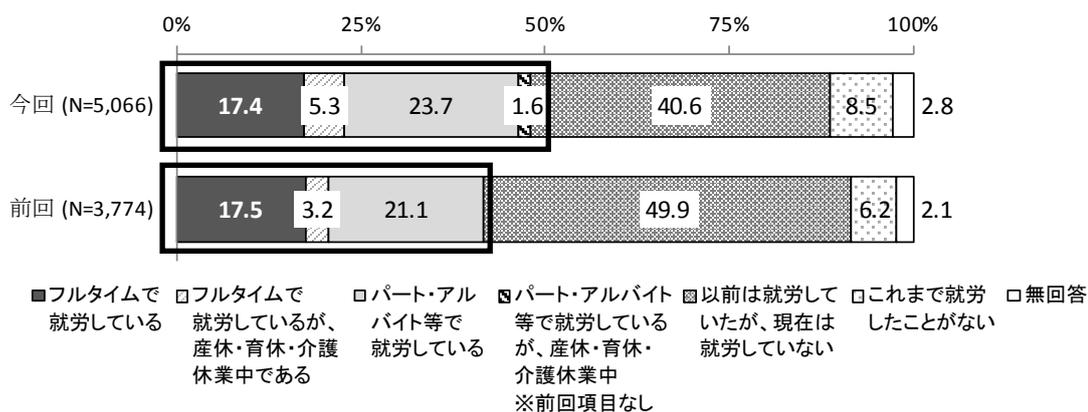


## 2. 保護者の就労状況

### (1) 母親の就労状況

■ 現在就労している人は、休業中の人も含め 48.0%。前回調査より 6.2 ポイント増加している。  
 ■ 「以前は就労していたが、現在は就労していない」 40.6%。前回調査より 9.3 ポイント減少している。

問 20 母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、お答えください。（○は1つ）

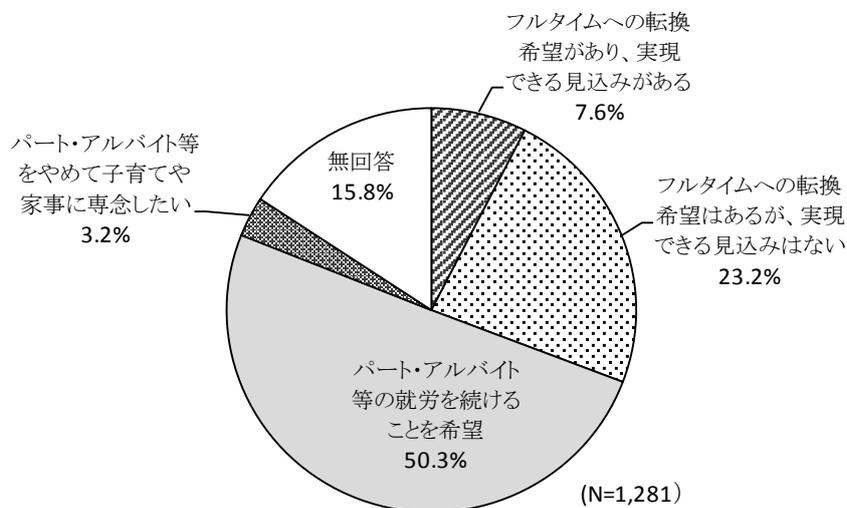


### (2) 母親の就労希望

#### ① パートタイムからフルタイムへの転換希望

■ 「フルタイム」への転換希望は 30.8%、「パート・アルバイト等の就労」継続希望が 50.3%。

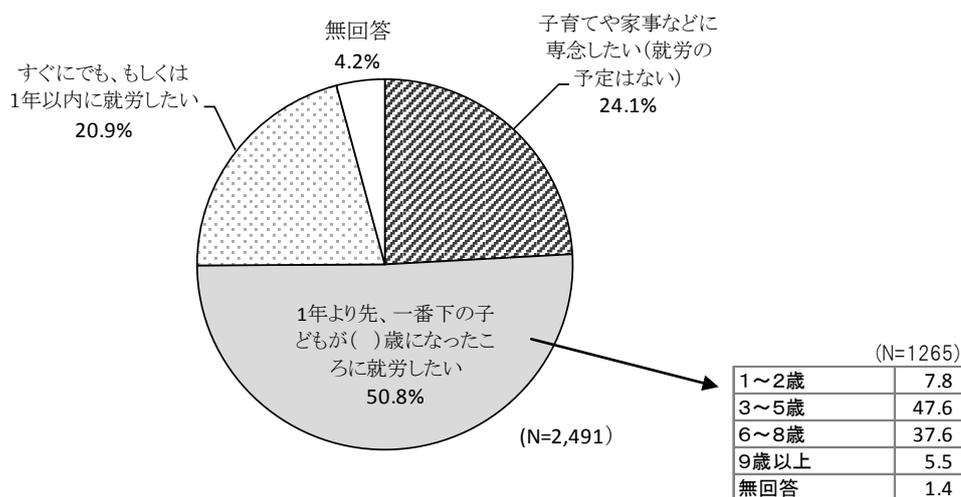
問 20-3 フルタイムへの転換希望についてお答えください。（○は1つ）



## ②現在働いていない母親の就労希望

■現在、働いていない母親の就労希望は、「1年より先に就労したい」が50.8%で最も高い。「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」は20.9%となっている。

問 20-4 就労への希望についてお答えください。(○は1つ。)

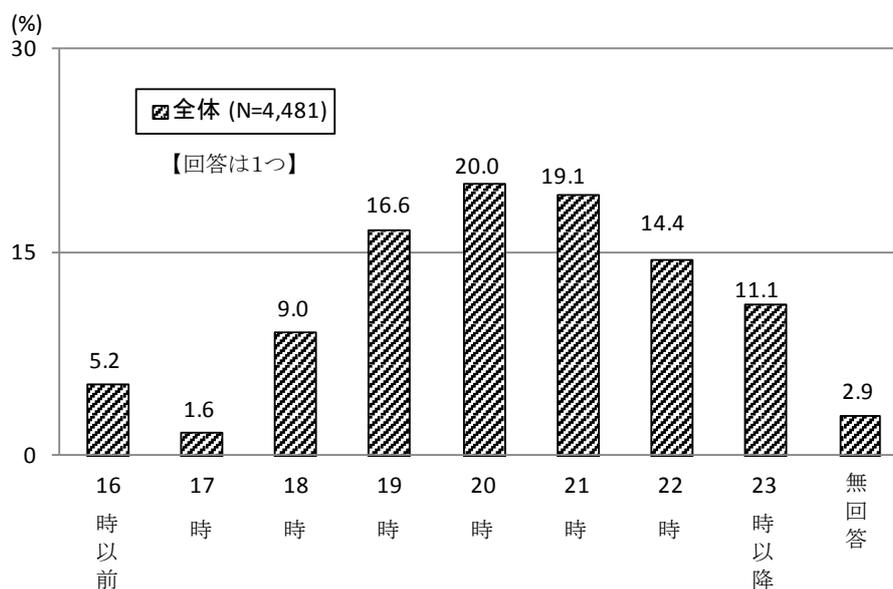


## (3) 父親の帰宅時刻

■父親の帰宅時刻は、「20時」が20.0%と最も高く、20時以降が6割を超えている。

問 21-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

一定でない場合は、もっとも多いパターンについて、育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



### 3. 定期的な教育・保育事業の利用状況

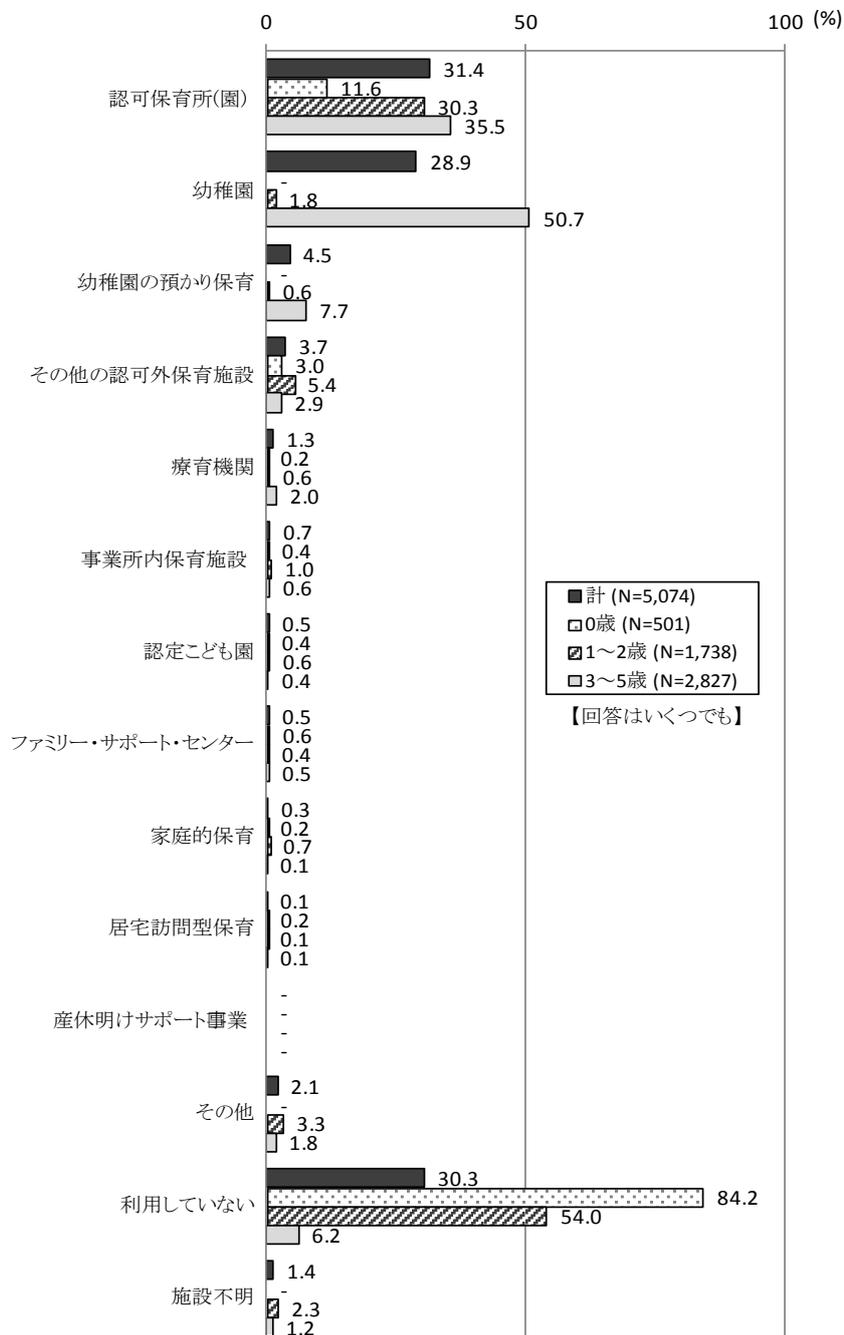
#### (1) 利用している施設と今後利用を希望する施設

##### ①利用している施設

- 0歳では、「利用していない」が 84.2%と最も多くなっているが、「認可保育所（園）」の利用が 11.6%となっている。
- 1～2歳でも「利用していない」が 54.0%で最も多く、「認可保育所（園）」の利用が 30.3%となっている。
- 3～5歳では「幼稚園」が 50.7%で最も多い。次いで「認可保育所」が 35.5%となっている。

問 22 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。

年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）



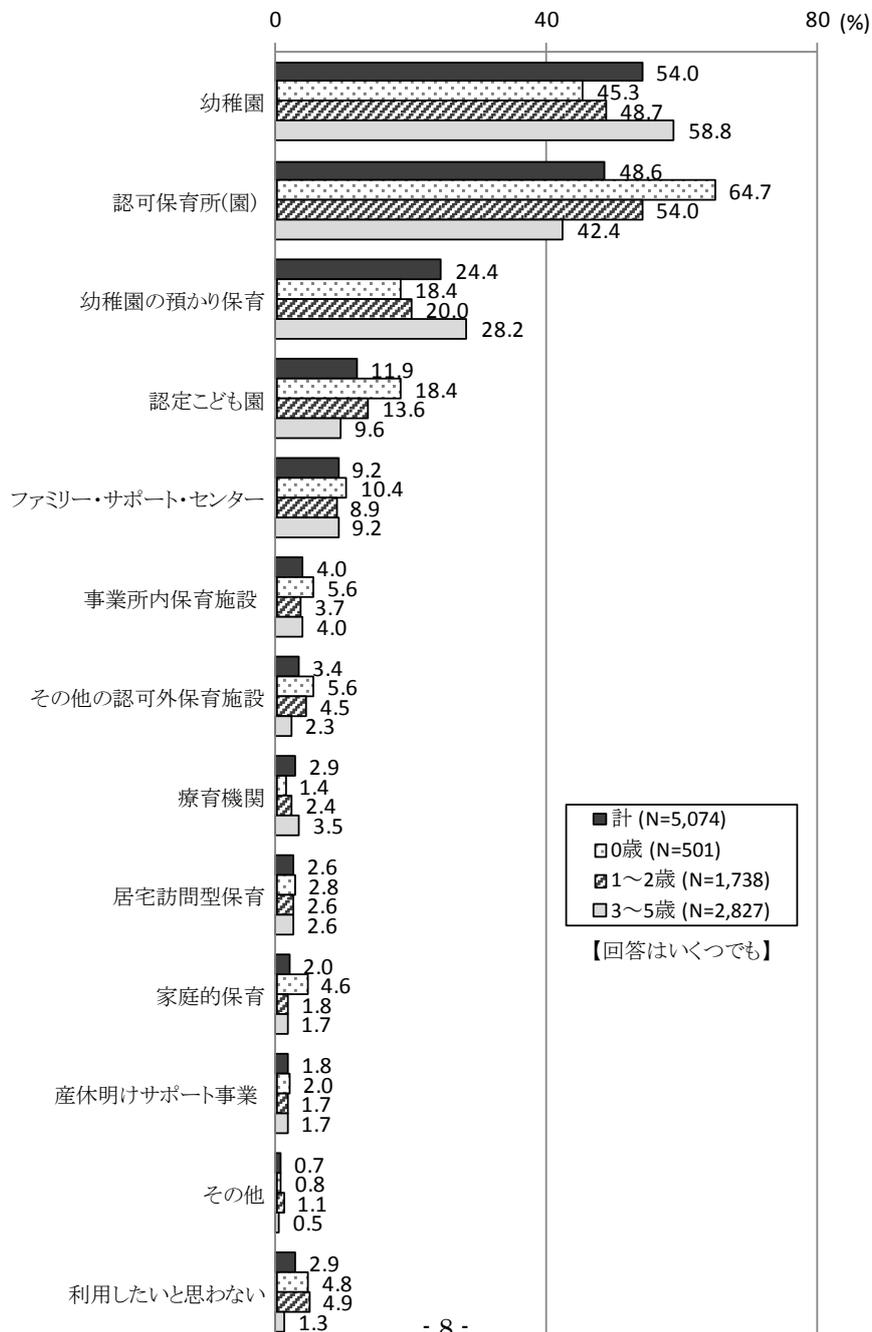
(%)

	標本数	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所(園)	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	施設 その他の認可外保育	居宅訪問型保育	産休 明けサポ ート	フ ァ ミ リ ー ・ サ ポ ー ト	療 育 機 関	そ の 他	利 用 し て い な い	施 設 不 明	無 回 答
全 体	計	5,074	28.9	4.5	31.4	0.5	0.3	0.7	3.7	0.1	0.5	1.3	2.1	30.3	1.4	0.4
	0歳	501	-	-	11.6	0.4	0.2	0.4	3.0	0.2	0.6	0.2	-	84.2	-	0.2
	1~2歳	1,738	1.8	0.6	30.3	0.6	0.7	1.0	5.4	0.1	0.4	0.6	3.3	54.0	2.3	0.4
	3~5歳	2,827	50.7	7.7	35.5	0.4	0.1	0.6	2.9	0.1	0.5	2.0	1.8	6.2	1.2	0.4
東 区	0歳	140	-	-	12.9	0.7	-	-	2.1	0.7	-	-	-	82.9	-	0.7
	1~2歳	477	1.3	0.8	34.8	0.4	0.2	0.8	3.8	-	0.2	0.6	3.8	52.4	2.1	0.2
	3~5歳	799	48.4	7.9	38.5	0.1	0.1	0.3	2.1	0.1	0.1	1.9	1.3	6.5	1.0	1.1
博多区	0歳	69	-	-	7.2	-	1.4	1.4	2.9	-	-	-	-	89.9	-	-
	1~2歳	221	1.4	1.4	34.8	-	0.5	0.9	3.2	-	0.9	0.9	2.3	52.9	1.8	0.9
	3~5歳	322	44.1	5.9	39.1	0.6	0.3	0.9	5.3	-	0.3	4.3	1.6	6.5	0.9	-
中央区	0歳	44	-	-	11.4	-	-	-	4.5	-	-	-	-	84.1	-	-
	1~2歳	173	0.6	0.6	22.5	0.6	2.3	-	13.3	-	0.6	0.6	1.7	55.5	2.9	0.6
	3~5歳	283	53.4	7.8	32.2	-	-	1.1	4.6	0.4	0.4	1.4	3.2	3.2	2.8	0.4
南 区	0歳	77	-	-	6.5	-	-	-	5.2	-	-	-	-	88.3	-	-
	1~2歳	292	3.1	-	27.1	0.3	1.0	1.4	5.8	-	0.3	0.3	5.1	54.5	1.7	0.3
	3~5歳	482	54.1	7.3	32.2	0.6	-	1.2	3.7	-	0.4	1.2	1.9	5.0	1.0	0.2
城南区	0歳	41	-	-	22.0	-	-	-	2.4	-	-	-	-	75.6	-	-
	1~2歳	135	2.2	0.7	33.3	0.7	-	0.7	4.4	0.7	-	0.7	3.7	48.9	5.2	-
	3~5歳	233	52.4	10.3	37.3	0.4	0.4	0.4	3.0	-	1.3	0.9	0.9	4.3	1.3	-
早良区	0歳	77	-	-	11.7	-	-	-	2.6	-	1.3	1.3	-	84.4	-	-
	1~2歳	242	1.7	0.4	28.1	1.7	1.2	1.2	4.1	0.4	0.4	0.8	3.3	55.0	2.1	0.4
	3~5歳	464	55.4	9.3	32.8	0.9	-	0.4	1.1	-	1.1	1.7	2.8	5.0	1.3	-
西 区	0歳	53	-	-	13.2	1.9	-	1.9	1.9	-	3.8	-	-	81.1	-	-
	1~2歳	198	2.5	0.5	26.8	0.5	-	1.5	6.1	-	0.5	-	1.5	59.1	2.0	0.5
	3~5歳	242	46.7	5.4	34.7	0.4	-	-	1.7	-	0.4	2.9	1.7	14.5	-	-
	無回答	10	30.0	-	30.0	-	-	-	10.0	-	-	-	-	30.0	-	-

②今後利用を希望する施設

- 0歳では、「認可保育所（園）」が 64.7%で最も多く、次いで「幼稚園」45.3%、「幼稚園の預かり保育」と「認定こども園」が18.4%で続いている。
- 1～2歳では、「認可保育所（園）」が 54.0%で最も多く、次いで「幼稚園」48.7%、「幼稚園の預かり保育」が20.0%となっている。
- 3～5歳では、「幼稚園」が 58.8%で最も多く、次いで「認可保育所（園）」42.4%が多く、「幼稚園の預かり保育」は28.2%で、他の年齢層より高い利用希望である。
- ファミリー・サポートセンターは、いずれの年齢でも1割前後の利用希望となっている。

問 23 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業について、お答えください。  
 (あてはまる番号すべてに○)



(%)

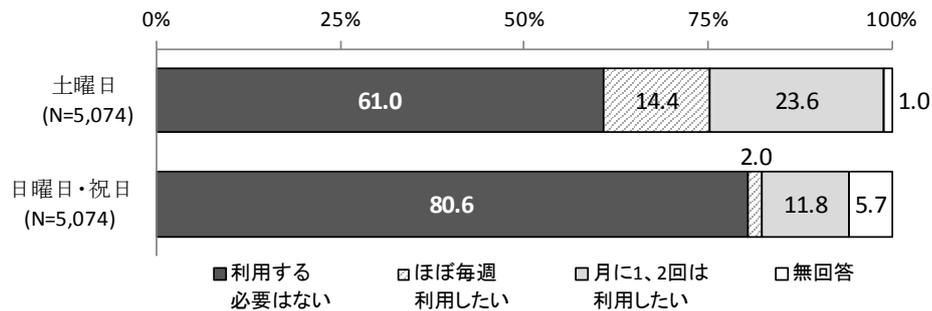
	標本数	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所(園)	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	施設 その他の認可外保育	居宅訪問型保育	業 産休明けサポート事	ト・セ ンター・サポ ー	療育機関	その他	い 利用 したい と思わ な	無 回答	
全体	計	5,074	54.0	24.4	48.6	11.9	2.0	4.0	3.4	2.6	1.8	9.2	2.9	0.7	2.9	0.9
	0歳	501	45.3	18.4	64.7	18.4	4.6	5.6	5.6	2.8	2.0	10.4	1.4	0.8	4.8	1.8
	1~2歳	1,738	48.7	20.0	54.0	13.6	1.8	3.7	4.5	2.6	1.7	8.9	2.4	1.1	4.9	1.2
	3~5歳	2,827	58.8	28.2	42.4	9.6	1.7	4.0	2.3	2.6	1.7	9.2	3.5	0.5	1.3	0.6
東区	0歳	140	50.0	24.3	60.7	20.0	3.6	4.3	4.3	1.4	1.4	7.9	0.7	0.7	5.0	0.7
	1~2歳	477	45.7	19.3	58.1	10.5	1.3	3.4	2.9	2.1	2.3	7.8	3.1	0.8	4.0	0.8
	3~5歳	799	56.7	27.2	44.8	8.0	1.8	2.9	1.8	2.4	1.3	8.0	3.0	0.5	1.1	0.5
博多区	0歳	69	37.7	8.7	69.6	18.8	4.3	4.3	4.3	4.3	1.4	10.1	1.4	1.4	2.9	1.4
	1~2歳	221	49.3	18.1	59.3	17.6	1.8	5.0	2.7	3.6	1.8	8.1	2.3	1.4	4.1	0.9
	3~5歳	322	51.6	22.7	47.2	13.7	1.2	5.3	2.8	1.6	1.2	7.8	5.3	0.3	1.2	0.9
中央区	0歳	44	54.5	18.2	59.1	15.9	9.1	2.3	9.1	-	-	4.5	-	-	4.5	-
	1~2歳	173	48.0	24.3	51.4	17.9	5.2	4.0	13.3	1.7	2.3	13.3	3.5	1.2	4.6	1.2
	3~5歳	283	61.5	30.0	44.2	11.7	2.8	6.7	3.9	2.8	1.8	8.8	2.8	0.7	1.4	0.4
南区	0歳	77	50.6	20.8	67.5	20.8	6.5	11.7	9.1	5.2	3.9	16.9	-	-	5.2	3.9
	1~2歳	292	49.0	19.2	52.7	14.4	2.7	4.1	4.1	3.1	1.7	8.9	1.7	1.0	7.2	0.7
	3~5歳	482	59.1	28.2	41.9	10.8	1.9	4.6	3.1	3.3	2.5	8.7	2.9	0.2	1.7	0.4
城南区	0歳	41	46.3	26.8	73.2	14.6	-	4.9	4.9	-	-	14.6	4.9	2.4	2.4	2.4
	1~2歳	135	51.9	22.2	48.9	12.6	0.7	3.0	0.7	1.5	0.7	8.9	3.7	2.2	6.7	3.0
	3~5歳	233	59.7	30.5	39.1	7.7	1.7	1.7	2.1	3.0	1.3	12.0	3.9	0.9	0.9	0.4
早良区	0歳	77	33.8	13.0	67.5	18.2	-	3.9	2.6	2.6	1.3	7.8	1.3	1.3	5.2	3.9
	1~2歳	242	51.2	18.6	50.8	12.4	0.4	2.9	5.0	2.1	0.4	8.7	1.7	1.2	5.0	0.8
	3~5歳	464	62.5	31.7	37.3	8.0	1.3	2.8	1.3	2.4	1.3	10.8	3.2	0.4	0.6	0.9
西区	0歳	53	43.4	13.2	58.5	15.1	11.3	7.5	7.5	5.7	5.7	13.2	3.8	-	7.5	-
	1~2歳	198	50.5	21.2	49.5	14.1	1.5	4.0	5.6	4.0	2.0	9.1	1.0	0.5	4.0	2.0
	3~5歳	242	64.0	27.3	40.5	9.5	1.7	5.8	2.1	2.9	3.7	10.7	4.5	0.8	2.5	0.4
	無回答	10	50.0	20.0	60.0	20.0	-	-	10.0	10.0	-	20.0	-	-	10.0	-

(2) 土曜・休日の利用意向と月に1、2回利用したい理由

①土曜・休日の利用意向

■「利用する必要はない」が高く、土曜日の利用希望は、「月に1、2回」が23.6%、「ほぼ毎週」が14.4%。

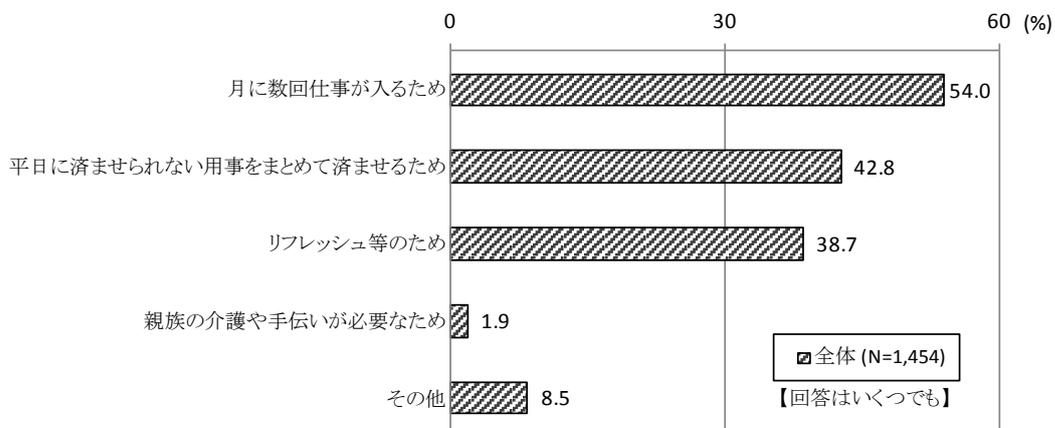
問 24 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。



②月に1、2回利用したい理由

■「月に数回仕事が入るため」が54.0%で最も多い。

問 24-1 毎週ではなく、月に1、2回だけ利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

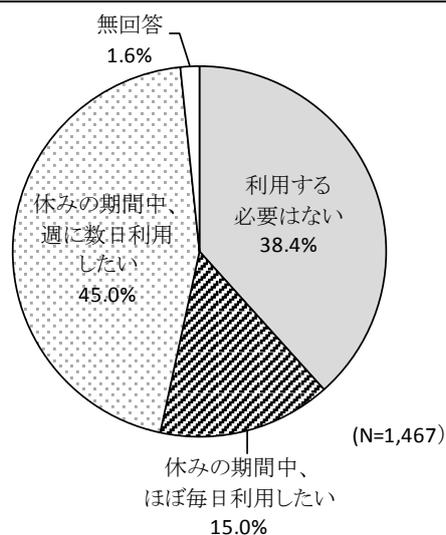


## (3) 幼稚園利用者の長期休暇中の利用意向と週に数日利用したい理由

## ①長期休暇中の利用意向

■休みの期間中「週に数日利用したい」45.0%、「ほぼ毎日利用したい」15.0%を合わせて、60.0%が利用を希望している。

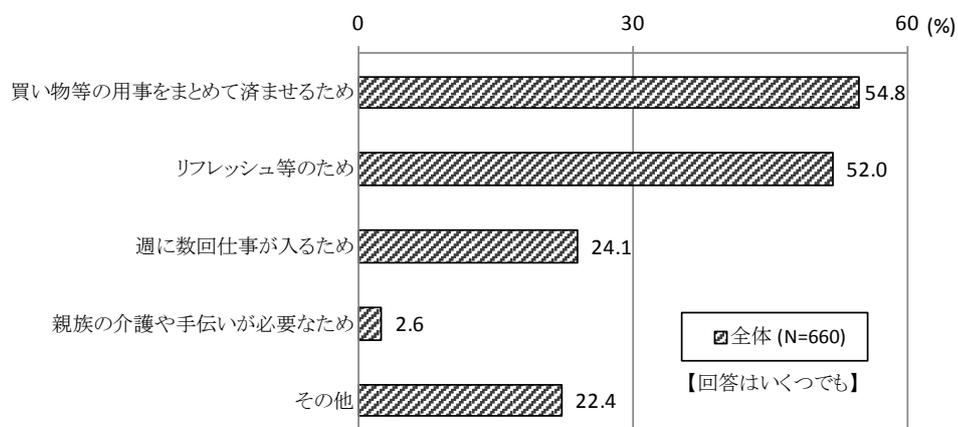
問 25 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。(○は1つ)



## ②週に数日利用したい理由

■週に数日利用したい理由は、「買い物等の用事を済ませるため」54.8%と「リフレッシュ等のため」52.0%が高い。

問 25-1 毎日ではなく、週に数日だけ利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)



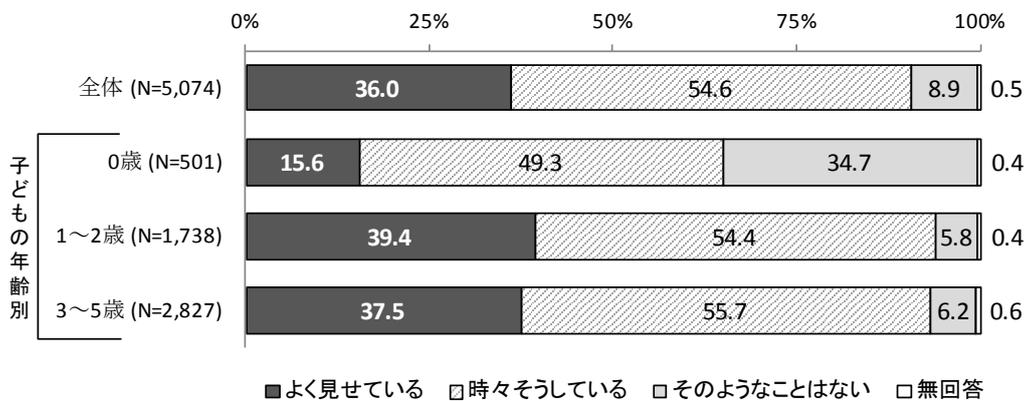
#### 4. 子どもの日ごろの生活や居場所

##### (1) 日ごろの生活

###### ① テレビやビデオ、携帯・スマートフォン等を見せておくか

- 「よく見せている」 36.0%、「時々そうしている」 54.6%で、テレビやビデオ、携帯・スマートフォン等を見せている人は9割を超えている。
- 子どもが1～2歳では93.8%、3～5歳では93.2%が子どもにテレビやビデオ、携帯・スマートフォン等を「見せている」と回答している。

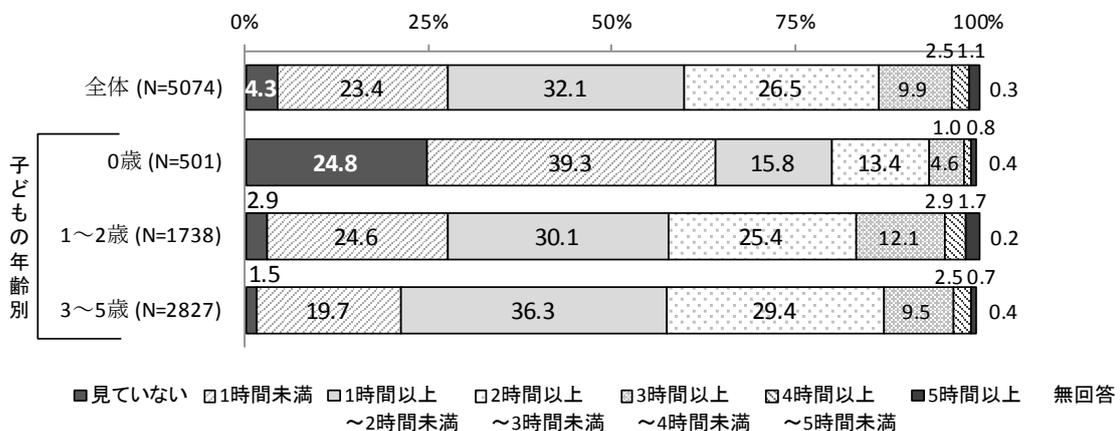
問 35 忙しいときなど、何らかの理由で子どもにテレビ、ビデオ、携帯・スマートフォン、パソコン・タブレットなどを見せておくことがありますか。(○は1つ)



###### ② テレビやビデオ、携帯・スマートフォン等を見せている時間

- 「1時間以上～2時間未満」 32.1%、「1時間未満」 23.4%で、2時間までの視聴が55.5%となっている。
- 子どもの年齢が0歳では、「見ていない」が24.8%と高いが、年齢があがるにつれて視聴時間が長くなり、3～5歳では「2時間以上～3時間未満」も約3割となっている。

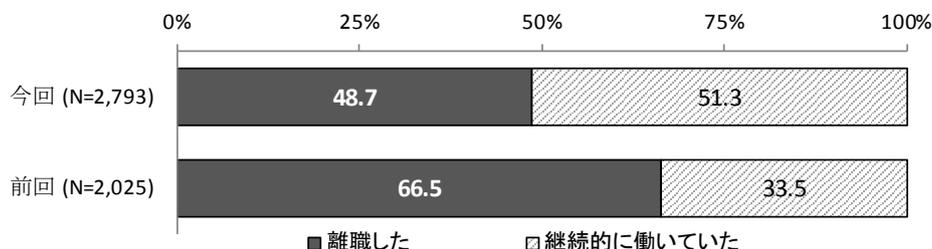
問 36 あて名のお子さんは、平均すると1日どれくらいの時間、テレビ、ビデオ、携帯・スマートフォン、パソコン・タブレットなどを見ていますか。ゲームをしている時間も含まれます。(○は1つ)



## 5. 育児休業など両立支援制度

### (1) 出産前後の母親の就労状況

- 就労していた母親のうち約5割が妊娠・出産を機に離職している。
- 前回調査と比較すると「離職した」は17.8ポイント減少。



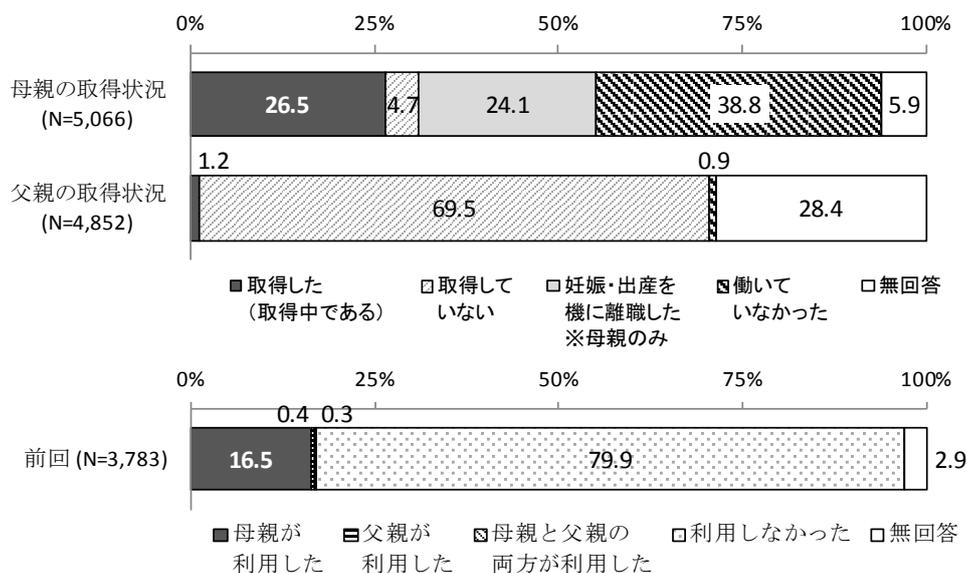
#### 【今回】

離職した ⇒ 問 32 「3. 妊娠・出産を機に離職した」と  
問 32-1 「3. 育児休業中に離職した」の合計。  
継続的に働いていた ⇒ 問 32-1 「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と  
問 32-1 「2. 現在も育児休業中であり、職場に復帰予定である」と  
問 32 「2. 取得していない」の合計。

### (2) 育児休業制度の取得状況

- 母親が育児休業を「取得した」は26.5%で、「妊娠・出産を機に離職した」人も24.1%いる。
- 母親の取得は、前回調査の16.8%から大幅に増加している。

問 32 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。  
(それぞれ○は1つ)

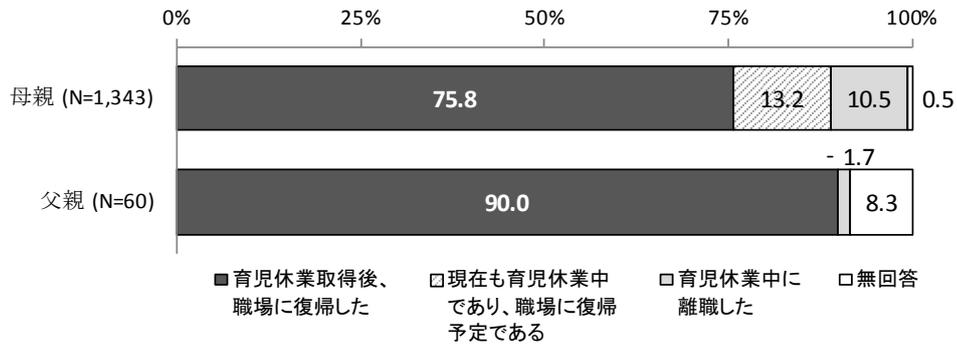


※前回調査は母親・父親の別はなし

(3) 育児休業取得後の職場復帰

■ 育児休業を取得した母親の75.8%が職場に復帰している。復帰予定の人を加えると、約9割が復帰した(する)と回答している。

問 32-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(それぞれ○は1つ)

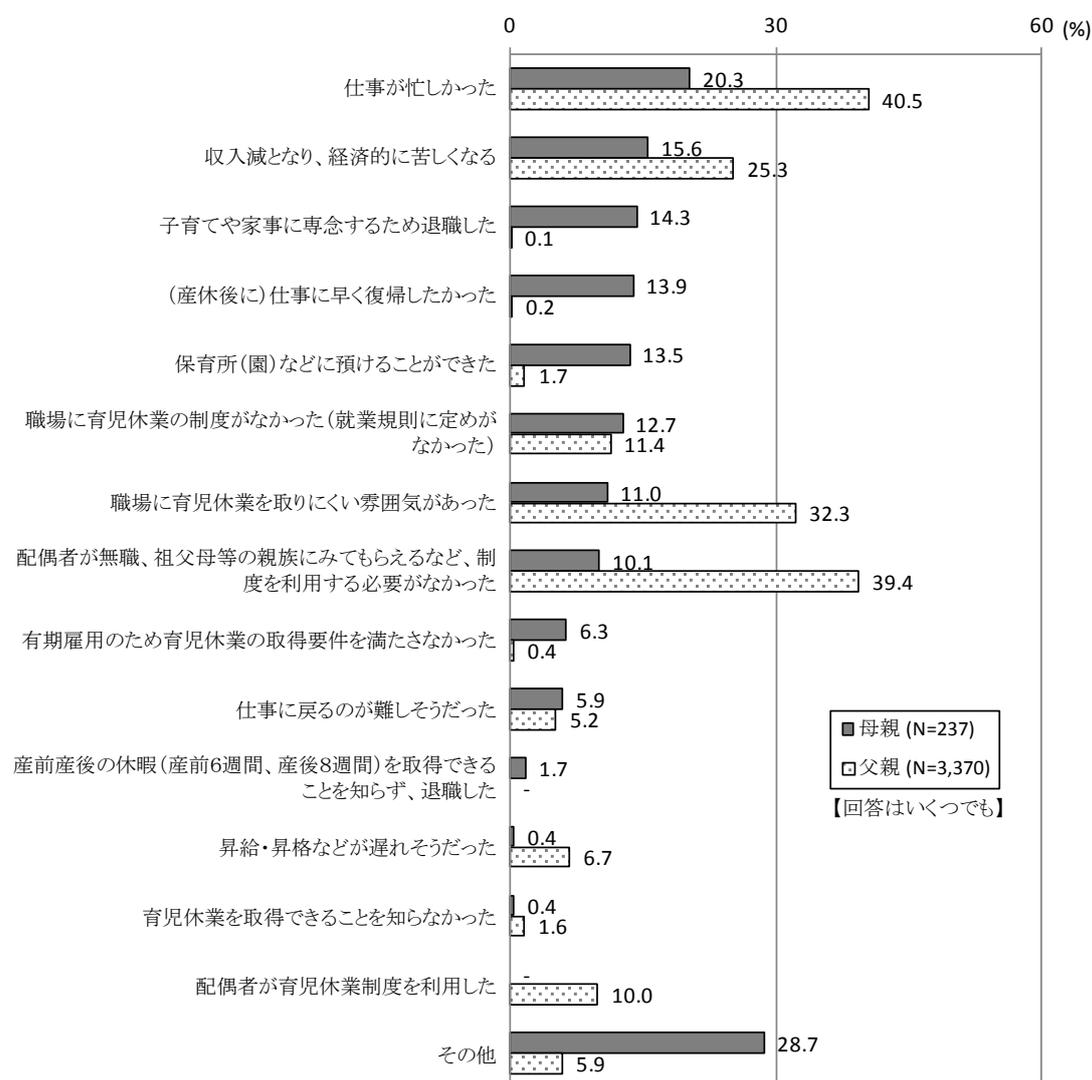


## (4) 育児休業制度を利用しなかった理由

■母親では「仕事が忙しかった」が20.3%で最も高い。次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」「子育てに専念するために退職した」「仕事に早く復帰したかった」「保育所(園)に預けることができた」など理由は多岐にわたっている。

■父親は、「仕事が忙しかった」「配偶者が無職等利用する必要がなかった」が約4割と高いが、これに次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が32.3%と高い。

問 32-8 育児休業を取得されなかった理由はなぜですか。(枠内にあてはまる番号すべてを記入)



## 6. 子育てに関する意識とかかわり

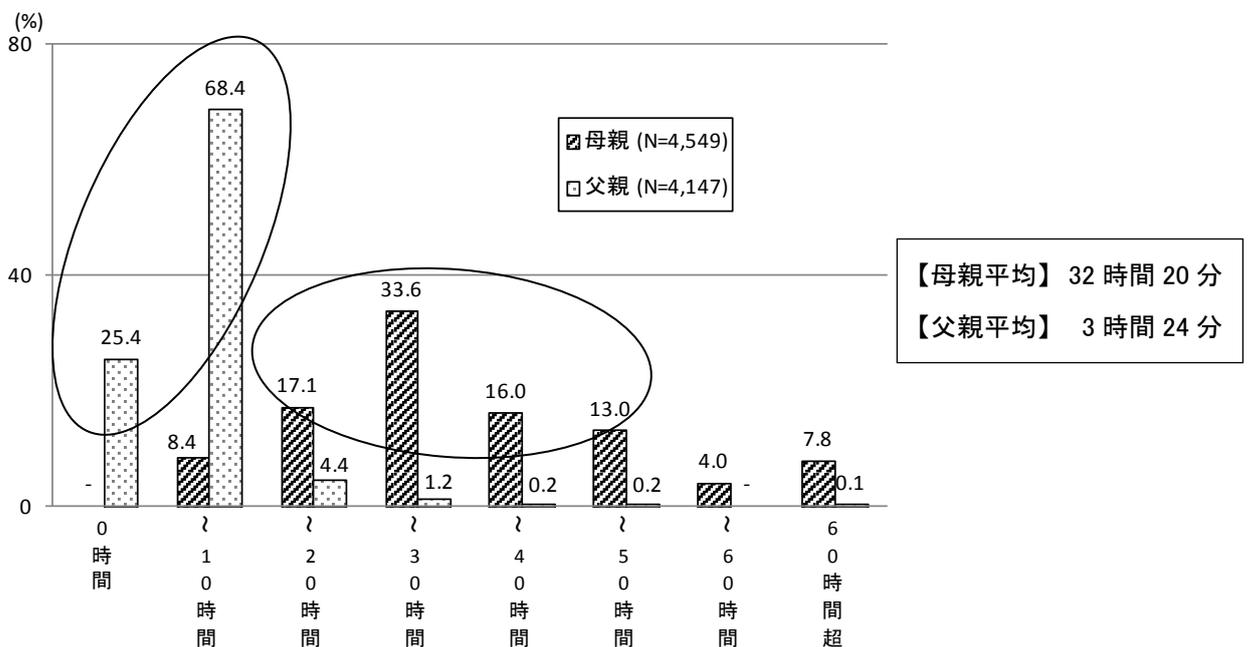
### (1) 家事・育児時間（1週間あたり）

■母親の家事時間は、「～30時間」が33.6%、「～40時間」「～50時間」「～20時間」も1割を超えているのに対して、父親は「～10時間」が約7割、「0時間」も25.4%いる。

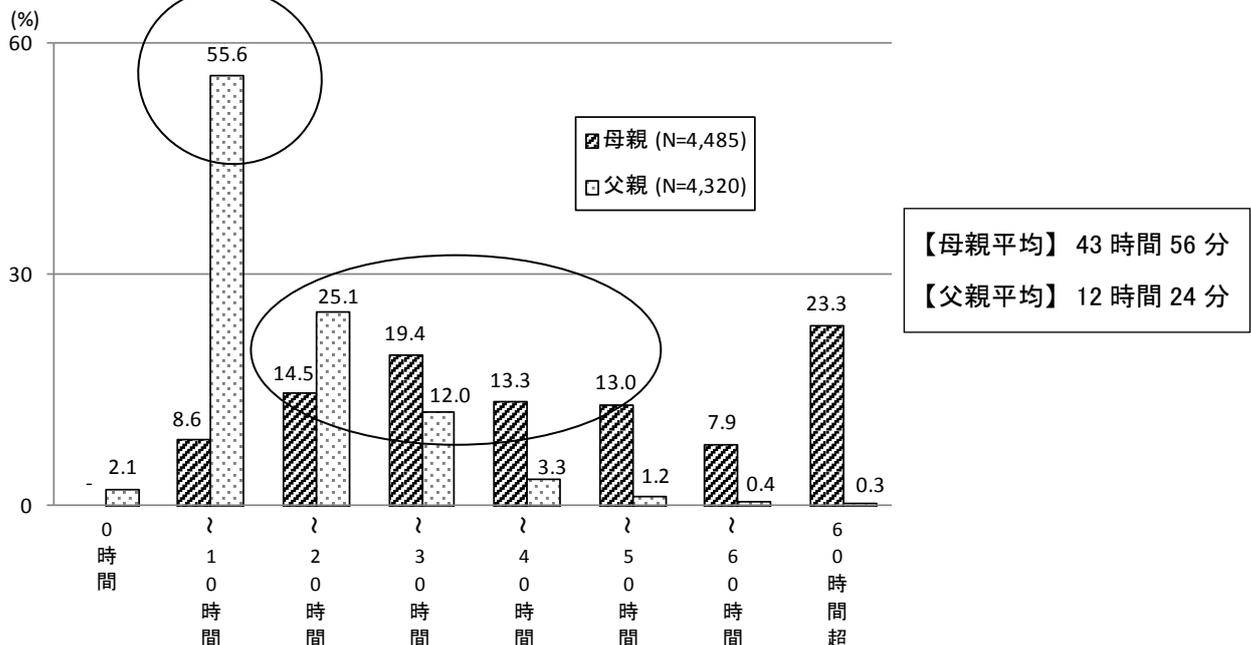
■母親の育児時間は、「～30時間」が19.4%、「～40時間」「～50時間」も1割を超えているが、父親は「～10時間」が55.6%、「～20時間」が25.1%。

問43 あて名のお子さんの母親・父親の1週間の家事・育児時間はどれくらいですか。

#### 《家事時間の分布》



#### 《育児時間の分布》

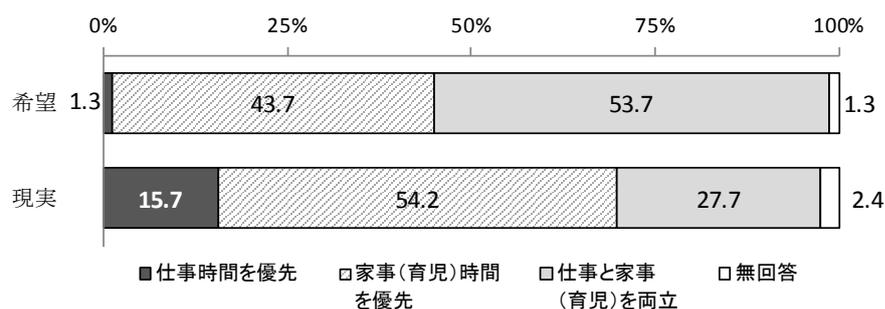


## (2) 仕事と家事（育児）の優先順位（母親）

■希望では「仕事と家事（育児）を両立」が53.7%で「家事（育児）時間を優先」43.7%より高くなっているが、現実では「家事（育児）時間を優先」の方が54.2%で高い。

問 31 あなたの生活の中での「仕事時間」と「家事（育児）時間」の優先度についてお答えください。  
（それぞれ〇は1つ）

【母親】全体 (N=4,826)

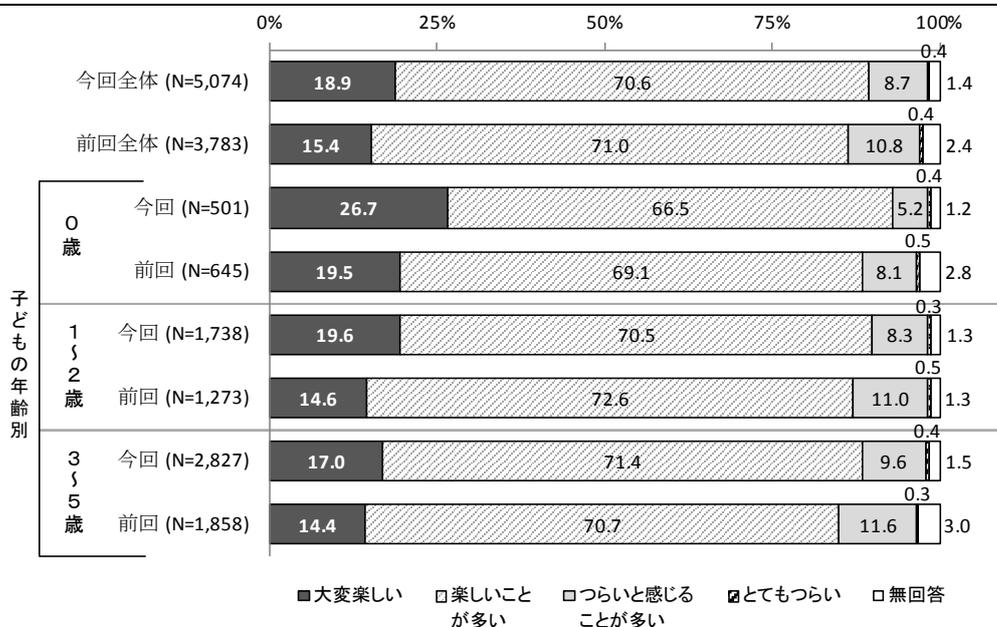


### (3) 子育ての意識

#### ①子育てを楽しんでいる割合

- 「大変楽しい」と「楽しいことが多い」を合わせて約9割が楽しいと感じている。
- 前回調査と比べて子育てを『楽しい』と感じる割合は、3.1ポイント増加。

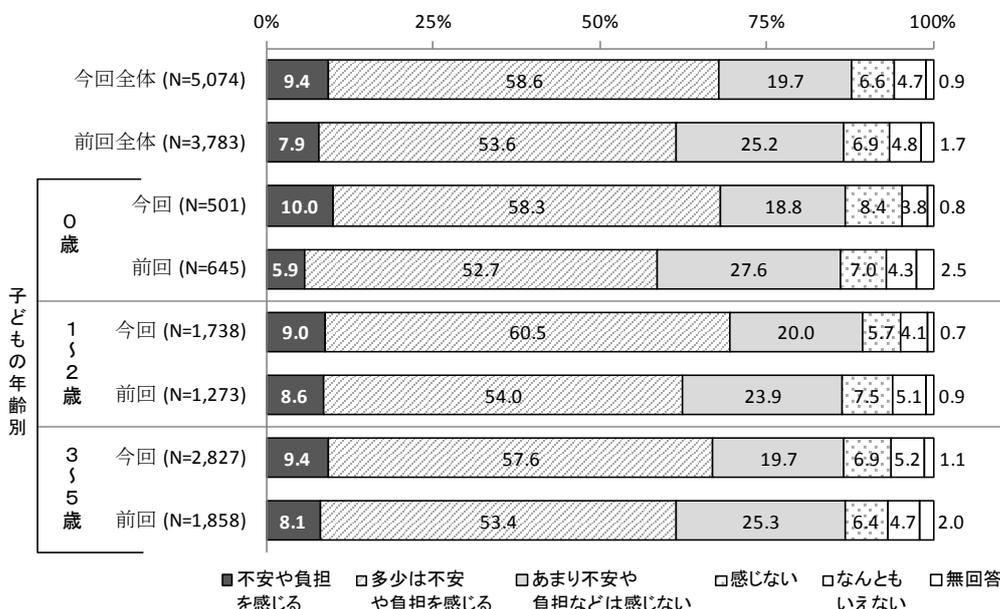
問 45 あなたは、子育てが楽しいですか。(○は1つ)



#### ②子育てについての不安・負担感

- 「不安や負担を感じる」が 9.4%、「多少は不安や負担を感じる」が 58.6%。合わせて 68% が不安・負担を感じている。
- 前回調査と比べて子育てに不安や負担を感じる割合は、6.5ポイント増加している。

問 46 子育てに関して不安や負担などはお感じですか。(○は1つ)

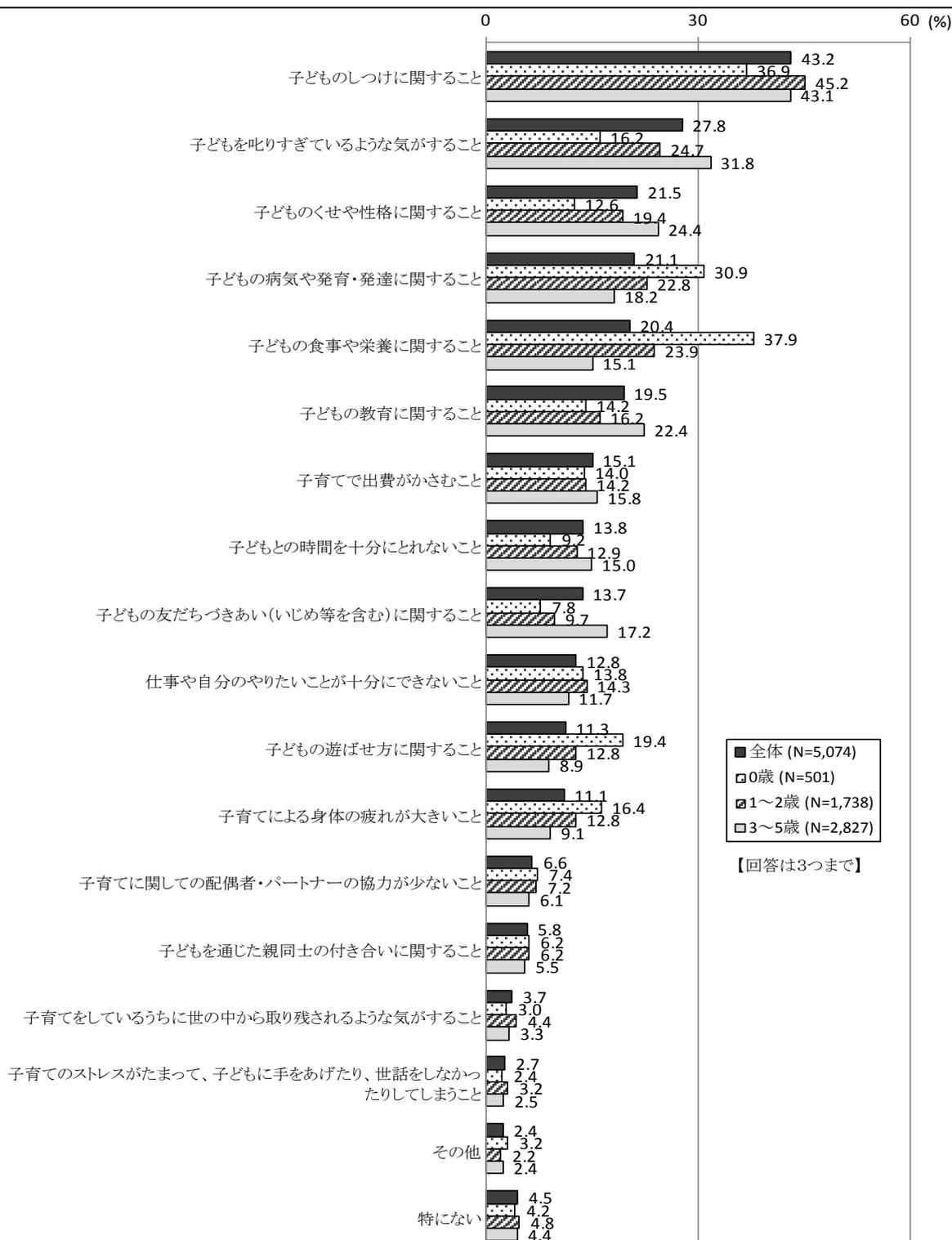


## ③子育ての悩み

■「子どものしつけに関すること」43.2%で最も高い。これに「子どもを叱りすぎているような気がする」「子どものくせや性格」「子どもの病気や発育・発達」等が2割台で続いている。

■子どもの年齢が0歳では「子どもの食事や栄養」「子どもの病気や発育・発達」が高く、3～5歳になると「子どもの教育」「子どもの友だちづきあい」等が高くなってくる。

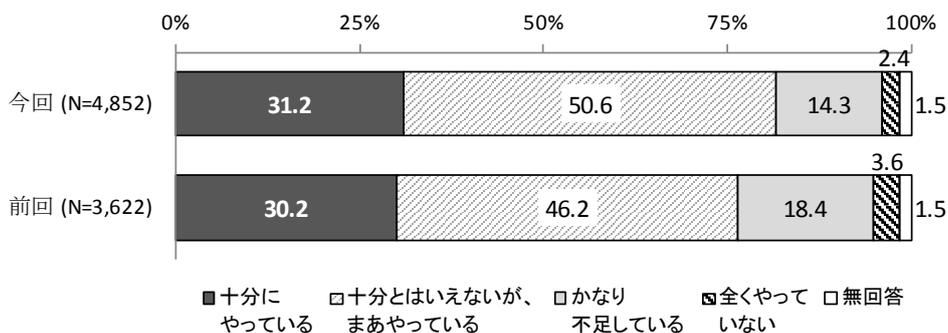
問47 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。  
(○は3つまで)



④父親の子育てへの評価

- 「十分にやっている」と「十分とはいえないがまあやっている」を合わせて母親の約8割が父親は子育てを「やっている」と評価している。
- 前回調査と比べて父親は子育てを『やっている』と評価する割合は、5.4ポイント増加している。

問 44 あなたのご家庭では、父親はどの程度子育てをしていますか。(○は1つ)

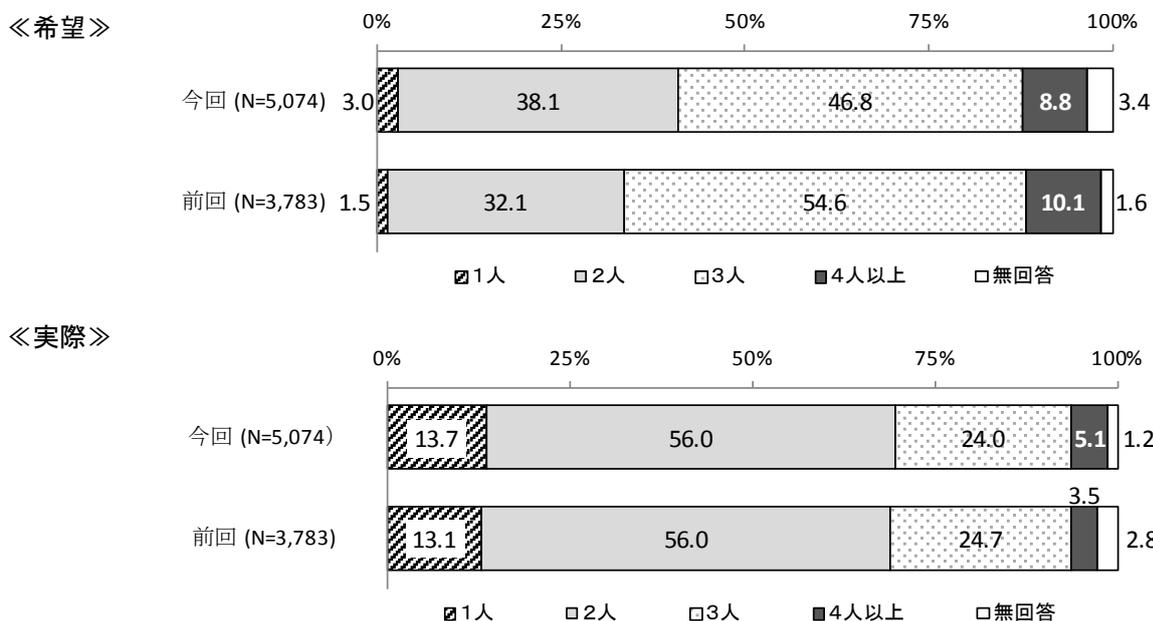


(4) ほしいと思っている子ども数と実際の子どもの数

①ほしい子どもの数と理想の子どもの数

- ほしい子どもの数は「3人」が46.8%で最も多いのに対して、実際の子どもの数では「2人」が56.0%で、希望より実際の子どもの数が少ない。
- ほしい子どもの数は、前回調査に比べて「2人」が増加し「3人」が減少している。

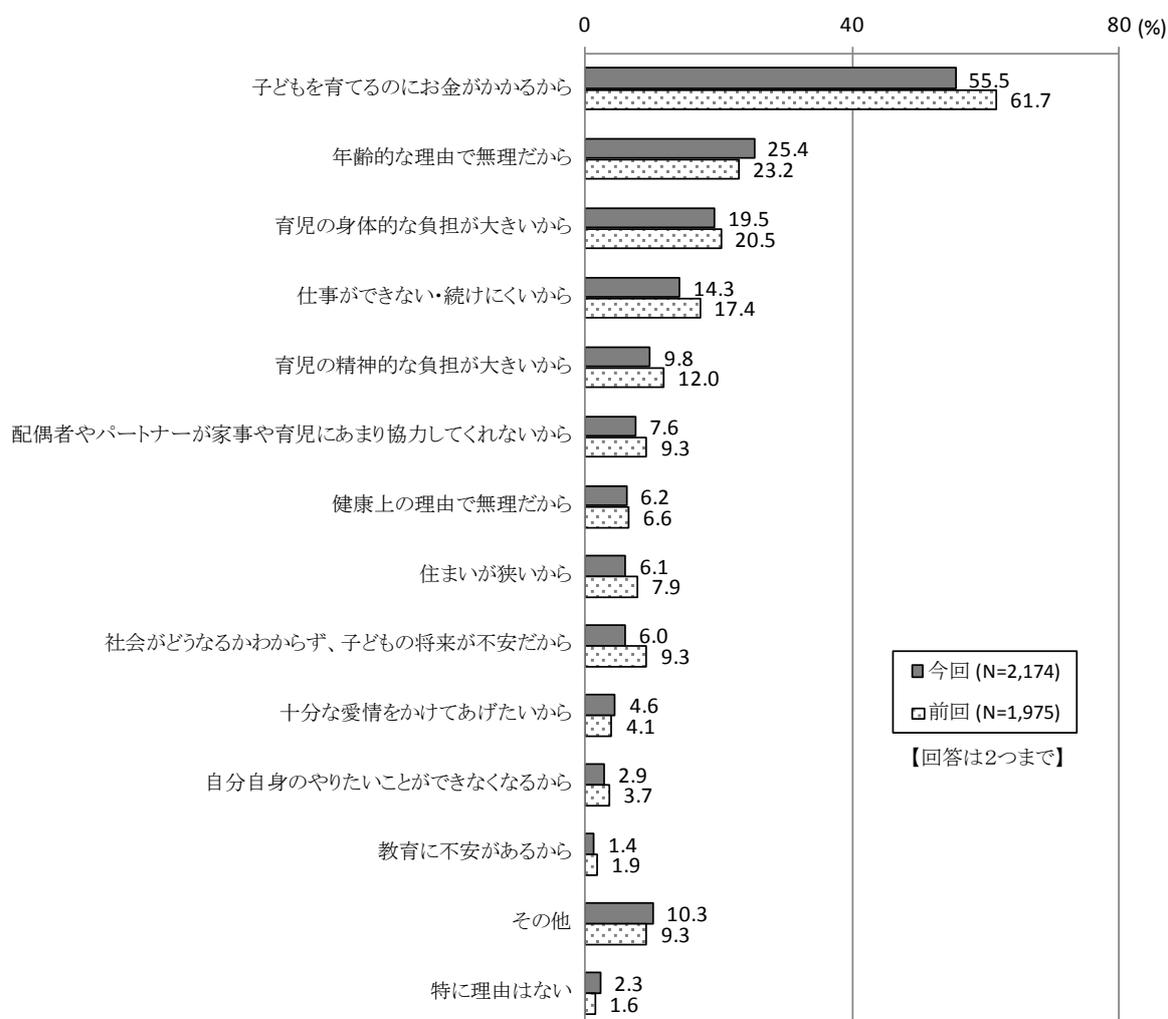
問 42 あなたが、ほしいと思っている子どもの数は何人ですか。  
また、実際に予定している子どもの数は何人ですか。(枠内に数字を記入)



## ②理想より実際の子ども数が少ない理由

■「子どもを育てるのにお金がかかる」55.5%が最も高い。次いで「年齢的な理由で無理だから」25.4%、「育児の身体的負担が大きいから」19.5%となっている。

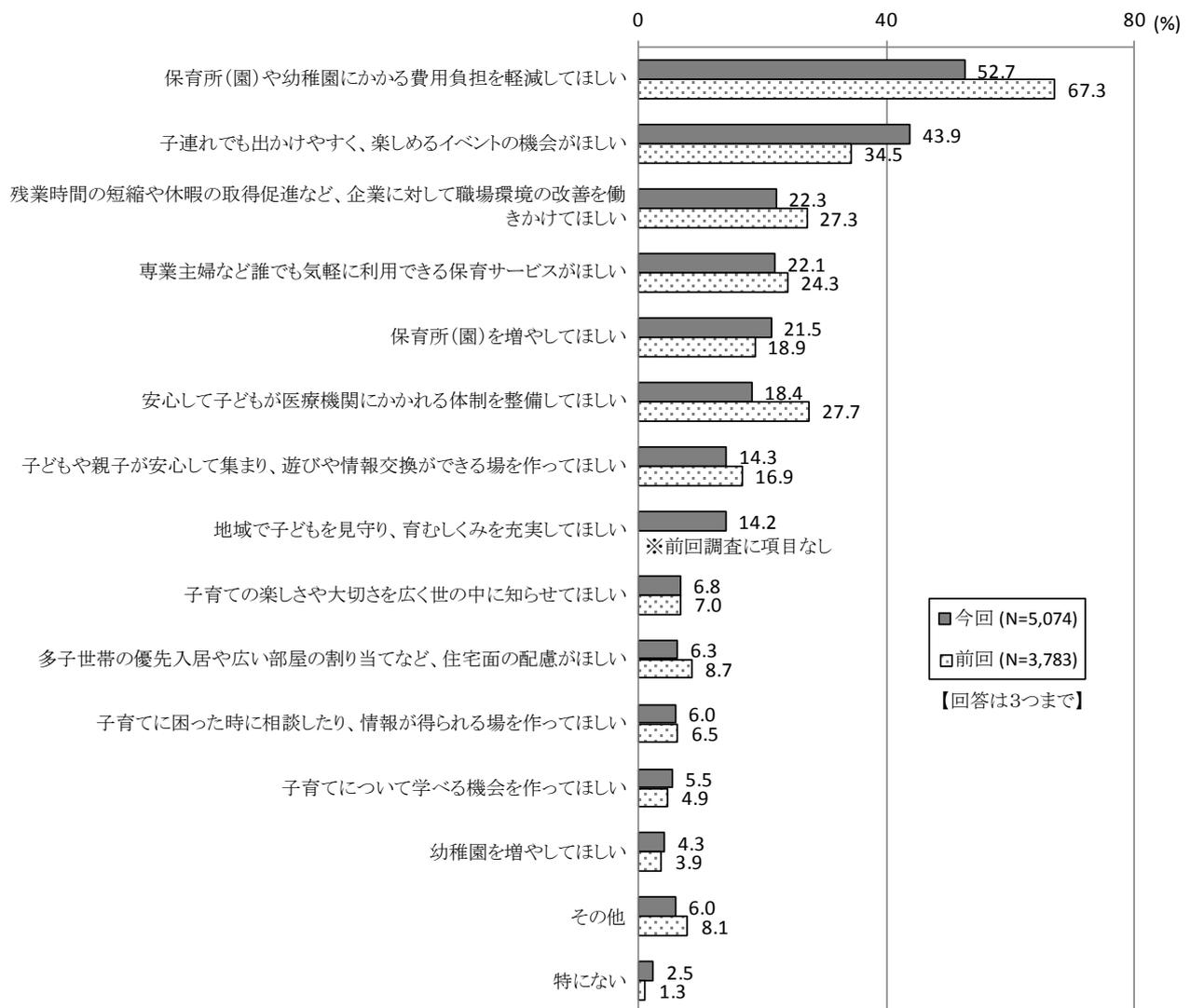
問 42-1 その理由はどのようなことですか。(○は2つまで)



## 7. 行政への要望

- 「保育所（園）や幼稚園にかかる費用負担軽減」52.7%が1位、次いで「子連れでも出かけやすく、楽しめるイベントの機会」43.9%が高い。以下、「企業に対して職場改善の働きかけ」「専業主婦など誰でも気軽に利用できる保育サービス」「保育所（園）を増やしてほしい」
- 前回調査に比べると、「費用負担の軽減」、「安心して医療機関にかかる体制整備」が減少し、「子連れが出かけやすく、楽しめるイベント」が増加している。

問 48 あなたは今後どのような子育て支援の充実を図ってほしいと思いますか。（〇は3つまで）



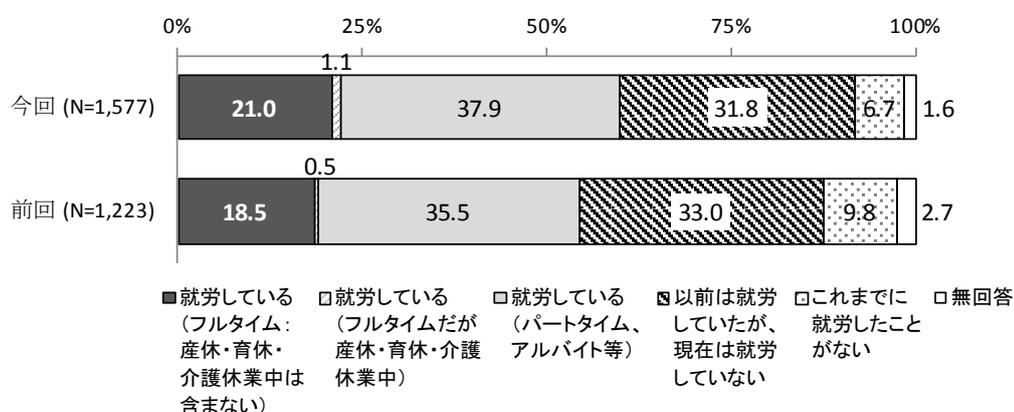
# 小学生の保護者

## 1. 保護者の就労状況

### (1) 母親の就労状況

- 「パートタイム・アルバイト等で就労している」人が 37.9%、育児休業中も含めた「フルタイムで就労している」人が 22.1%、母親の6割が就労している。
- 前回調査に比べて、就労している母親の割合は 5.5 ポイント増加している。

問 10 母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、選んでください。（○は1つ）

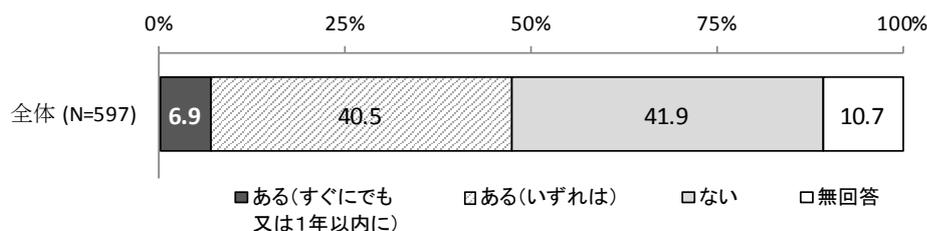


### (2) 母親の就労希望

#### ① パートタイムからフルタイムへの転換希望

- 「ある (すぐにでも)」6.9%と「ある (いずれは)」40.5%を合わせたフルタイムへの転換希望を持つ人は 47.4%、「ない」人も 41.9%いる。

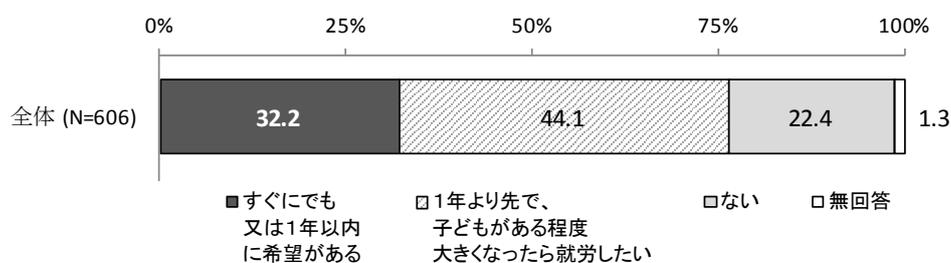
問 10 フルタイムへの転換希望がありますか。



②現在働いていない母親の就労希望

■「すぐにも又は1年以内に希望がある」32.2%、「1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい」44.1%で、母親の8割近くが就労希望をもっている。

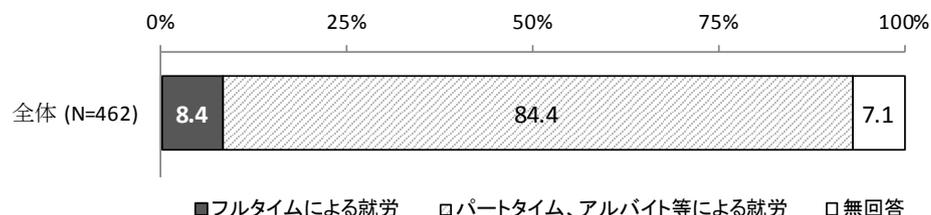
問 10-1 母親の就労希望はありますか。(○は1つ)



③希望する就労形態 (現在就労していないが就労希望がある人)

■「パートタイム・アルバイト等」が84.4%で圧倒的に多い。

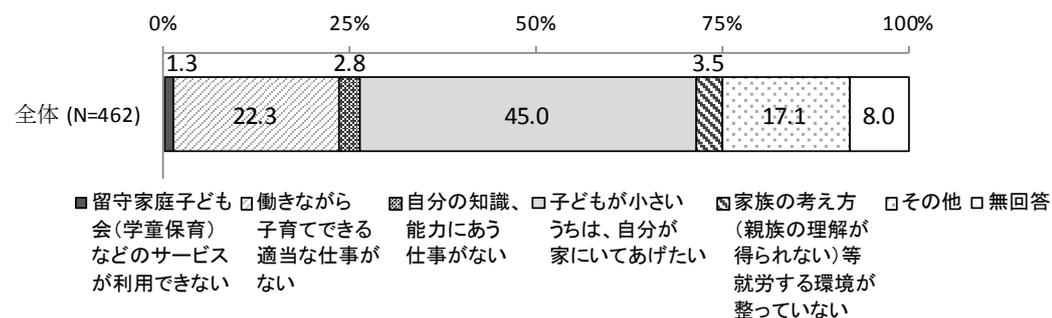
問 10-2 就労希望の形態はどのようなものですか。(○は1つ)



④就労希望がありながら働いていない理由 (母親)

■「子どもが小さいうちは、自分が家においてあげたい」が45.0%で最も多い理由である。

問 10-3 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。(○は1つ)

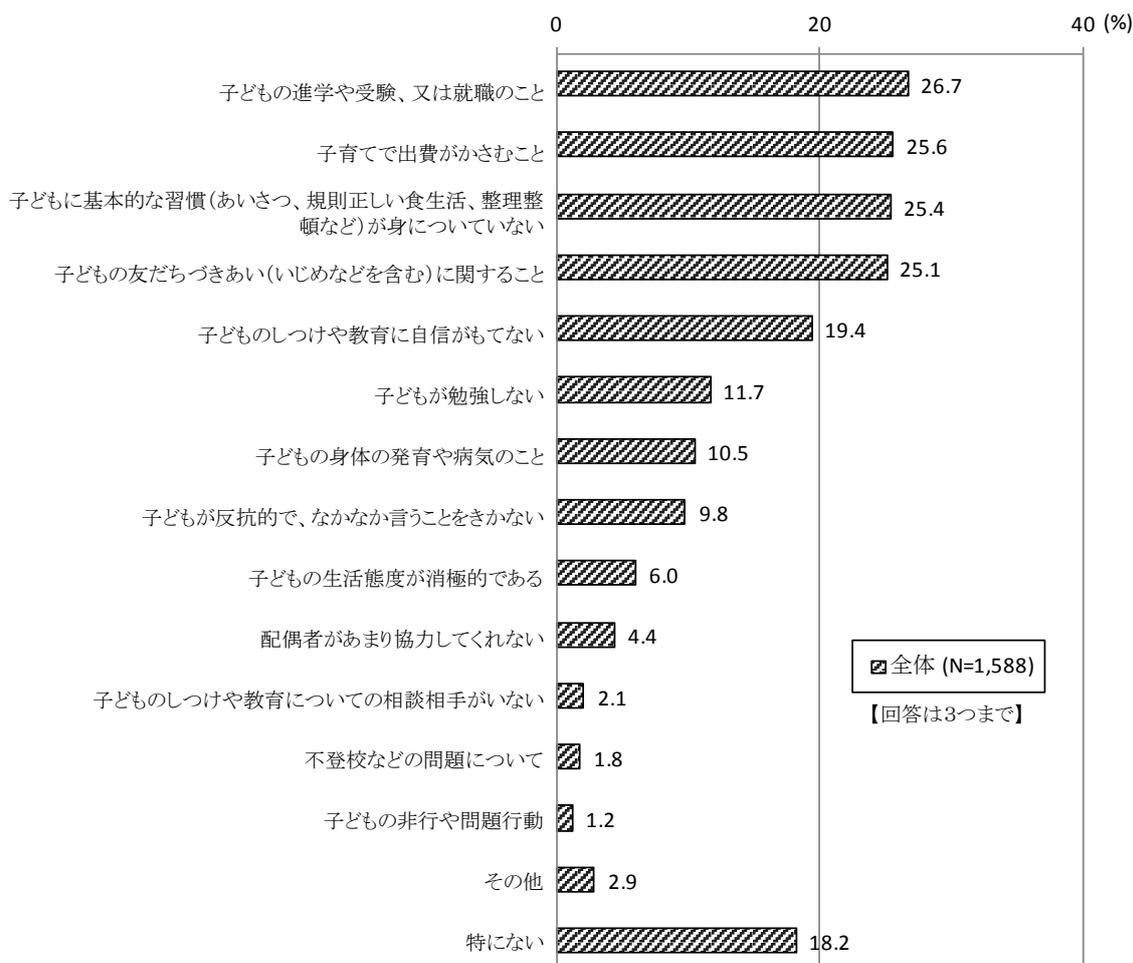


## 2. 子育てに関する意識とかかわり

### (1) 子育ての悩み

■ 「子どもの進学や受験、又は就職のこと」が26.7%で最も高く、これに「子育てで出費がかさむこと」「子どもに基本的な習慣(あいさつ、規則正しい食生活、整理整頓など)が身についていないこと」「子どもの友だちづきあいに関すること」が2割台で続いている。

問 22 あなたが子育てに関して、悩んでいることや気になることはありますか。(〇は3つまで)



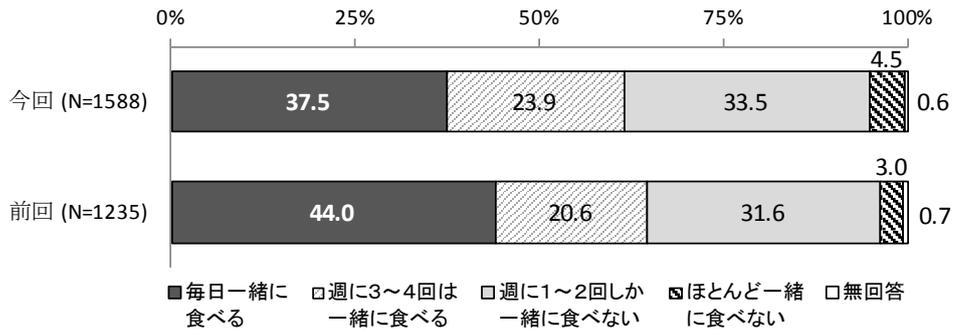
### 3. 子どもの日ごろの生活と居場所

#### (1) 日ごろの生活

##### ①夕食を一緒に食べる回数

- 「毎日一緒に食べる」37.5%が最も多くなっている。
- 前回調査に比べて「毎日一緒に食べる」は6.5ポイント減少し、「週に3～4回」「週に1～2回」が増加している。

問 36 1週間のうち、夕食を家族そろってとる回数は何回ですか。(○は1つ)

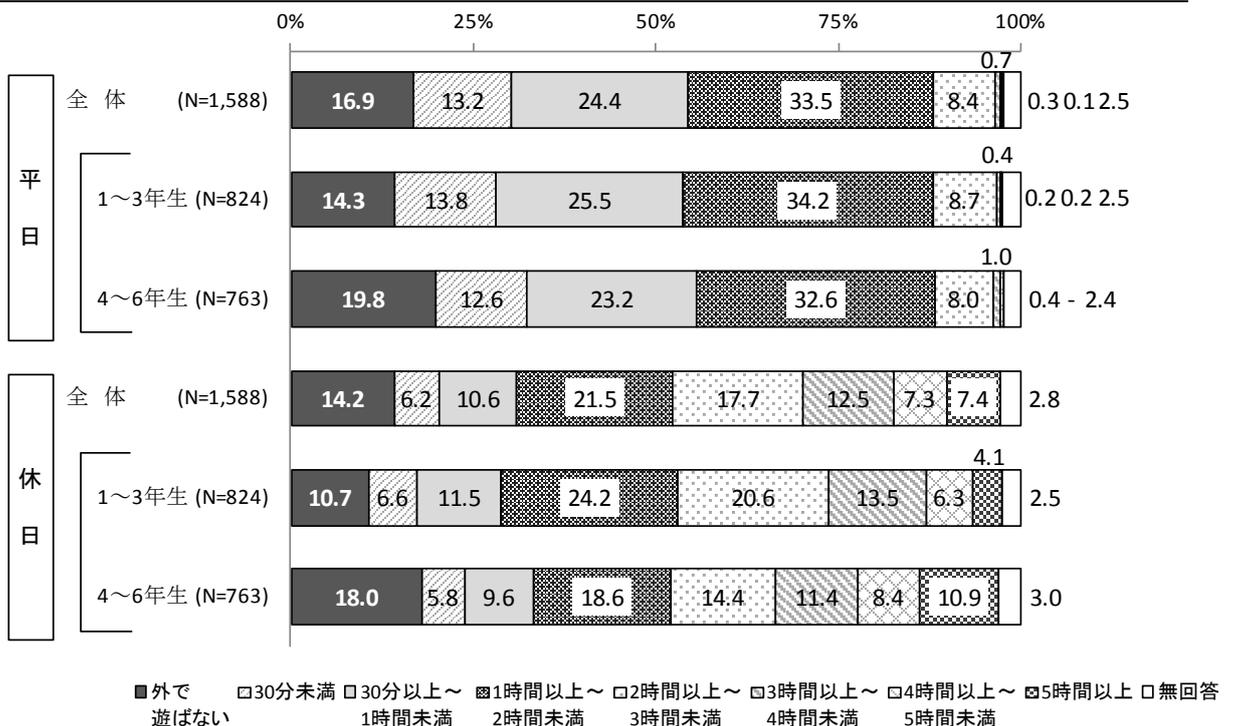


##### ②外で遊ぶ時間 (1日あたり)

- 平日では、「1時間以上～2時間未満」が33.5%、次いで「30分以上～1時間未満」が24.4%と多い。4～6年生では「外で遊ばない」も約2割となっている。
- 休日では、「1時間以上～2時間未満」が21.5%、「2時間以上～3時間未満」が17.7%、「3時間以上～4時間未満」12.5%と平日に比べて外遊びの時間は長くなっている。

問 40 あて名のお子さんは、平均すると1日どれくらいの時間、外で遊びますか。

(平日・休日それぞれに○は1つずつ)

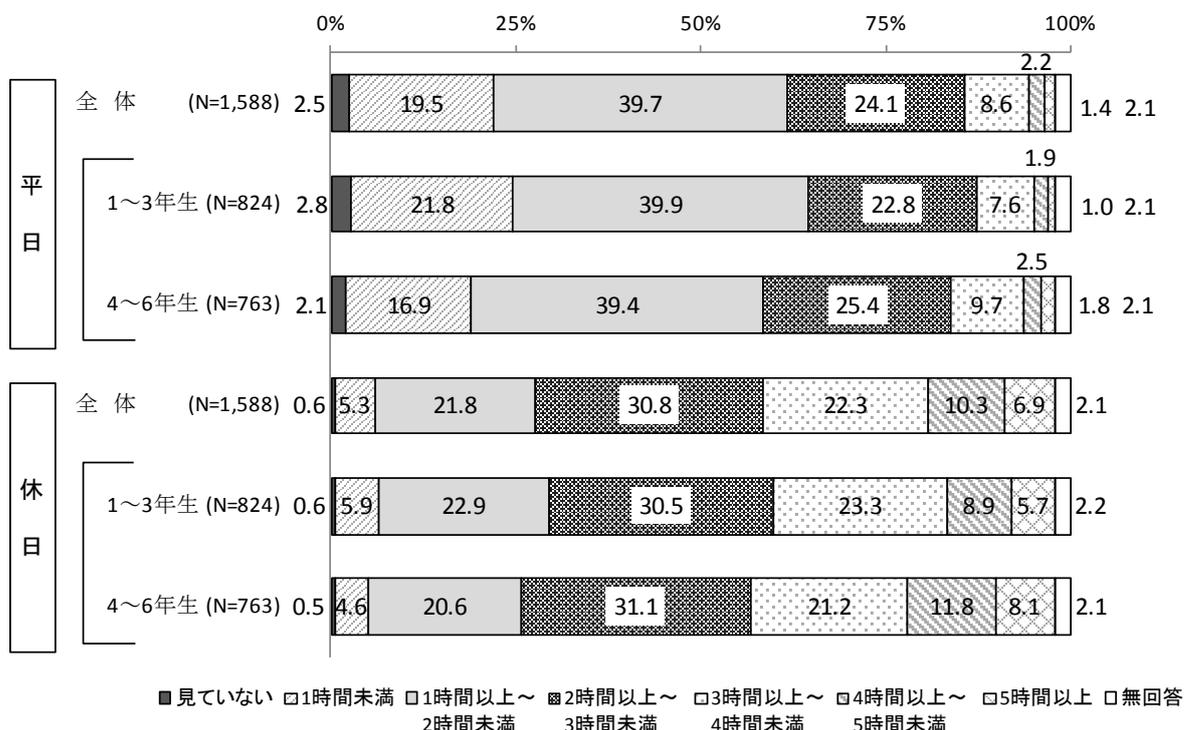


③テレビ等を見る時間（1日あたり）

■平日では、「1時間以上～2時間未満」が39.7%、次いで「2時間以上～3時間未満」が24.1%と多い。1～3年生より4～6年生の方が長時間テレビ等を見ている。

■休日では、「2時間以上～3時間未満」が30.8%、「3時間以上～4時間未満」が22.3%と、平日に比べてテレビ等を見る時間は長くなっている。

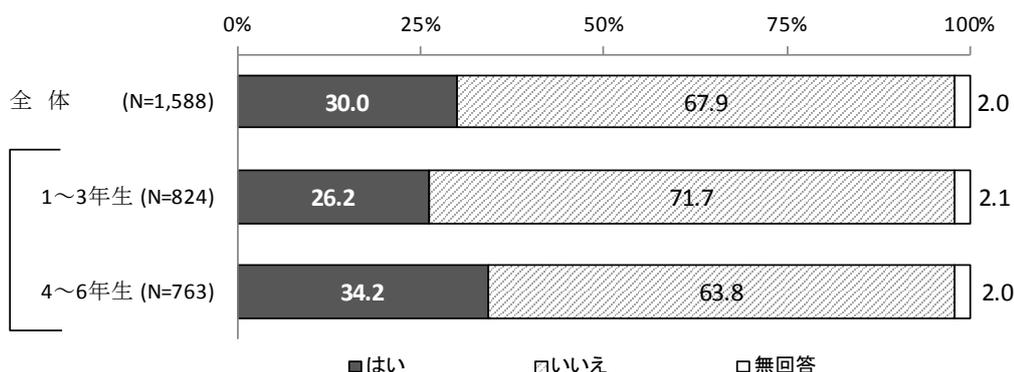
問41 あて名のお子さんは、平均すると1日どれくらいの時間、テレビやDVDを見ていますか。ゲームをしている時間も含まます。（平日・休日それぞれに○は1つずつ）



④携帯電話・スマートフォンの有無

■携帯電話やスマートフォンなどの通信端末を持っている割合は3割。

問42 あて名のお子さんは、携帯電話やスマートフォン、タブレットなどの通信端末を持っていますか。

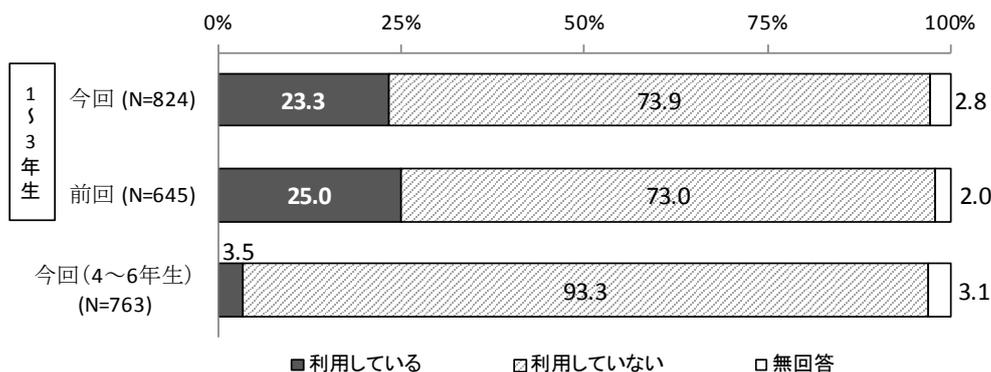


(2) 留守家庭子ども会の利用状況

①利用状況

■留守家庭子ども会を「利用している」は23.3%。前回調査と大きな差は見られない。

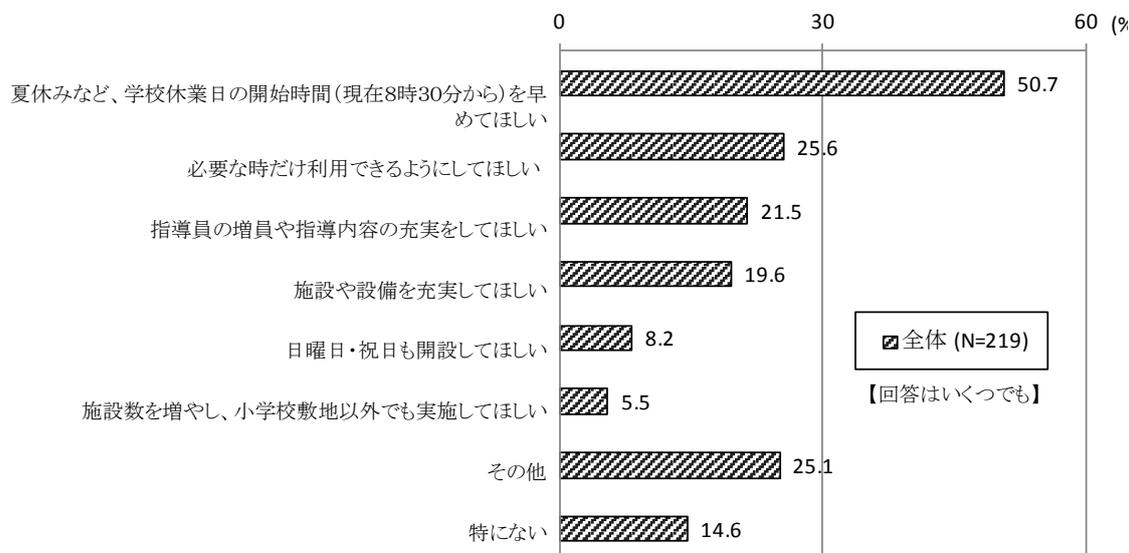
問 11 あて名のお子さんについて、現在、留守家庭子ども会（留守家庭子どもクラブを含む）を利用していますか。（○は1つ）



②今後充実してほしいこと

■「夏休みなど、学校休業日の開始時間を早めてほしい」が50.7%で最も多い。

問 11-1 ③ 留守家庭子ども会で、今後充実してほしいことは何ですか。（あてはまる番号すべてに○）



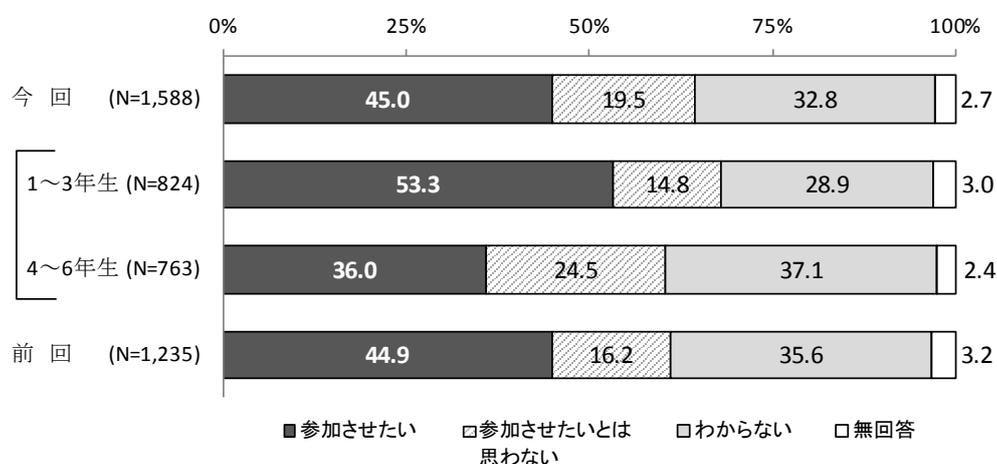
(3) 放課後等の遊び場づくり事業への参加意向

■「放課後等の遊び場づくり事業（わいわい広場）」への参加意向は 45.0%。1～3年生の参加意向は、53.3%となっている。

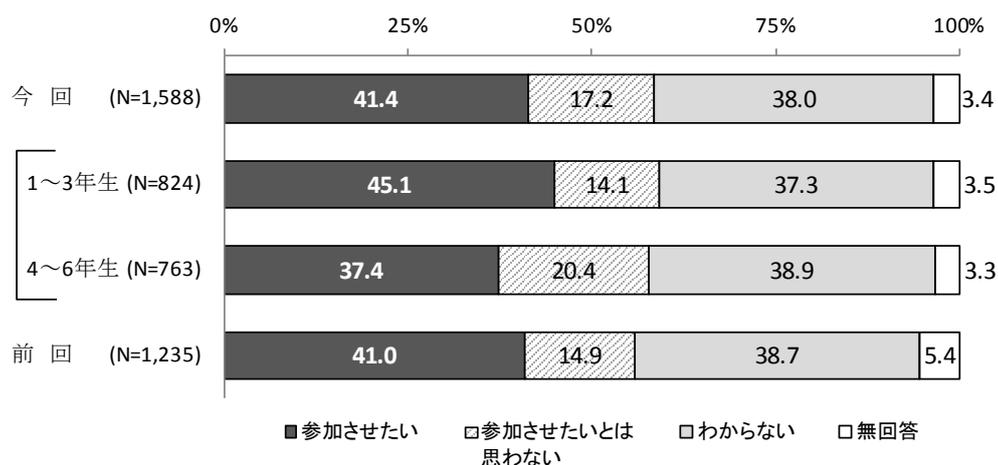
■「昼間校庭開放事業」への参加意向は 41.4%。1～3年生の参加意向は、45.1%となっている。

問 12 福岡市では、全児童が利用できる、平日の放課後に実施している「放課後等の遊び場づくり事業（わいわい広場）」、土・日など学校が休みの時に実施している「昼間校庭開放事業」がありますが、その利用意向はありますか。

《放課後等の遊び場づくり事業》



《昼間校庭開放事業》



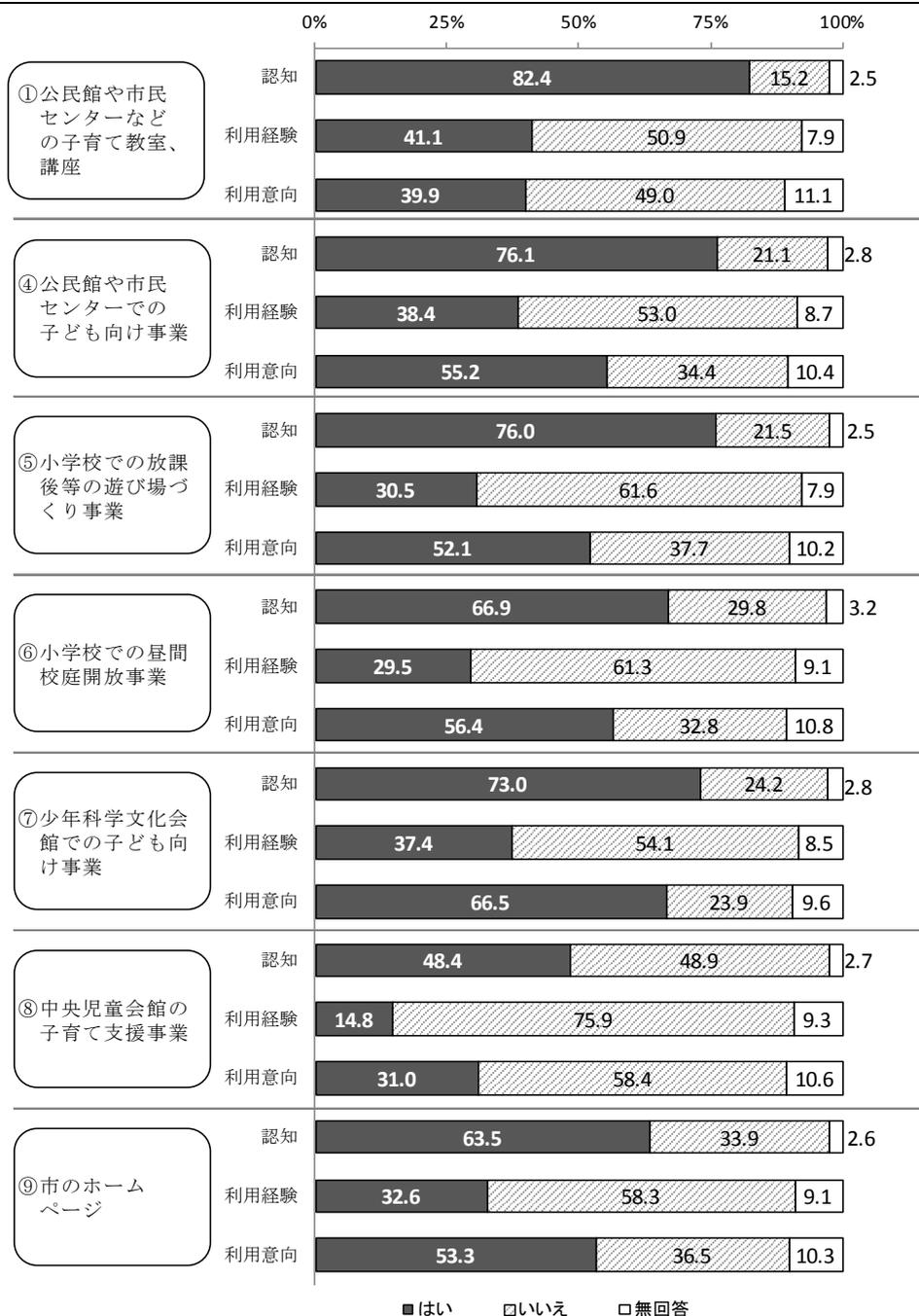
(4) 子育て支援サービスの認知と利用、今後の利用意向

■認知度は、「公民館や市民センターなどの子育て教室、講座」で82.4%、「公民館や市民センターでの子ども向け事業」「小学校での放課後等の遊び場づくり事業」「少年科学文化会館での子ども向け事業」が7割台と高くなっている。

■今後の利用意向をみると、「少年科学文化会館での子ども向け事業」66.5%、「小学校での昼間校庭開放事業」「公民館や市民センターでの子ども向け事業」「小学校での放課後等の遊び場づくり事業」では5割を超えており、ほとんどの事業で利用経験を上回っている。

問 17 下記福岡市の子育て支援サービスを知っていますか。また、これまでに利用したことはありますか。今後利用したいと思いますか。

①～⑨までのサービスごとに、A、B、Cのそれぞれについて、はいの場合は「1」、いいえの場合は「2」のどちらかに○をつけてください。

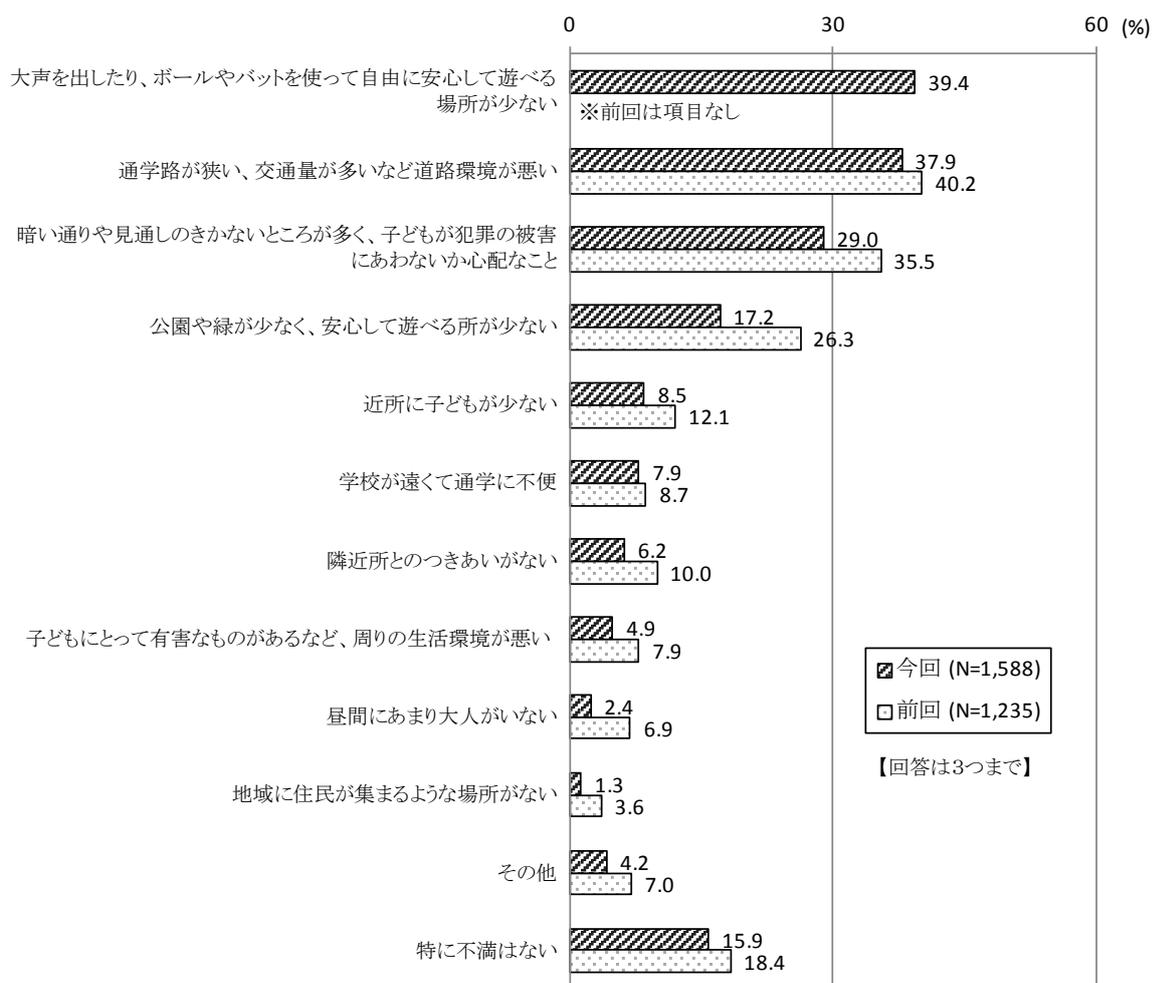


■はい □いいえ □無回答

(5) 地域の子育て環境で不満なこと

■ 「自由に安心して遊べる場所が少ない」39.4%と「通学路が狭い、交通量が多いなど道路環境が悪い」37.9%が高くなっている。次いで「子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと」が29.0%となっている。

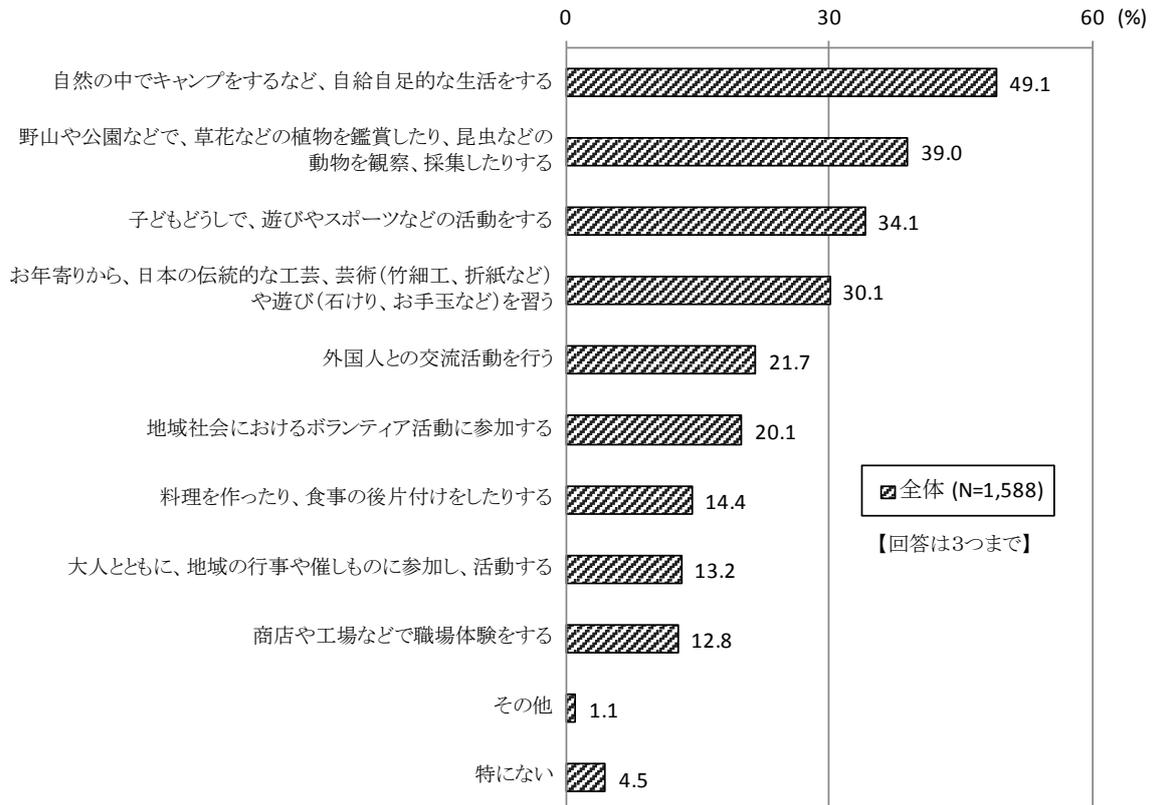
問 46 お住まいの地域の子育て環境で不満なことは何ですか。(〇は3つまで)



(6) 最近の子どもに不足している体験

■自然の中でキャンプをするなど、自給自足的な生活をする」が49.1%で最も高く、次いで「草花などの植物を鑑賞、昆虫などを観察」が39.0%、「子どもどうしで、遊びやスポーツなどの活動をする」が34.1%となっている。

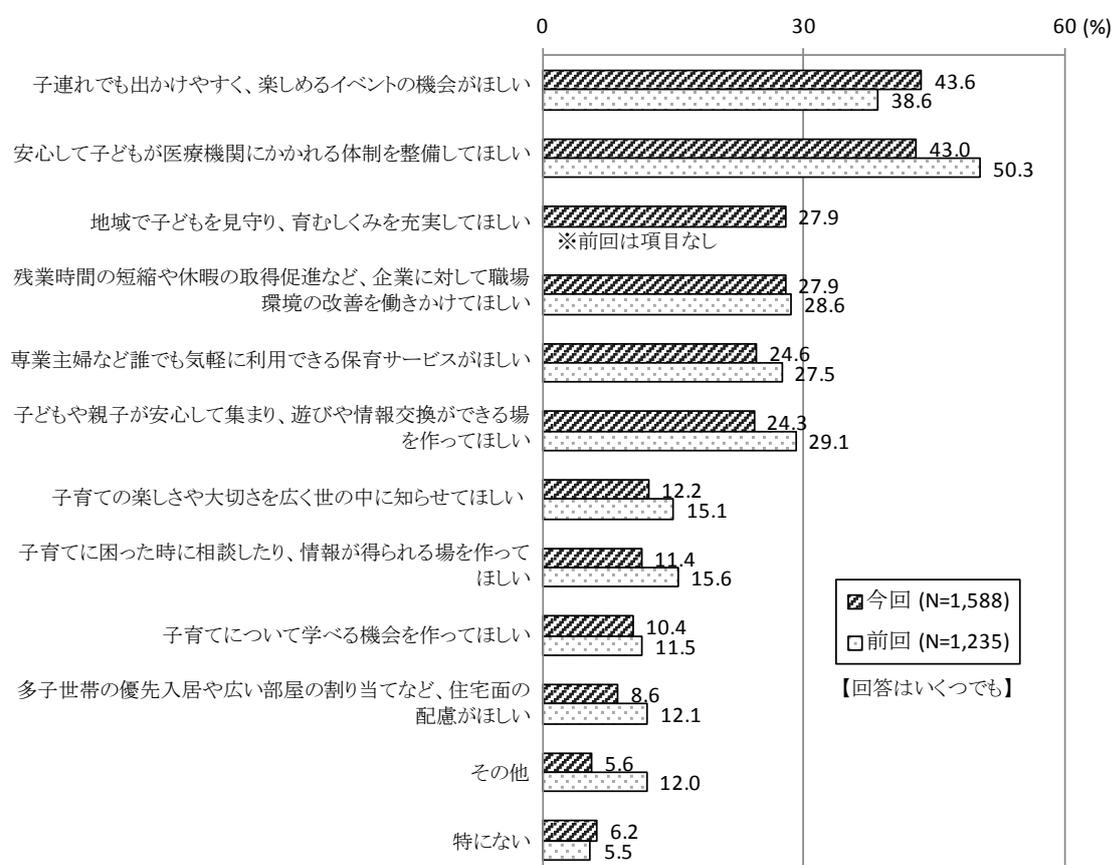
問 51 「最近の子どもには、生活体験や自然体験など『体験』が不足している」と言われていますが、特にどのような「体験」が不足していると思いますか。(〇は3つまで)



#### 4. 行政への要望

- 「子連れでも出かけやすく、楽しめるイベントの機会」が43.6%と最も多く、次いで「安心して子どもが医療機関にかかれる体制の整備」が43.0%、「地域で子どもを見守り、育むしぐみの充実」と「企業に対して職場環境の改善の働きかけ」が27.9%となっている。
- 前回調査に比べると、「子連れでも出かけやすく、楽しめるイベントの機会」が増加し、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制整備」が減少している。

問 53 あなたは、どのような子育て支援の充実を図ってほしいですか。(あてはまる番号すべてに○)



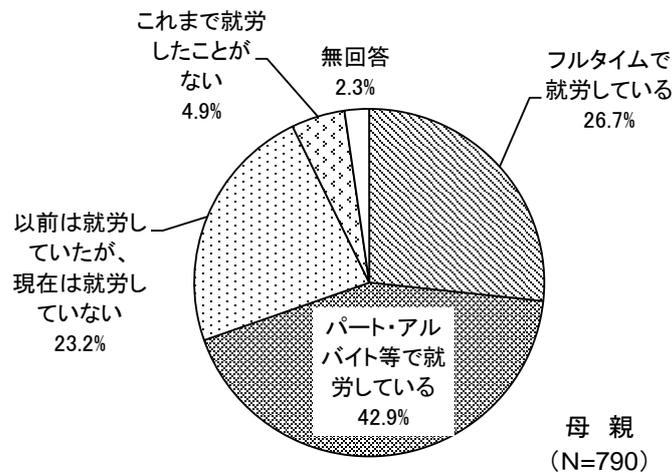
# 中学生・高校生等の保護者

## 1. 保護者の就労状況

### (1) 母親の就労状況

■就労している母親は約7割。うち、「フルタイム」は約3割、「パート・アルバイト」は約4割。

問 34 あなたの就労状況について選んで下さい。(○は1つ)



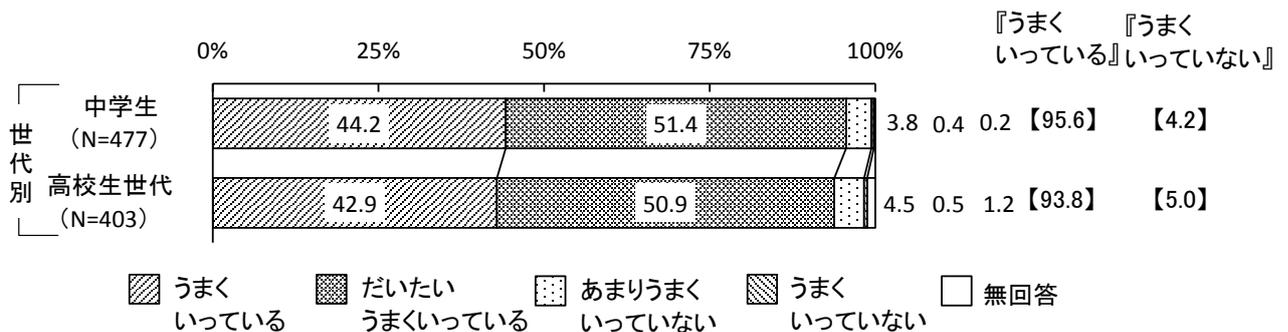
## 2. 子どものしつけや家庭について

### (1) 子どもとの関係と会話の程度

#### ① 子どもとの関係

■子どもとの関係が『うまくいっている』と感じている中学生保護者は95.6%、高校生世代の保護者は93.8%と、高校生世代でやや減少している。

問 12 あなたは、あて名のお子さんとの関係についてどのように感じていますか。(○は1つ)



②会話の程度と子どもとの関係

■子どもとの会話の程度が低いと子どもとの関係は『うまくいっていない』が高くなる。

問 10 あて名のお子さんは、あなたやあなたの配偶者と日ごろよく話をしますか。(○は1つ)

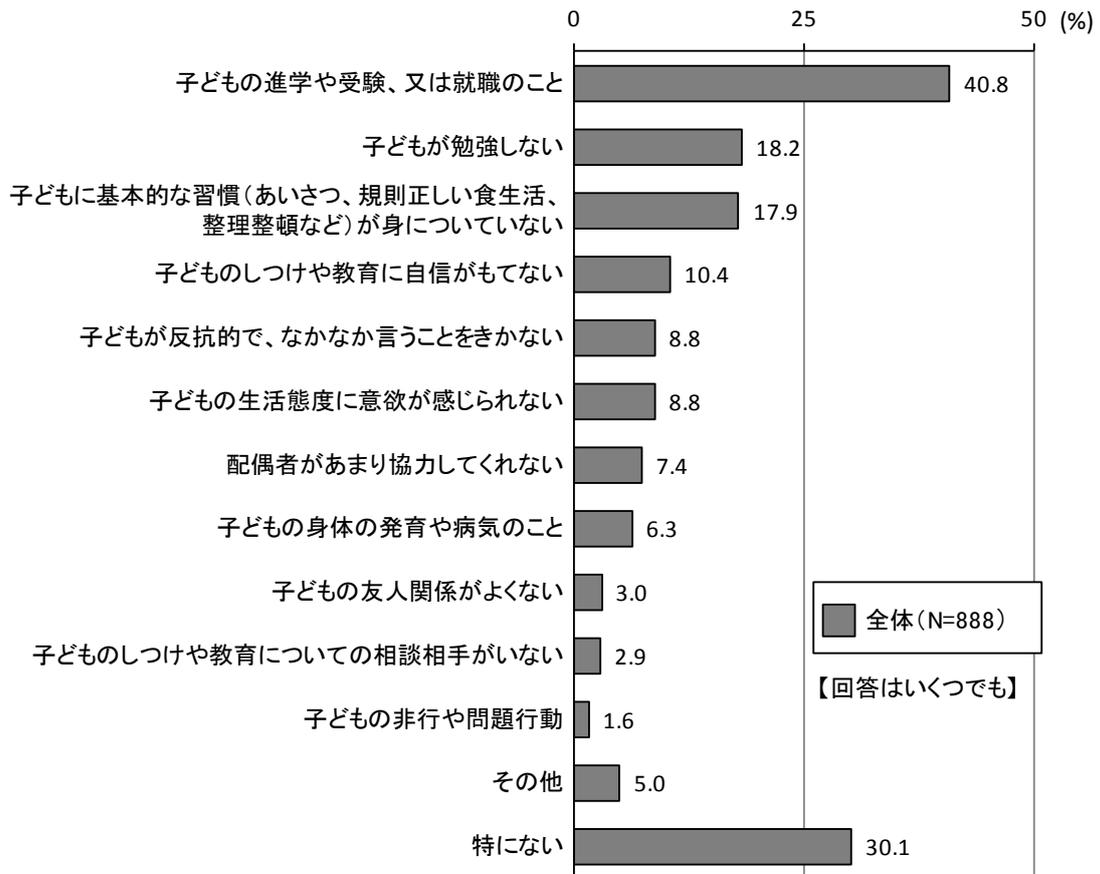
			(%)				
		標本数	うまくいっている	だいたいうまくいっている	あまりうまくいっていない	うまくいっていない	無回答
全 体		888 100.0	387 43.6	454 51.1	36 4.1	4 0.5	7 0.8
会話の程度別	あなたにも配偶者にもよく話をする	458	53.3	44.1	2.0	0.2	0.4
	あなたにはよく話をする(配偶者はいない)	119	47.1	49.6	0.8	1.7	0.8
	あなたにはよく話をするが、配偶者にはあまりしない	193	34.2	63.2	2.6	-	-
	配偶者にはよく話をするが、あなたにはあまりしない	25	24.0	48.0	28.0	-	-
	配偶者にもあなたにもあまり話をしない	54	9.3	74.1	14.8	1.9	-
	あなたにあまり話をしない(配偶者はいない)	16	25.0	43.8	31.3	-	-
	その他	13	30.8	69.2	-	-	-
無回答	10	20.0	30.0	10.0	-	40.0	

(2) しつけや教育についての悩みと相談相手

①しつけや教育についての悩み

- 子どもについての悩みは「進学や受験、または就職のこと」が約4割で最も高い。
- 悩みは「特にない」が約3割と2番目に高い。

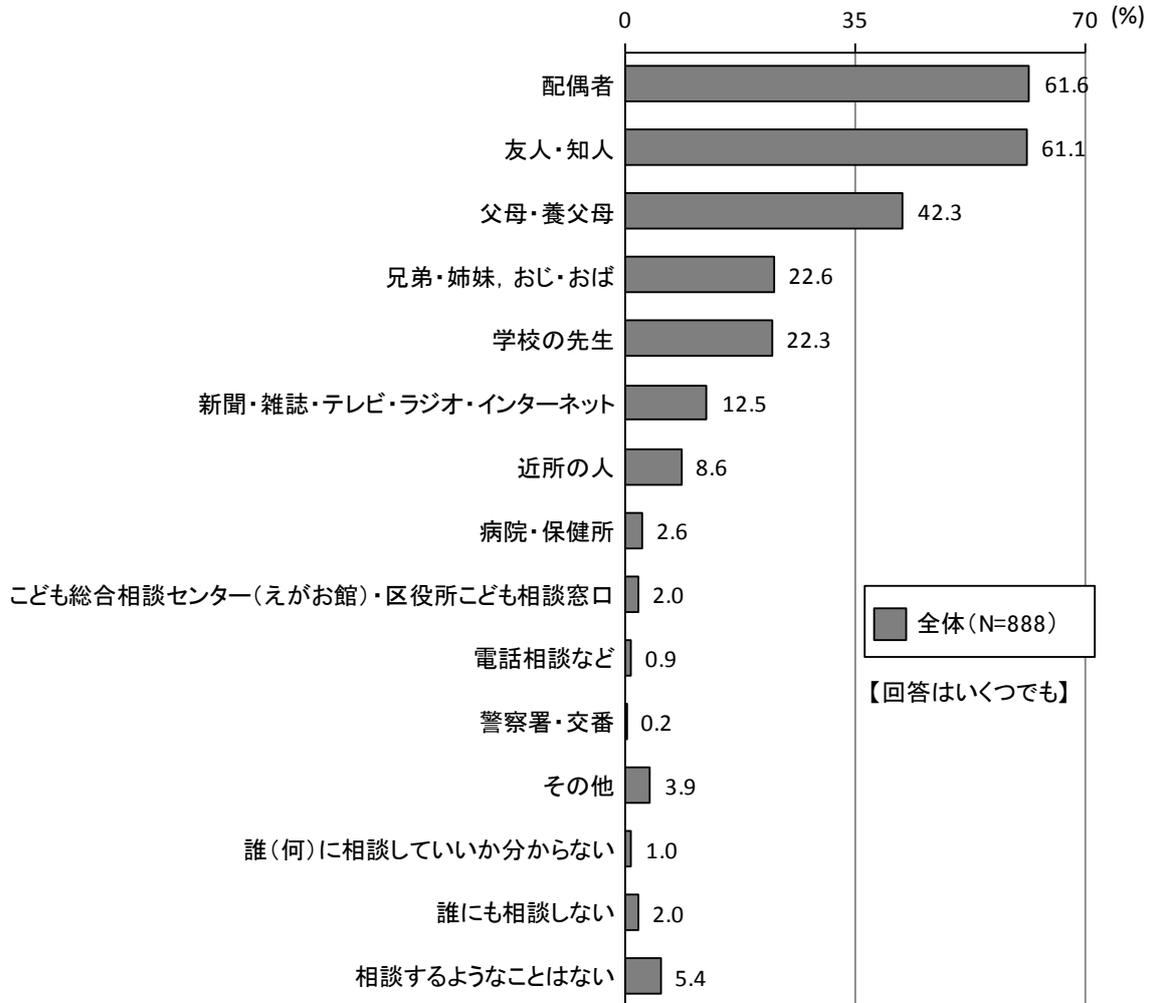
問 17 あなたはあて名のお子さんのしつけや教育について、何か悩みや心配ごとはありますか。  
(〇はいくつでも)



②しつけや教育についての相談相手

■悩みの相談相手は「配偶者」「友人・知人」が各々約6割。

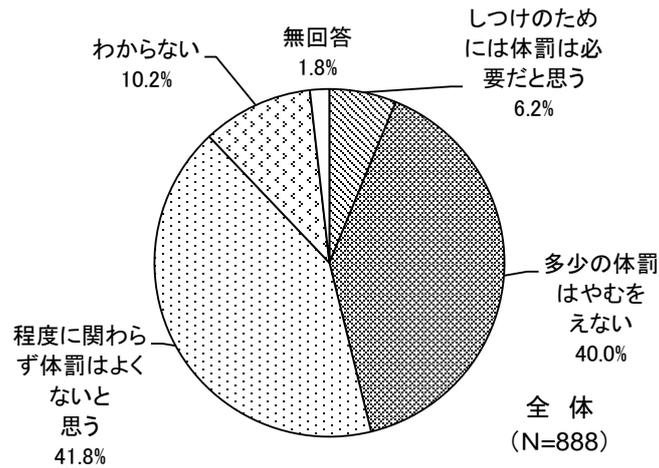
問18 あなたがあて名のお子さんのしつけや教育について、何か悩みや心配ごとを相談したり、参考にしたりしているものは誰（何）ですか。（〇はいくつでも）



(3) 体罰についての考え方

■ 「体罰はよくない」が41.8%と最も多いが、「しつけのためには必要」「多少の体罰はやむをえない」を合わせると46.2%と、4.4ポイント上回っている。

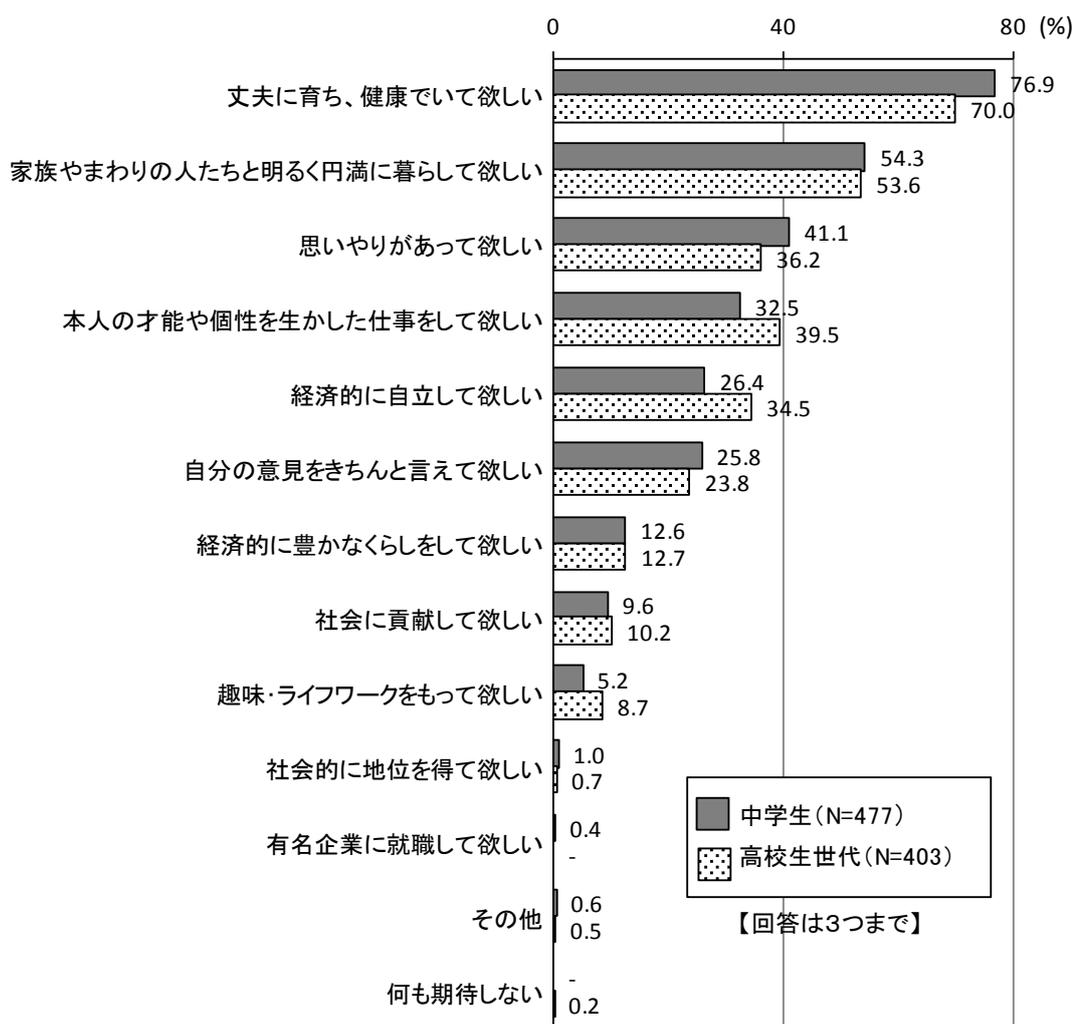
問 14 家庭でのお子さんへの体罰について、あてはまる考えを選んでください。(〇は1つ)



(4) 子どもの将来に期待すること

- 子どもの将来に期待することは中学生、高校生世代とも「丈夫に育ち、健康でいて欲しい」が7割を超えて最も高い。
- 高校生世代では「才能や個性を生かした仕事をして欲しい」「経済的に自立して欲しい」などの自立への期待が高くなる。

問 19 あなたは、あて名のお子さんの将来に何を期待しますか。(〇は3つまで)

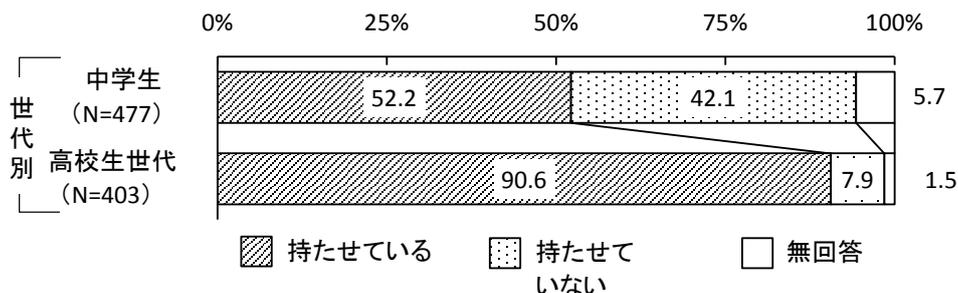


(5) 携帯電話・スマートフォンの所有と使用ルール

①所有の有無

■携帯電話やスマートフォンを中学生では約5割、高校生世代では約9割が所有している。

問 16 あなたは、あて名のお子さんに携帯電話・スマートフォン、タブレットなどの通信端末を持たせていますか。(〇は1つ)

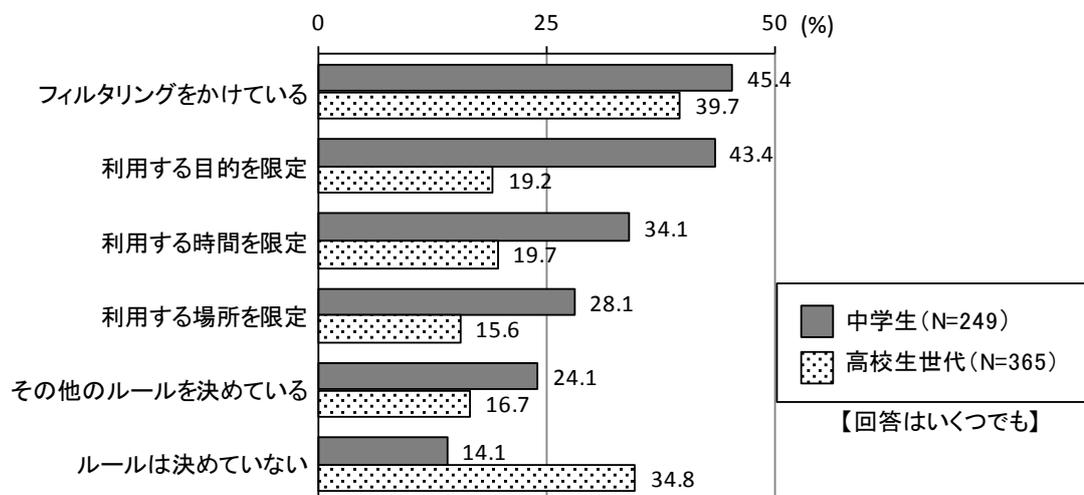


②使用にあたってルールを決めているか

■使用にあたってのルールは中学生では「フィルタリングをかけている」「利用目的を限定」などルールを決めている場合が多い。

■高校生世代では「フィルタリングをかけている」が約4割で最も高い。一方で「ルールは決めていない」も3割を超えて高い。

問 16-1 あなたは、あて名のお子さんに携帯電話を利用する場合、何らかのルールを決めていますか。(〇はいくつでも)

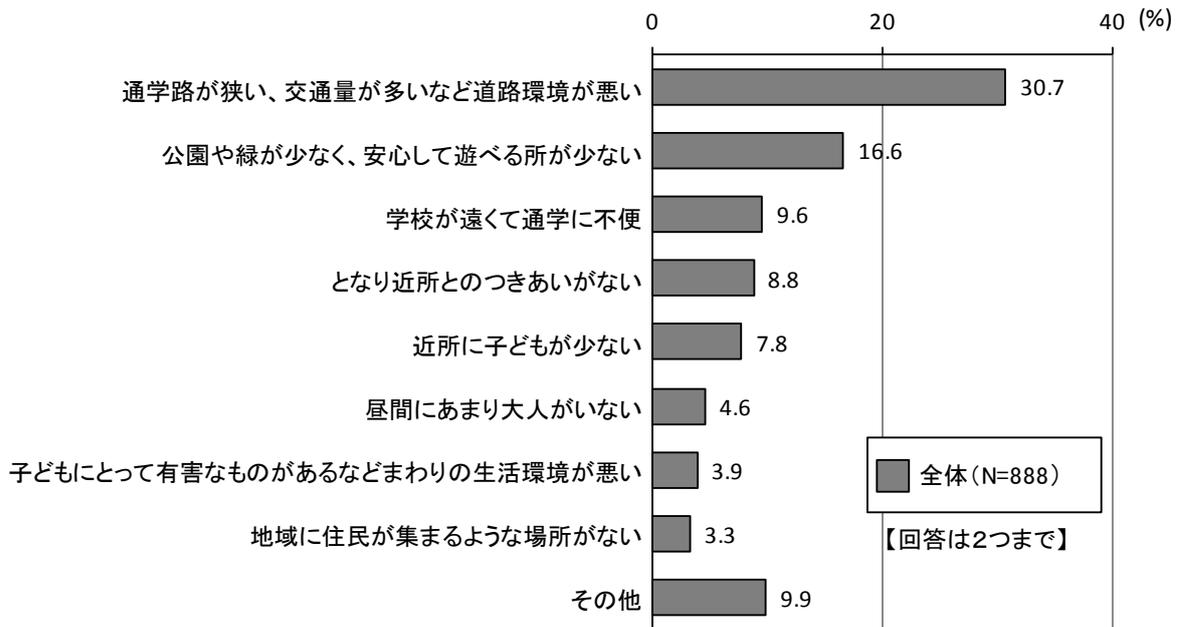


### 3. 地域の子育て環境

#### (1) 地域の子育て環境への不満

■地域の子育て環境への不満は「通学路が狭い、交通量が多いなど道路環境が悪い」が約3割で最も高い。

問 29 お住まいの子育て環境について、不満がある場合、あなたの考えに近いものを選んでください。  
(○は2つまで)

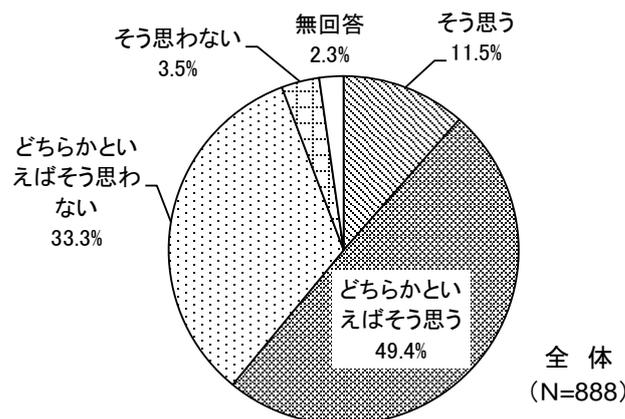


#### (2) 子どもの健全育成に必要なこと

##### ①子どもは健全に育っているか

■子どもは健全に育っていると思う人は約6割、思わない人は4割弱である。

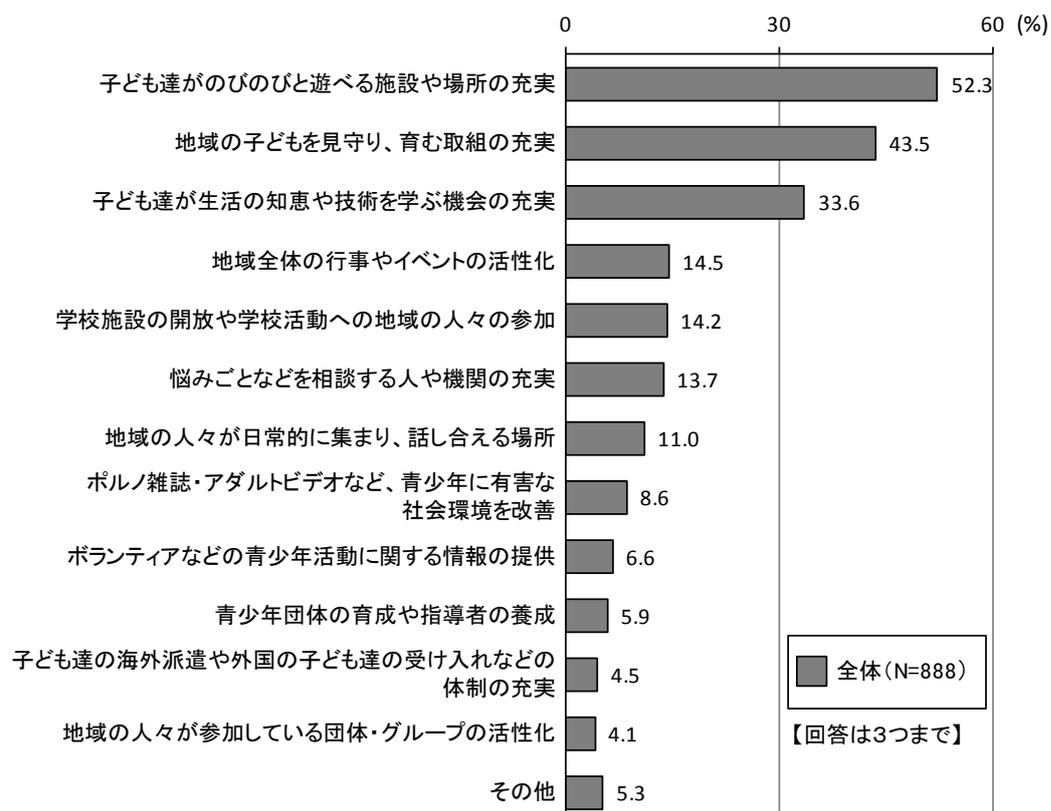
問 30 あなたは、今の子どもたちは健全に育っていると思いますか。(○は1つ)



## ②健全に育つために必要なこと

■子どもたちが健全に育つためには「のびのびと遊べる施設や場所」、「地域の取り組み」「知恵や技術を学ぶ機会」などの充実を望む人が多い。

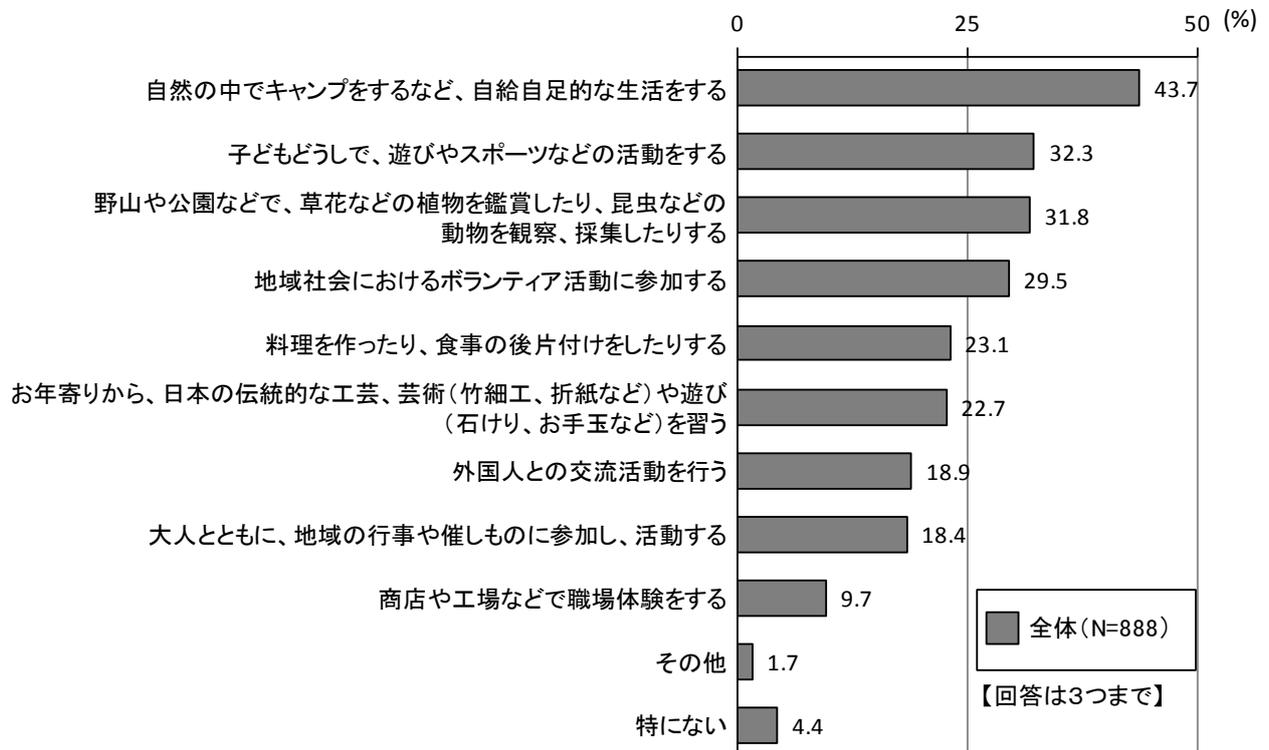
問 31 あなたは、子どもたちが健全に成長していくためには、あなたの地域ではどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



③最近の子どもに不足している体験

- 最近の子どもに不足している体験は「キャンプをするなど自給自足的な生活」が約4割で最も高い。
- 次いで「子どもどうしでの遊びやスポーツ活動」「植物観賞や動物観察、採集」「ボランティア活動」などが約3割となっている。

問 32 「最近の子どもには、生活体験や自然体験など『体験』が不足している」と言われていますが、特にどのような「体験」が不足していると思いますか。(〇は3つまで)



# 中学生・高校生等

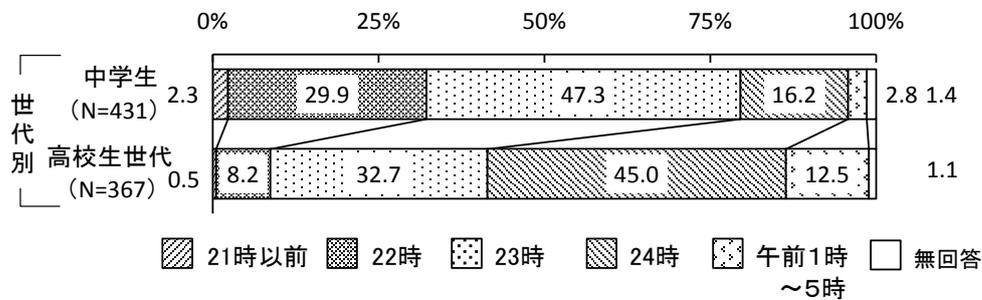
## 1. 現在の生活状況

### (1) 就寝時刻、起床時刻

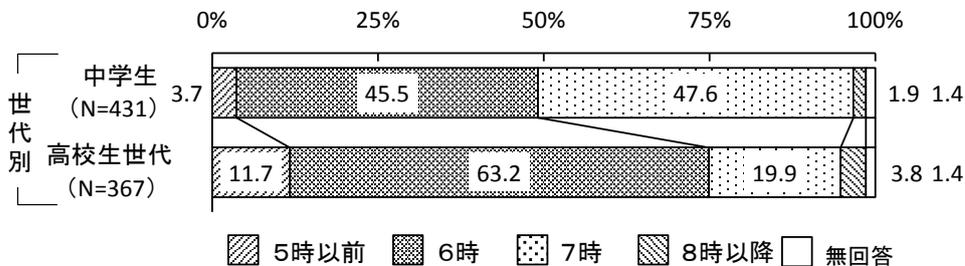
- 就寝時刻は、中学生は『22～23時』、高校生世代は『23～24時』が多い。高校生世代では午前1時以降の就寝が1割を超えている。
- 起床時刻は、中学生、高校生世代とも『6～7時』が多く、高校生世代では5時以前の起床は約1割いる。

問7 あなたは、ふだん何時ごろに寝て、何時ごろに起きますか。

#### ◎就寝時刻



#### ◎起床時刻

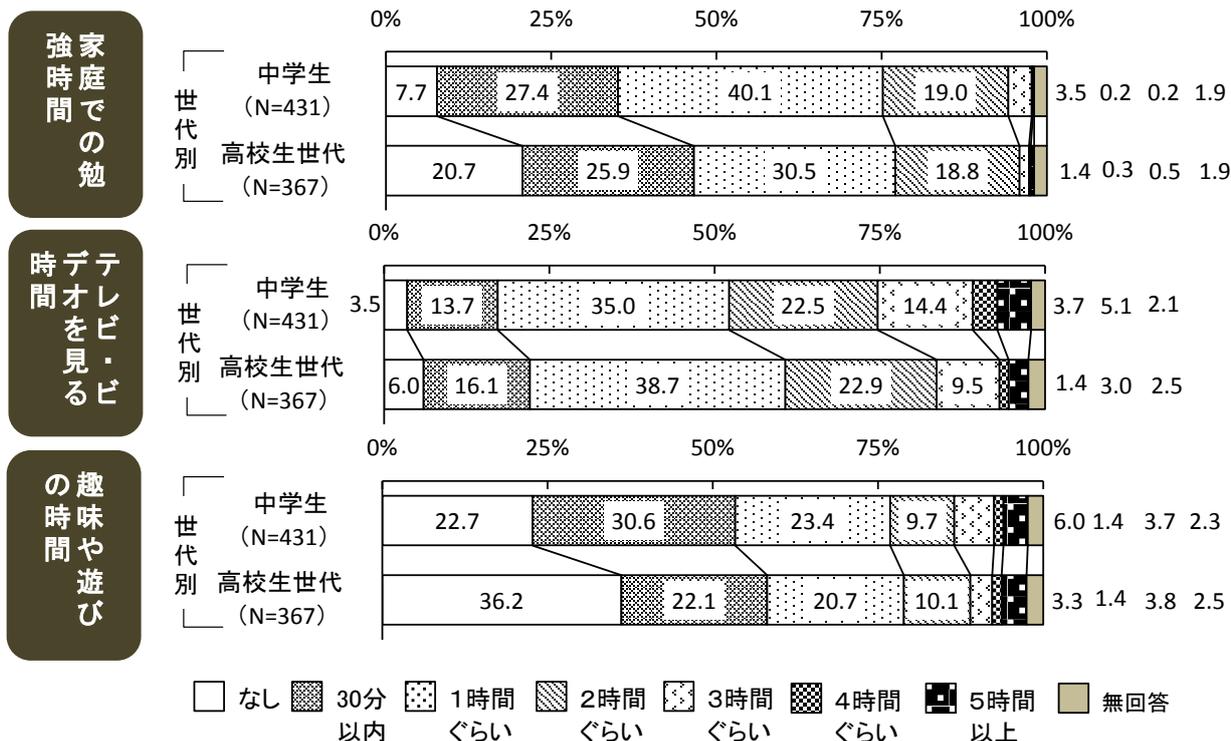


(2) 勉強、テレビ、遊びなどの平均時間

- 家庭での勉強、テレビ・ビデオを見る時間は中高生世代とも「1時間ぐらい」が多い。
- 趣味や遊びの時間は、中学生は「30分以内」、高校生世代は「なし」が最も多い。

問10 あなたはの勉強、テレビ、遊びなどの時間は、平日で1日当たり平均してどのくらいですか。

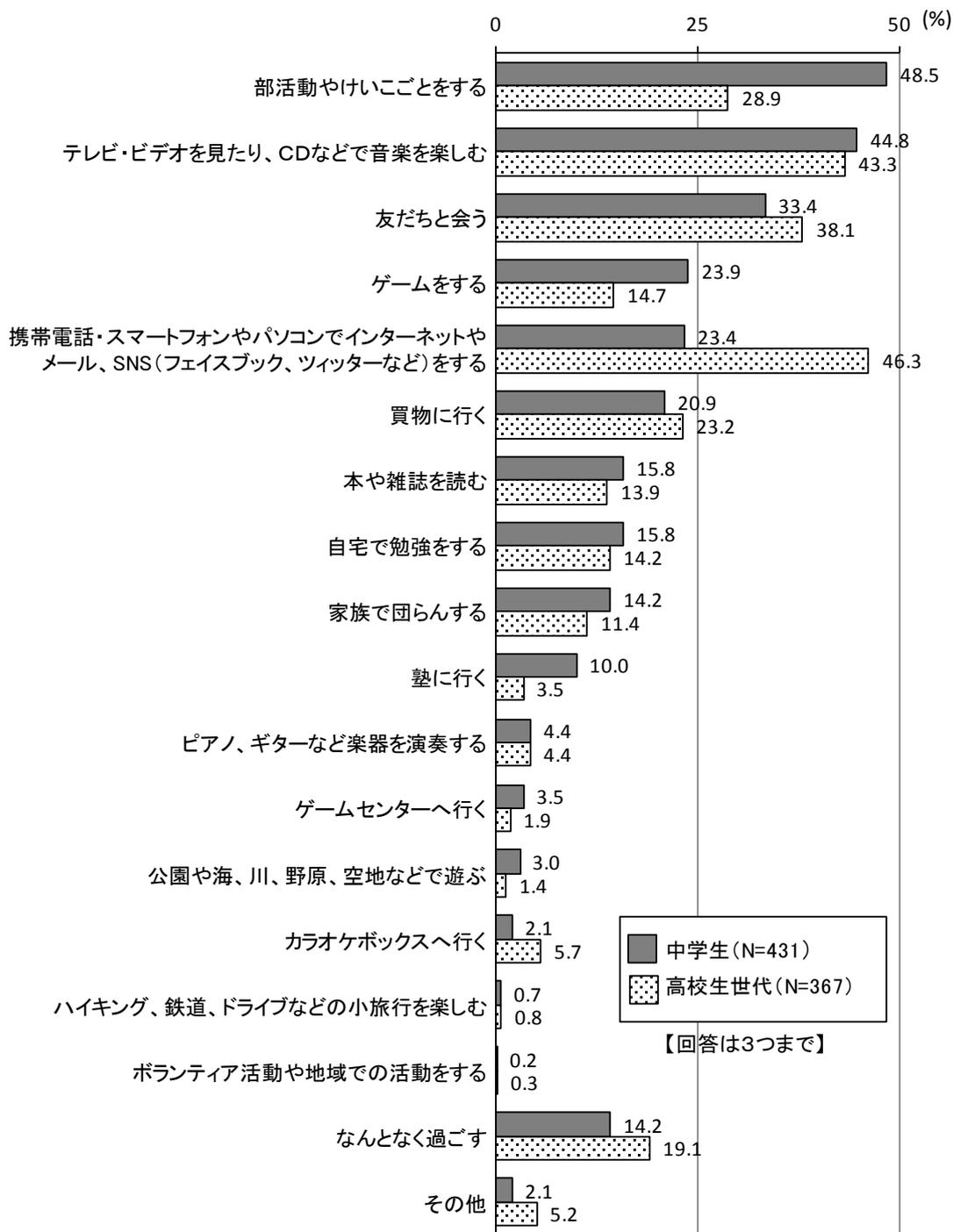
(○は1つ)



(3) 休日の過ごし方

- 休日の過ごし方は中学生では「部活動やけいこごと」、高校生世代では「携帯電話・スマートフォンでインターネットやメールをする」が最も多い。
- 以下、中高生世代とも「テレビや音楽を楽しむ」「友だちと会う」が続く。

問 11 あなたは、学校が休みの日は主にどのように過ごすことが多いですか。(〇は3つまで)

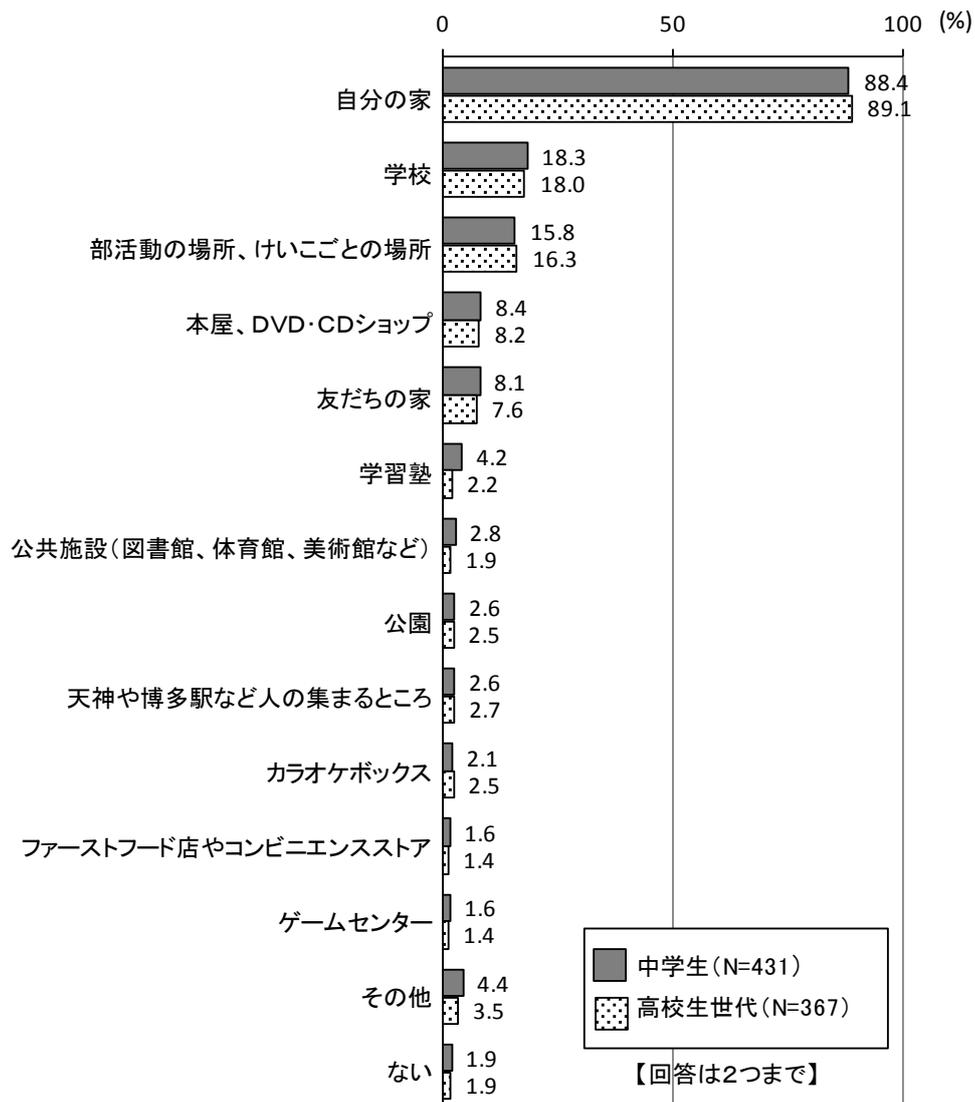


## 2. 生活意識と環境

### (1) 居心地のいい場所

■居心地のいい場所は中高生世代とも「自分の家」が約9割と圧倒的に高い。

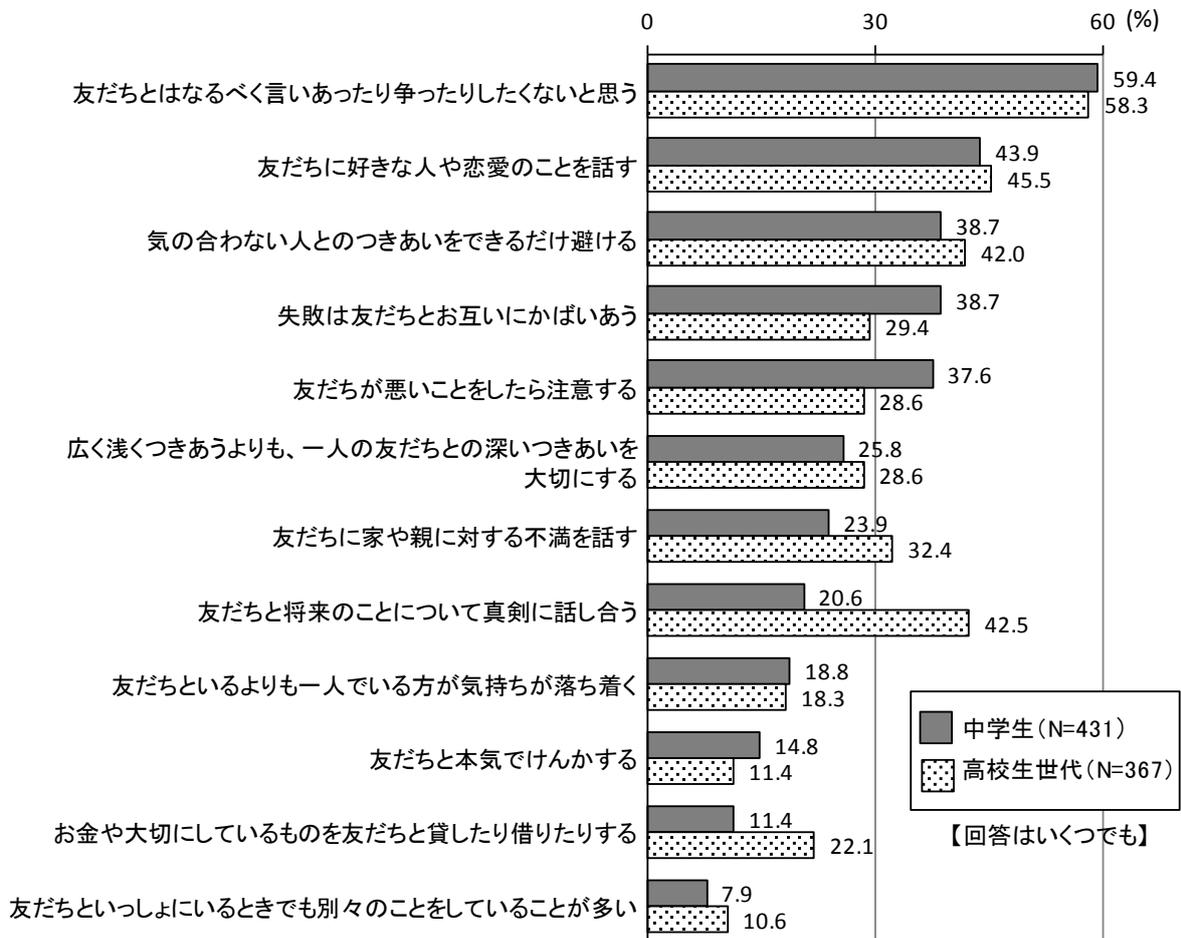
問 13 あなたが居心地のいい場所はどこですか。(〇は2つまで)



(2) 友だちについて

- 友だちとのつきあいで中高生世代とも「言いあったり争ったりしたくない」が約6割で最も高く、次いで「友だちに好きな人や恋愛のことを話す」となっている。
- その他、中学生では「失敗は友だちとお互いにかばいあう」「友だちが悪いことをしたら注意する」、高校生世代では「将来のことについて真剣に話し合う」「家や親に対する不満を話す」「お金や大切にしているものを貸し借りする」が多い。

問 15 あなたと友だちとのつきあいの中で、次のようなことがありますか。(○はいくつでも)

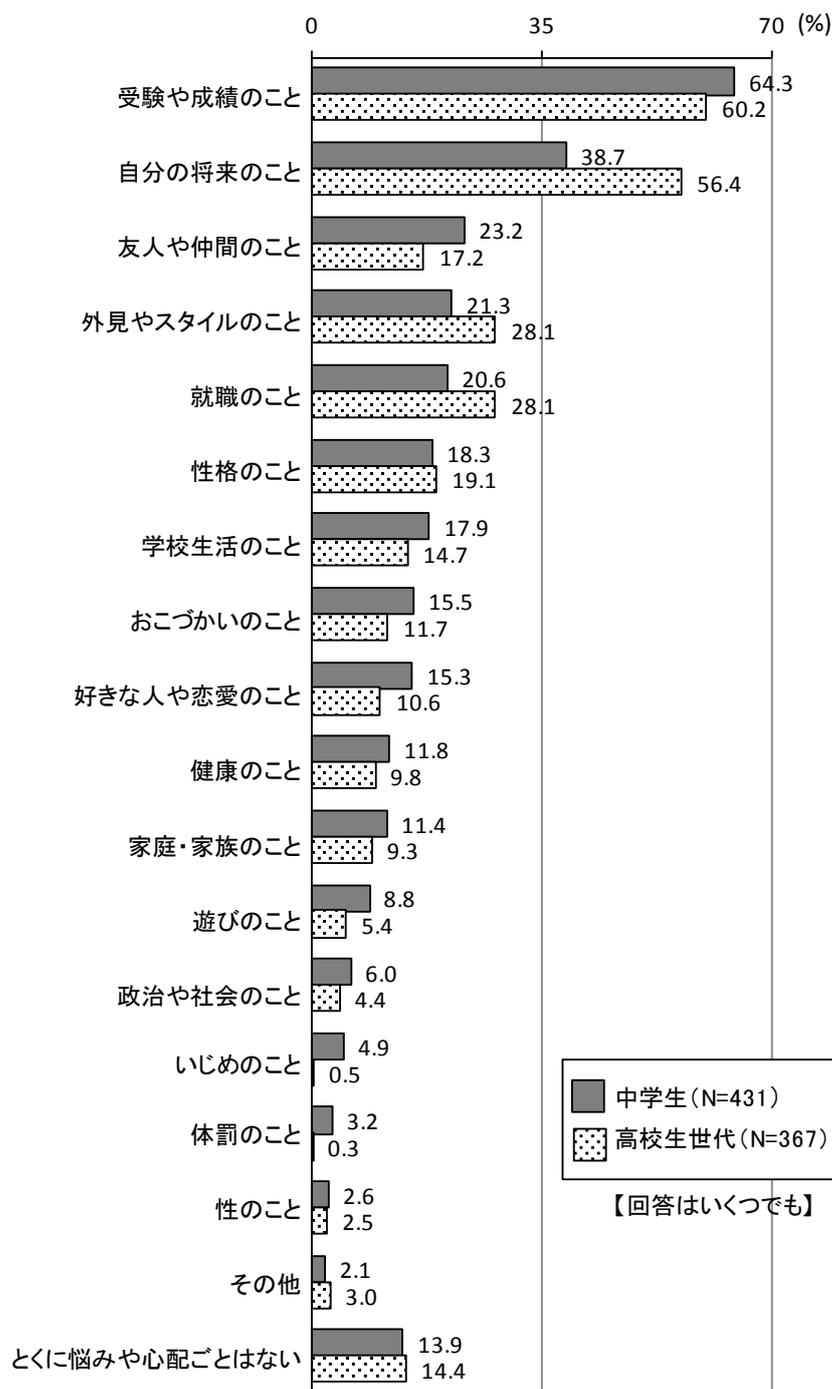


(3) 悩みや心配ごとと相談相手

① 悩みや心配ごと

- 悩みや心配ごとは、中高生世代とも「受験や成績のこと」が最も多い。
- 「自分の将来のこと」は中高生世代とも第2位であるが、高校生世代の方が 17.7 ポイント高い。

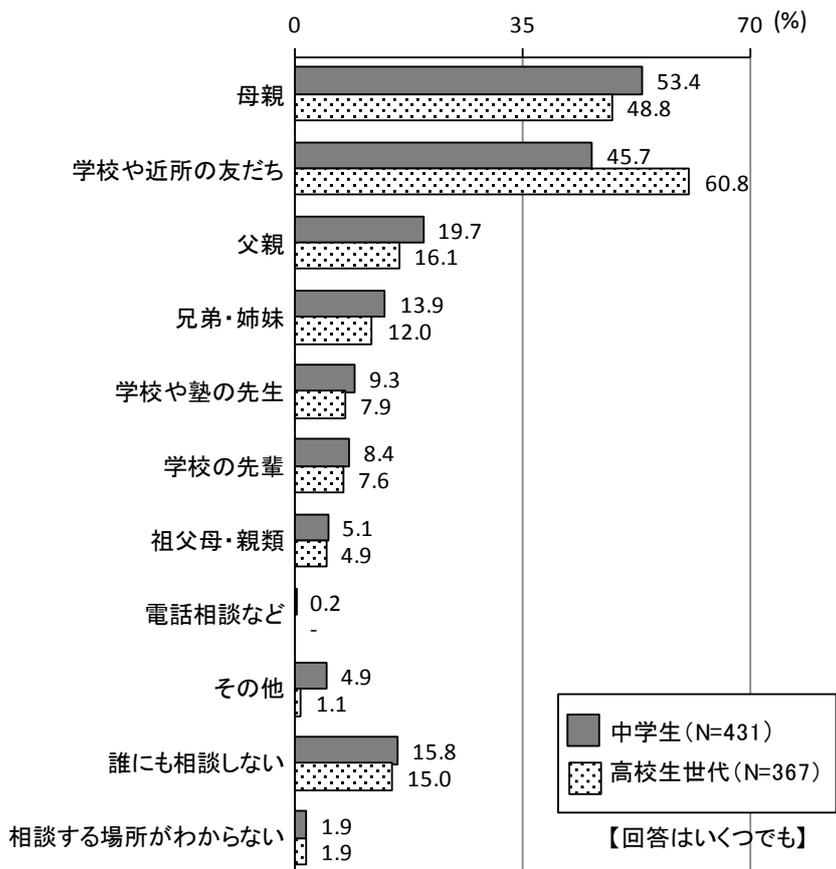
問 22 あなたは現在、どんな悩みや心配ごとがありますか。(〇はいくつでも)



②悩みや心配ごとの相談相手

- 悩みや心配ごとの相談相手は、中学生は「母親」、高校生世代は「学校や近所の友だち」が最も多い。
- 「誰にも相談しない」は中高生世代とも約15%いる。

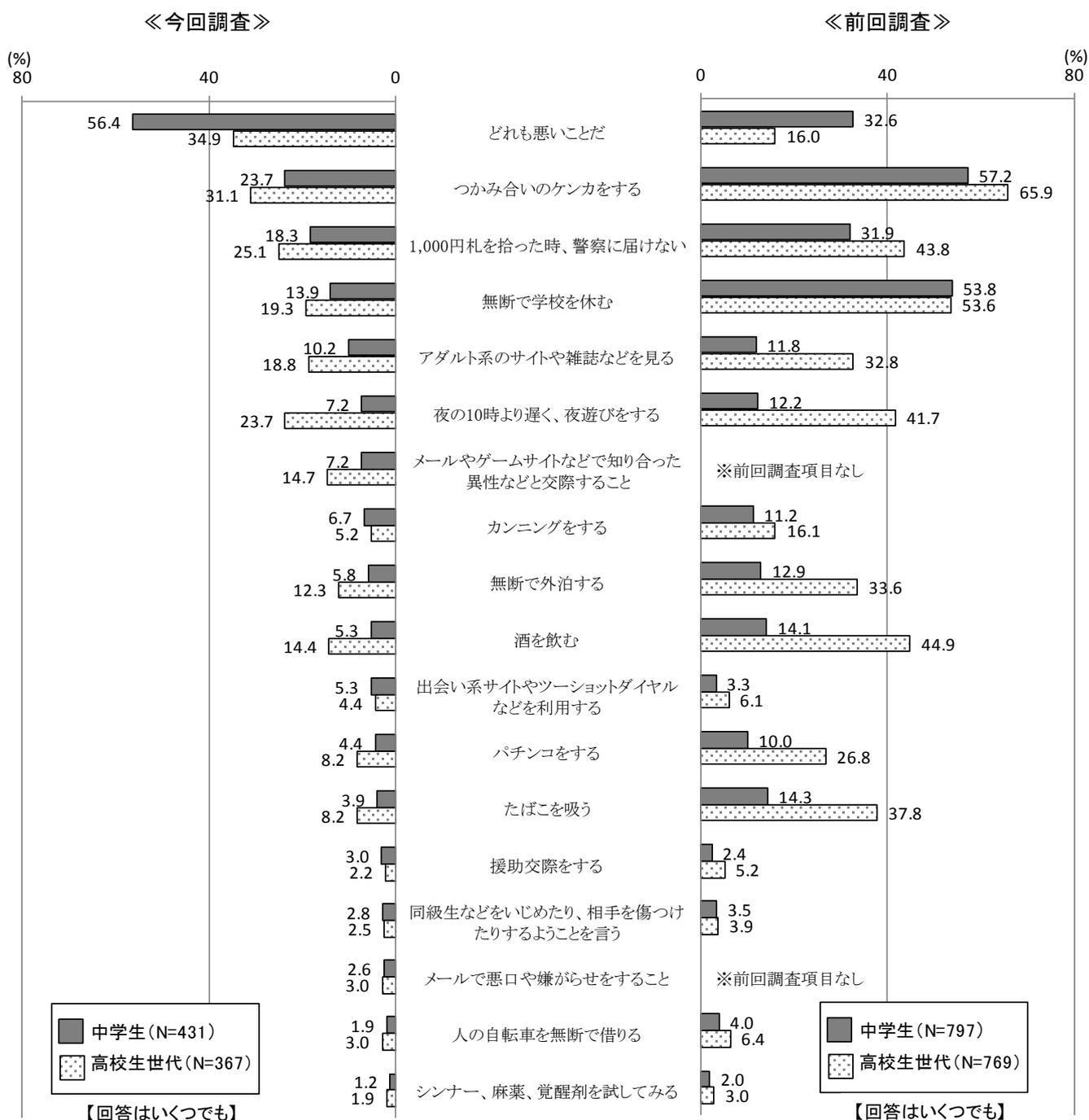
問 23 あなたは悩みや心配ごとを誰（何）に相談しますか。（〇はいくつでも）



(4) 規範意識 (悪いとは思わないこと)

■「どれも悪いことだ」は中学生では5割を超えている。前回調査に比べて、中学生、高校生世代ともに「どれも悪いことだ」が増加しており、中学生では23.8ポイント増加している。  
 ■高校生世代の「どれも悪いことだ」は34.9%と規範意識は中学生に比べ低い。

問 24 次にあげる行動のうち、あなたの友だち (同じ学年) がした場合、そんなに悪いことだとは思わないものがありますか。(〇はいくつでも)



(5) 地域活動・ボランティア活動への参加意向

- 「子ども会や公民館活動」「スポーツ大会、お祭り」への参加経験は7割を超える。
- 今後の参加意向は、いずれの活動も「きっかけがあれば参加したい」が最も高く、「災害支援活動」は6割近くとなっている。「環境美化や資源物回収活動」「福祉に関する活動」「国際協力活動」「募金活動」なども5割を超えている。

問 31 あなたの地域での行動についておたずねします。次の(ア)から(キ)の活動について、これまでの参加経験と今後の参加意向をそれぞれ1つずつ選んでください。

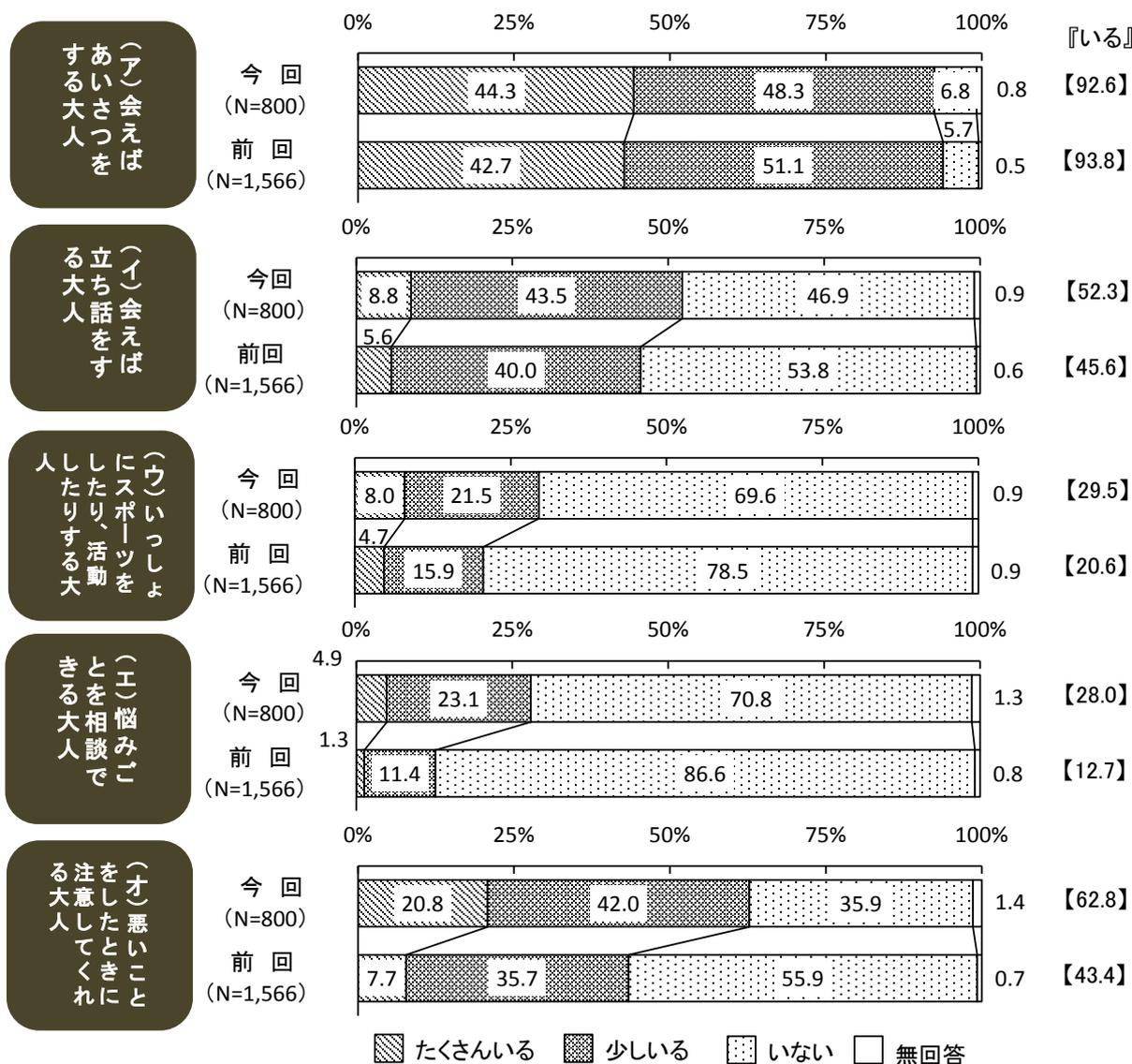
(%)

	今までの参加経験の有無			今後の参加意向			
	経験あり	経験なし	無回答	た積 い極 的 に 参 加 し	ばき 参っ 加か しけ たが いあ れ	は参 加す るつ もり	無 回 答
(N=800)							
(ア)子ども会や公民館などでの活動	73.0	24.9	2.1	9.9	45.8	40.3	4.1
(イ)体育・スポーツ大会や盆踊り大会などのお祭り	78.4	19.3	2.4	24.0	46.9	25.5	3.6
(ウ)地域の環境美化や資源物回収に関する活動	58.8	38.9	2.4	11.4	53.5	30.9	4.3
(エ)高齢者や障がい者のための福祉に関する活動	19.9	77.3	2.9	9.1	55.6	31.1	4.1
(オ)外国人との交流や国際協力に関する活動	21.1	75.5	3.4	15.0	52.3	28.9	3.9
(カ)募金活動やチャリティーバザーなどの活動	28.8	68.4	2.9	14.3	52.9	29.1	3.8
(キ)災害支援のための活動	12.0	85.0	3.0	16.4	57.8	22.0	3.9

(6) 近所の大人との関係

■ 「会えばあいさつをする大人」が『いる』中高生世代は9割以上と前回とほぼ同じである。  
 ■ 「会えば立ち話をする大人」「スポーツをいっしょにする大人」「悩みごとを相談できる大人」「悪いことをしたときに注意してくれる大人」はすべて前回よりも『いる』が増加している。

問 32 あなたには、次のような関係の「近所の大人」はいますか。(ア) から (オ) のそれぞれについて、1つずつ選んでください。

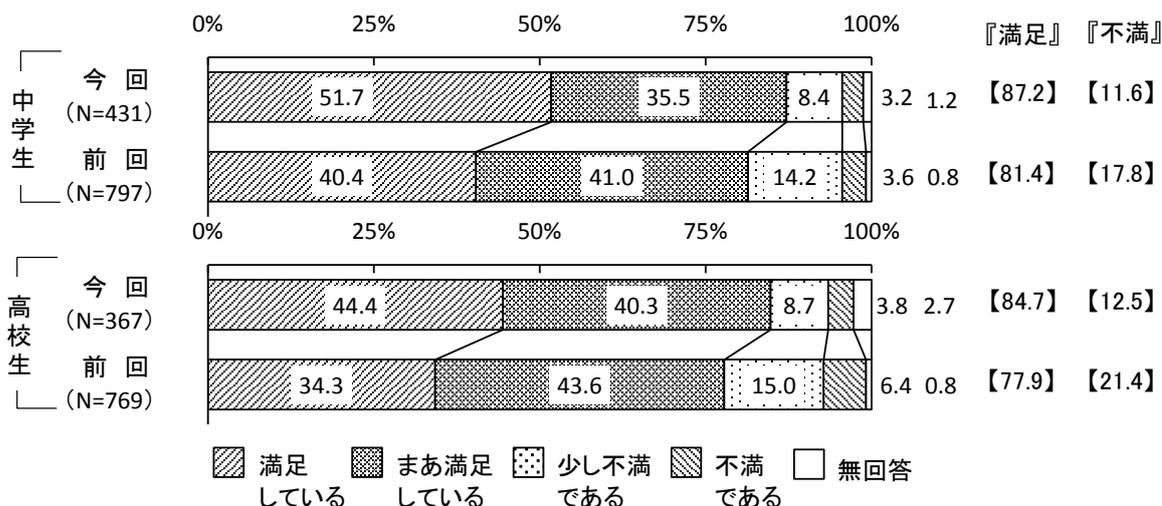


### 3. 家族や家庭

#### (1) 家庭生活の満足度

- 中学生の約9割、高校生世代の約8割が家庭生活に満足している。
- 前回よりも満足度は中学生で5.8ポイント、高校生世代で6.8ポイント高くなっている。

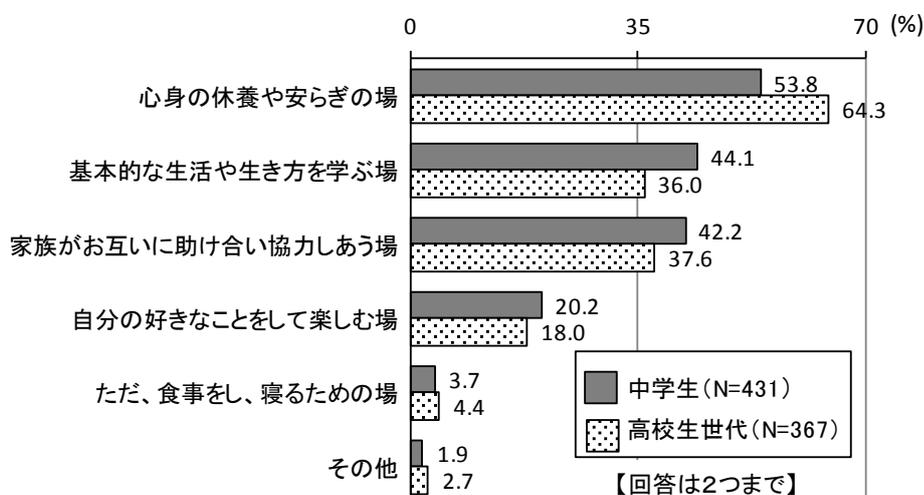
問 25 あなたは、今の自分の家庭での生活にどのくらい満足していますか。(〇は1つ)



#### (2) 家庭に対する意識

- 中高生世代とも、家庭は「心身の休養や安らぎの場」が最も高い。

問 29 あなたにとって家庭とは、どんなものですか。(〇は2つまで)

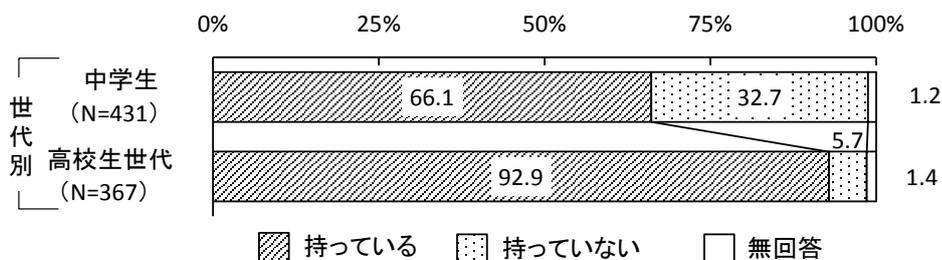


#### 4. 携帯電話やインターネットの使用状況

##### (1) 携帯電話やスマートフォンなどの有無

■携帯電話やスマートフォンを「持っている」中学生は約7割、高校生世代は約9割。

問 33 あなたは携帯電話やスマートフォン、パソコンを持っていますか。(○は1つ)



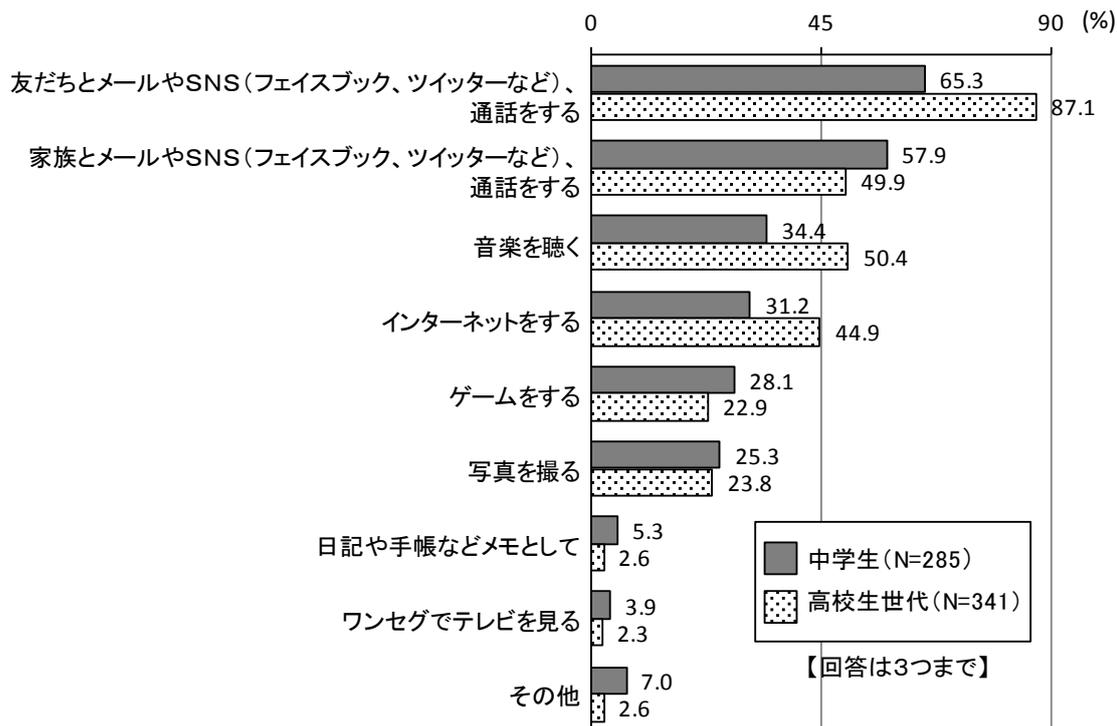
##### (2) 携帯電話やスマートフォンなどの使用目的

■携帯電話やスマートフォンの使用目的は中学生では「友だちとのメールや通話」「家族とのメールや通話」が6割前後で主となっている。

■高校生世代では「友だちとメールや通話」が約9割と圧倒的に高く、音楽やインターネットの使用も中学生に比べ多い。

問 33-1 携帯電話やスマートフォンやパソコンなどをどのような目的で使うことが多いですか。

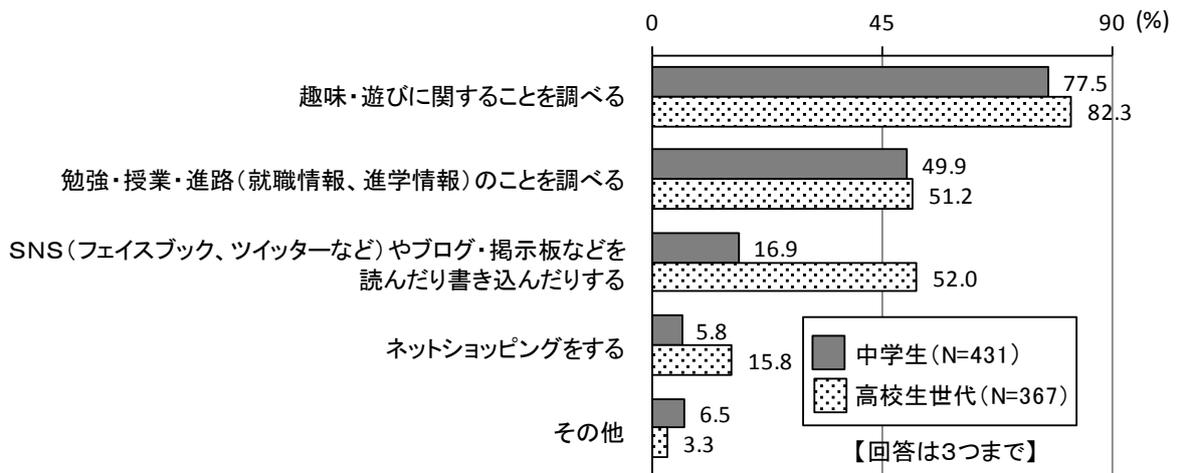
(○は3つまで)



(3) インターネットの使用目的

- インターネットの使用目的は中高生世代とも「趣味・遊びに関することを調べる」「勉強・授業・進路のことを調べる」が多い。
- 高校生世代では「SNSやブログ・掲示板などを読んだり書き込んだりする」の使用も約5割と高い。

問 34 あなたはインターネットを主にどのような目的で使うことが多いですか。(〇は3つまで)

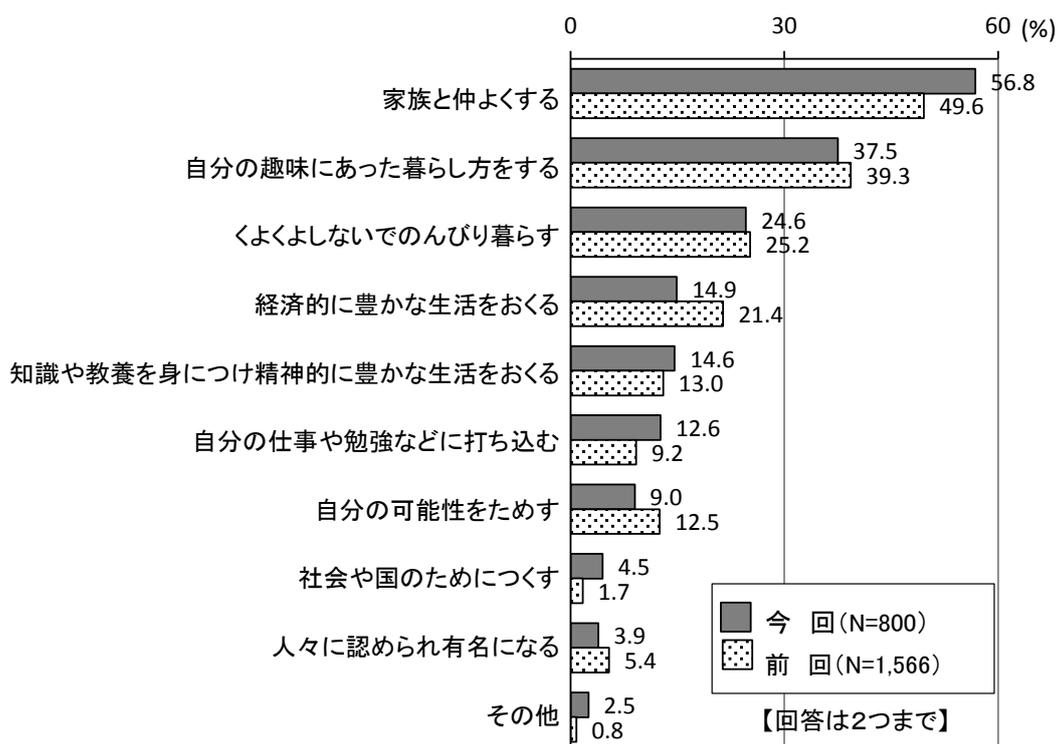


## 5. 将来について

### (1) 希望する暮らし方

- 希望の暮らし方は「家族と仲よくする」、「自分の趣味にあった暮らし方をする」が高い。
- 前回よりも「家族と仲よくする」は7.2ポイント高く、「経済的に豊かな生活をおくる」は6.5ポイント減少。

問16 人の暮らし方について、いろいろな考え方がありますが、あなたはどのような暮らし方をしたいと思いますか。(〇は2つまで)

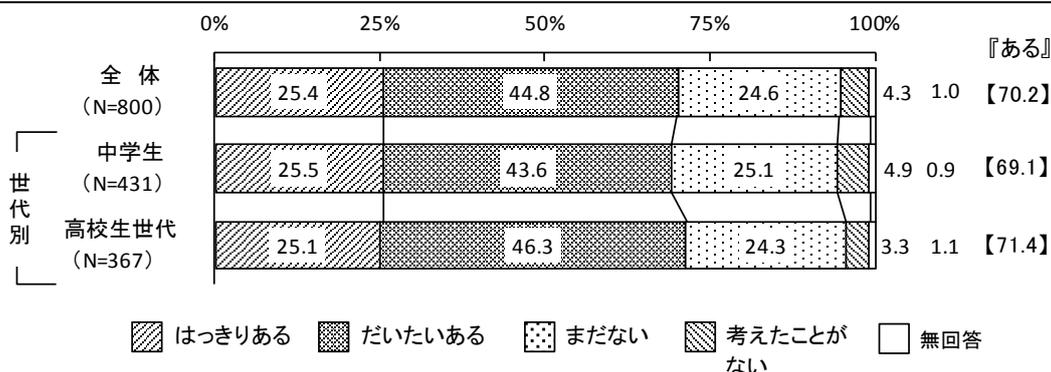


### (2) 将来の目標

#### ① 将来の目標の有無

- 中高生世代とも将来の目標が『ある』は約7割。

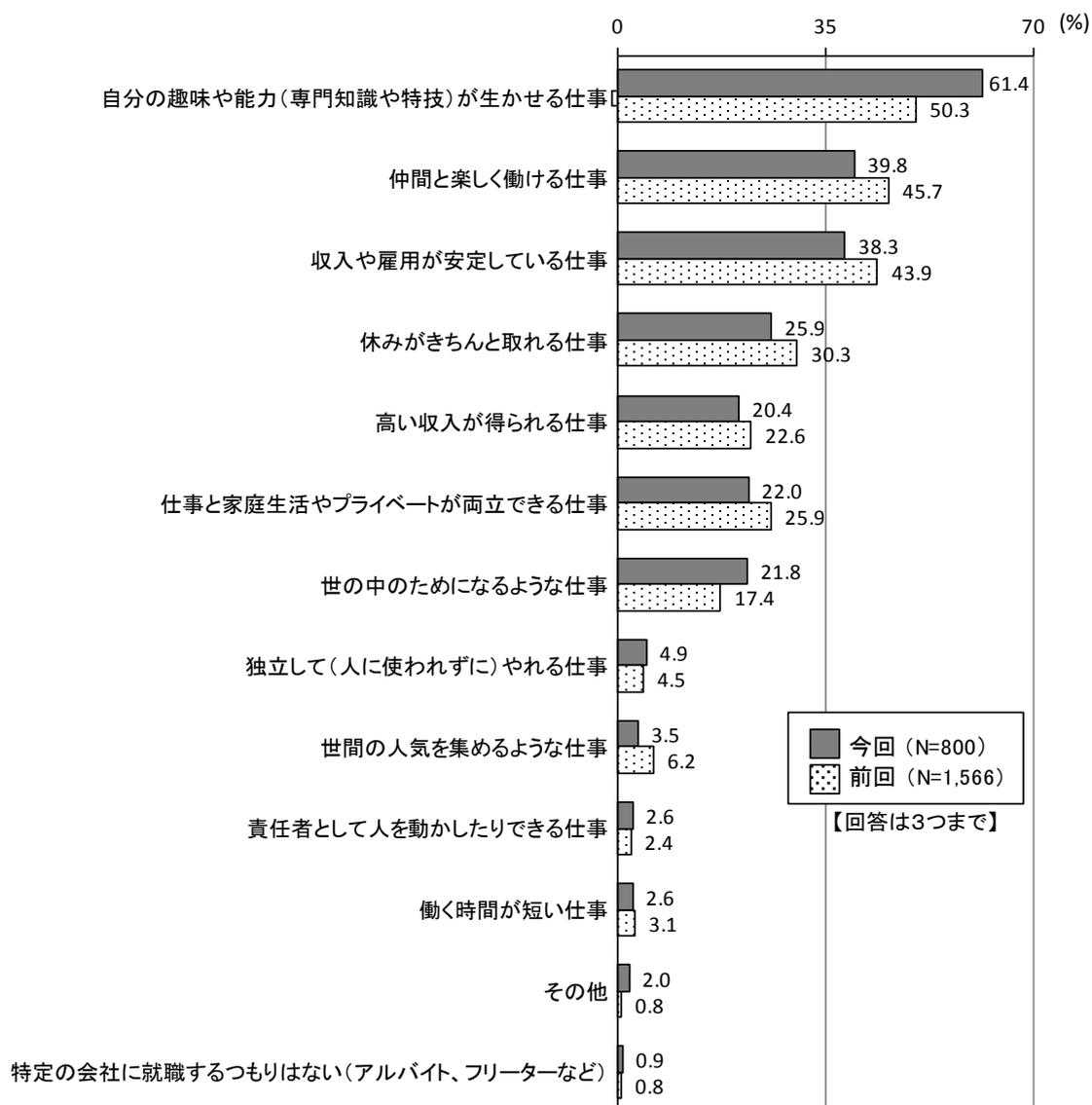
問17 あなたは将来の目標がありますか。(〇は1つ)



## ②将来就きたい仕事

- 中高生世代の将来就きたい仕事は「自分の趣味や能力が生かせる仕事」が約6割で最も高い。
- 前回と比べ「自分の趣味や能力が生かせる仕事」は11.1ポイント高くなっており、「仲間と楽しく働ける仕事」「収入や雇用安定している仕事」「休みがきちんと取れる仕事」などは減少。

問 18 将来、あなたがつきたいと思う仕事は次のどれですか。(○は3つまで)



# 青年（18～30歳）

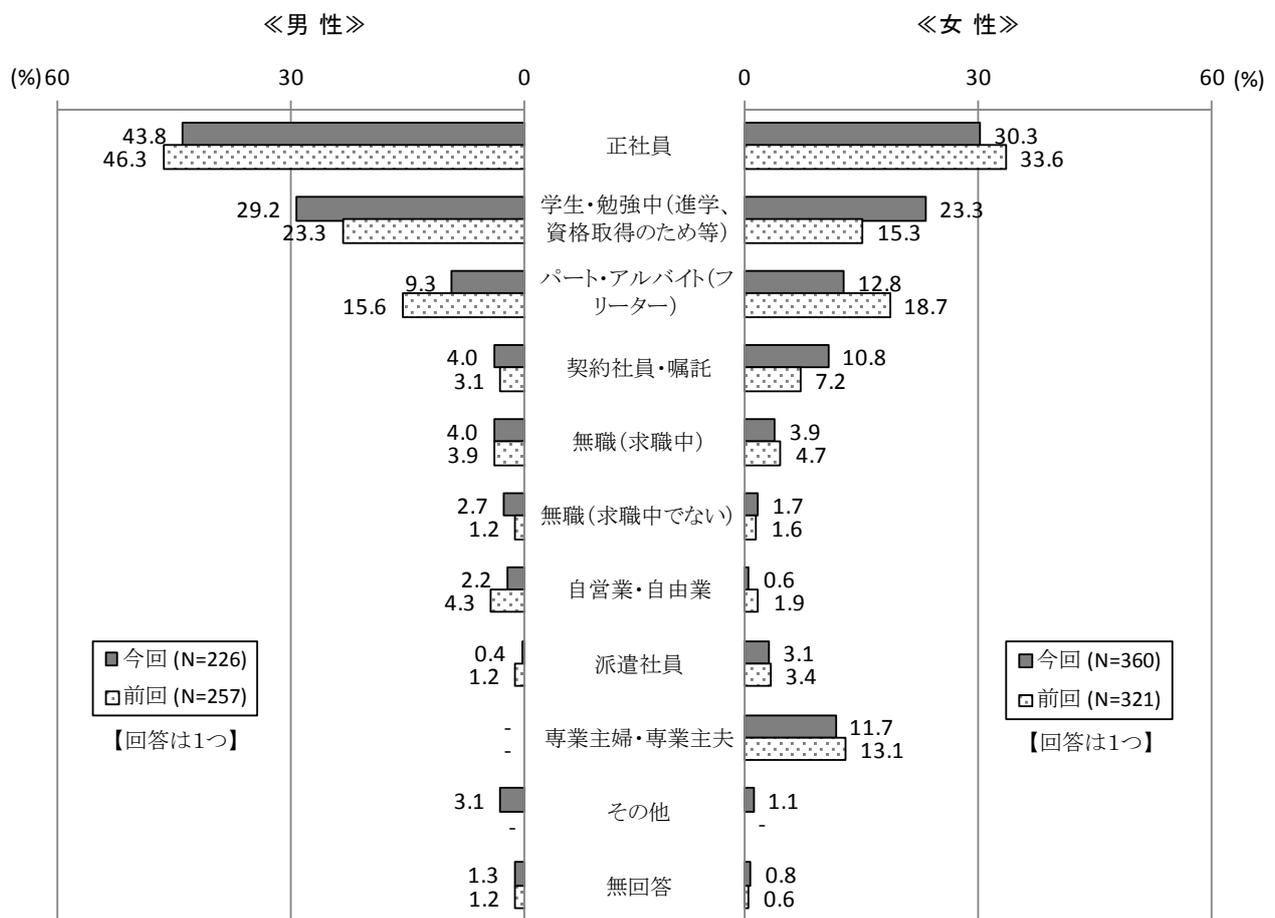
## 1. 就業・就学状況

### （1）現在の仕事・就学等の状況

#### ①現在の仕事・就学等の状況

- 男女とも正社員の割合が最も高くなっているが、前回に比べて減少している。
- 前回に比べて「学生・勉強中」が増加している。女性では「契約社員・嘱託」が増加。

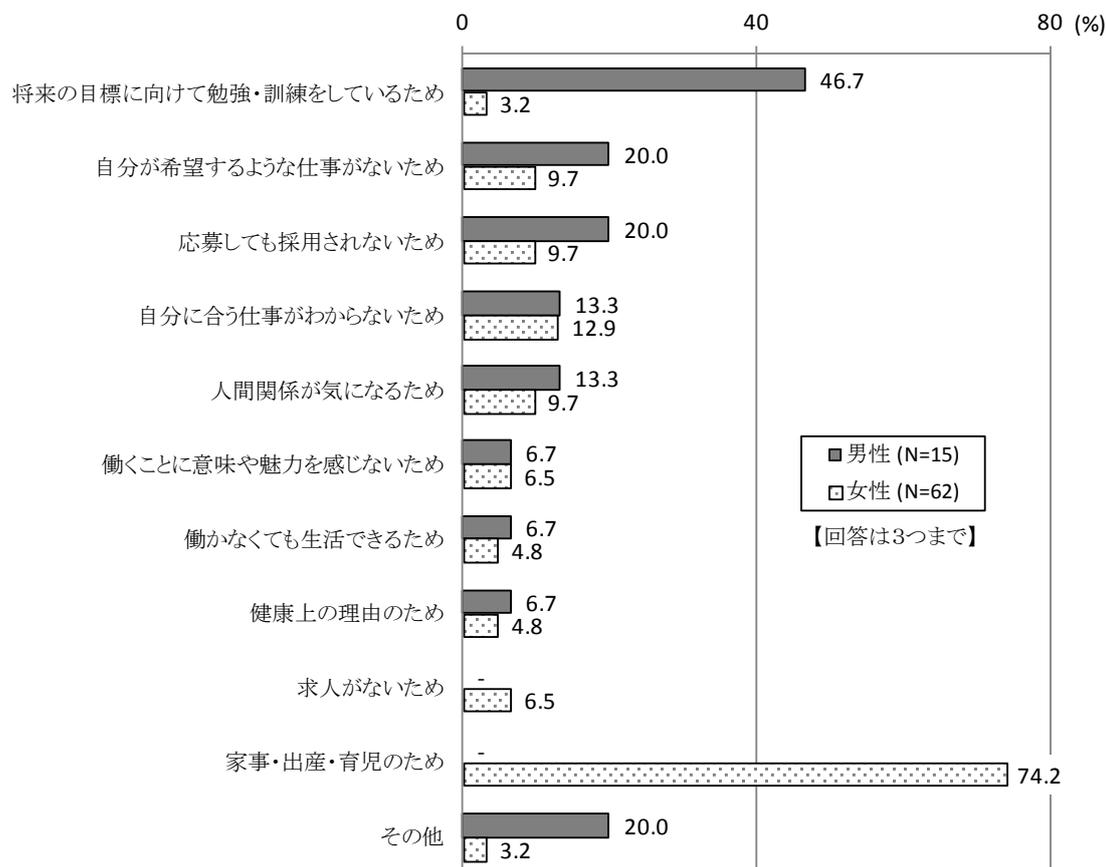
問 16 現在の仕事や就学等の状況はどのようになっていますか。（〇は1つ）



②働いていない理由

■男性では「将来の目標に向けての勉強・訓練」が約半数、女性では「家事・出産・育児」が7割強で最も高い。

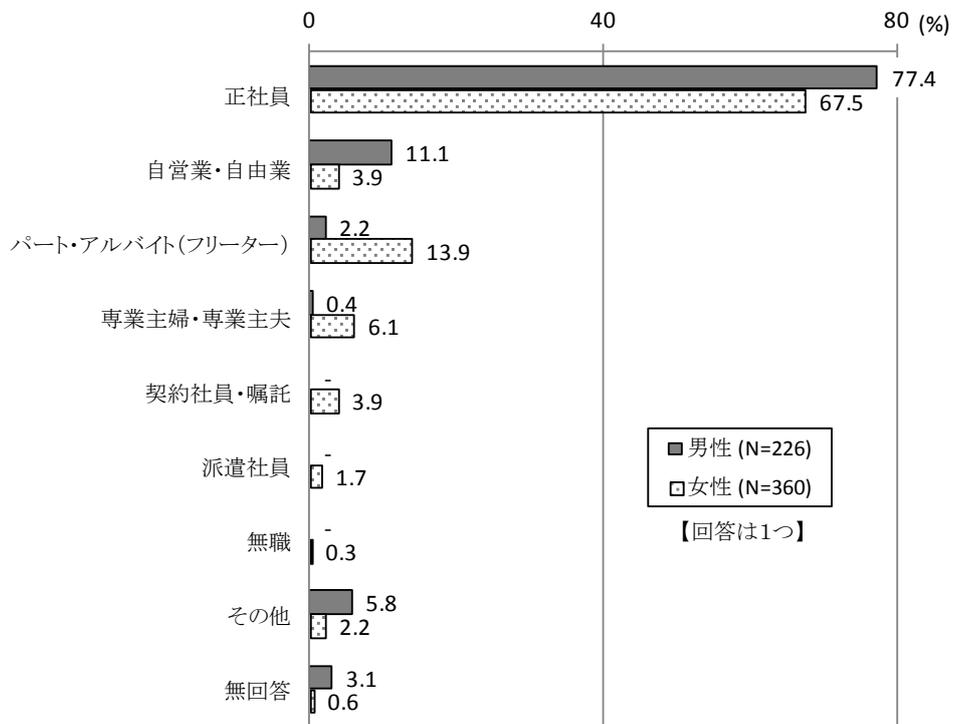
問 16-2 現在働いていない人で、その理由は何ですか。(〇は3つまで)



（2）今後希望する働き方

- 男女とも「正社員」を希望する人が7割前後で圧倒的に高い。
- 女性では「パート・アルバイト」が男性に比べ10ポイント以上高い。

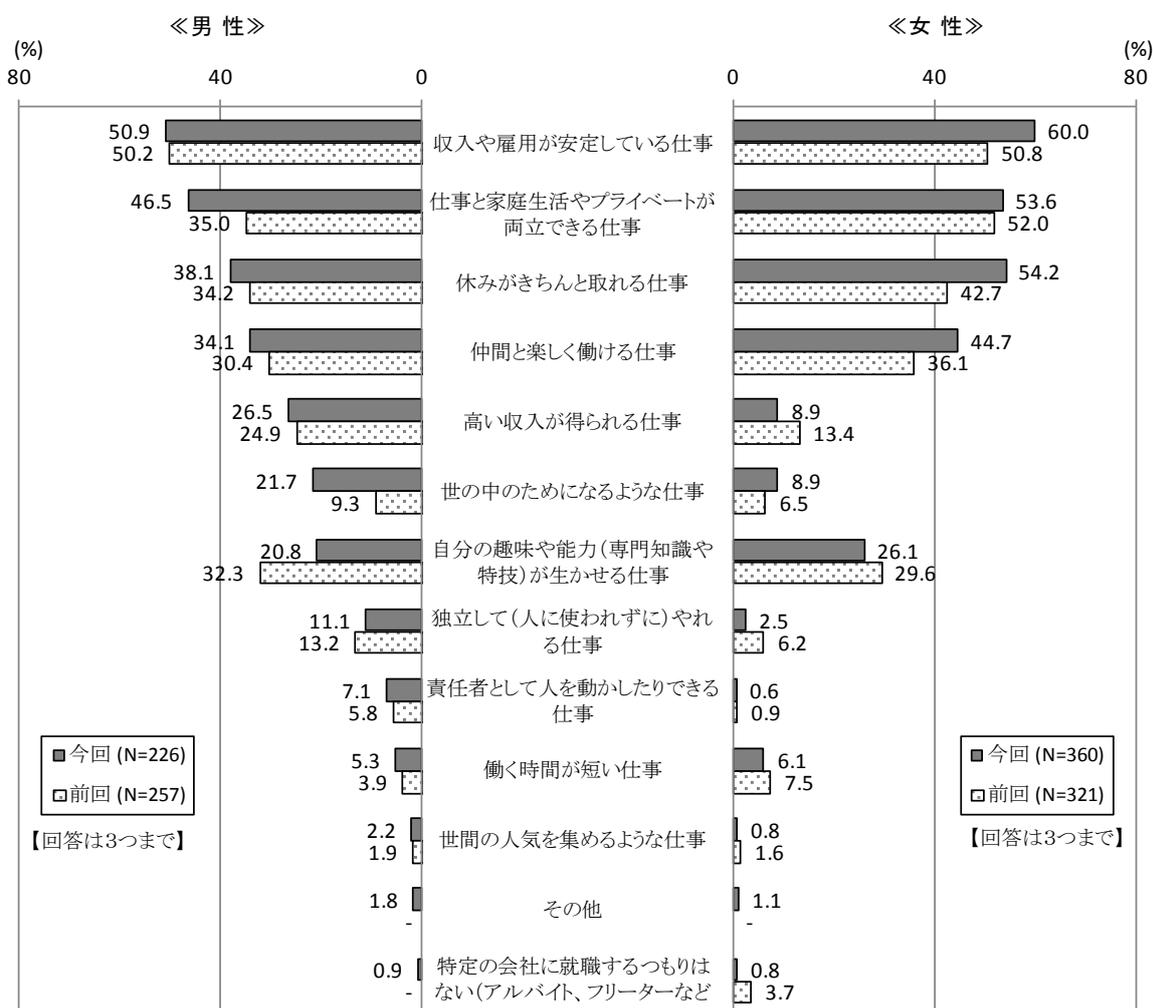
問17 今後、どのような働き方を希望しますか。（○は1つ）



(3) 将来希望する仕事

- 男女とも「収入や雇用が安定」を望む人が最も多い。
- 男性では「高い収入」「世の中のためになる」仕事を希望する割合が女性に比べて高い。
- 前回調査と比較すると、男女ともに「自分の趣味や能力を生かせる」仕事が減少し、男性は「世の中のためになる」仕事が大きく増加している。女性では、「休みがきちんと取れる」「仲間と楽しく働ける」仕事などが増加している。

問 18 仕事への将来の希望はどれですか。(〇は3つまで)

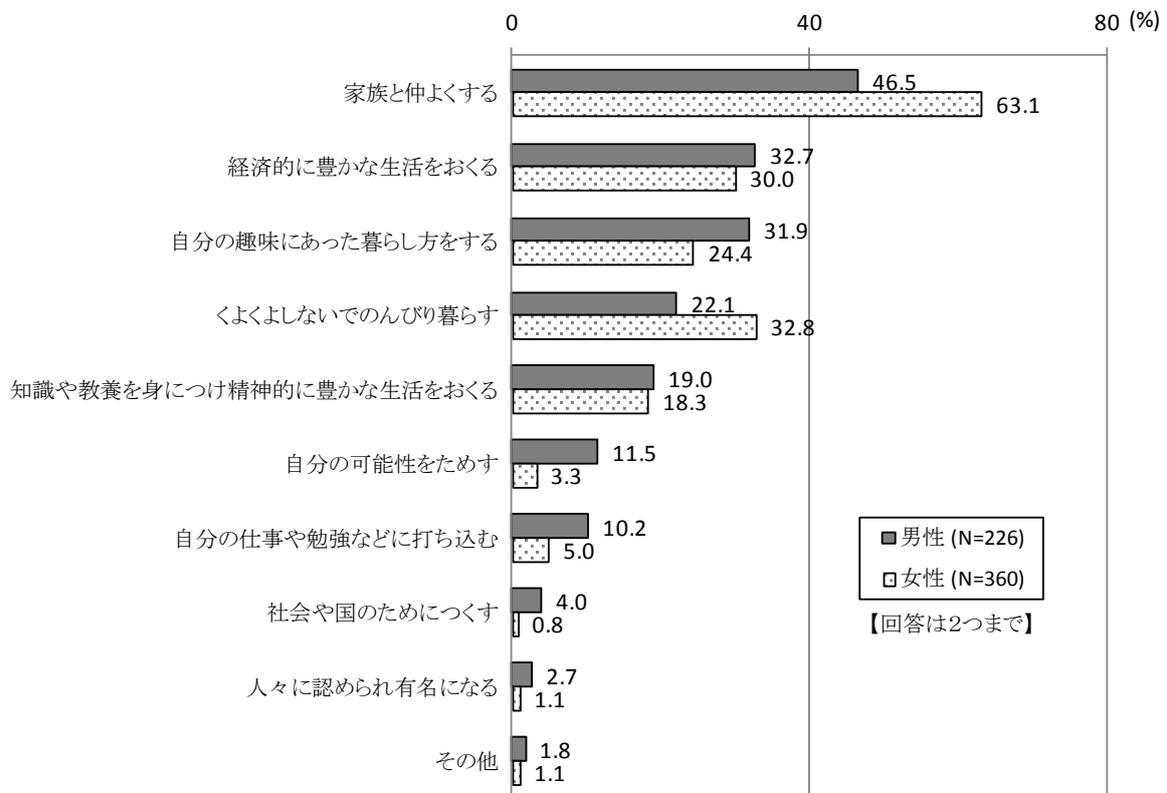


## 2. 生活意識と環境

### （1）希望する暮らし方

- 男女とも「家族と仲よく」が最も高く、特に女性では6割を超えて高くなっている。
- 「自分の趣味にあった暮らし」「自分の可能性をためす」「仕事や勉強に打ち込む」は男性の方が高く、「くよくよしないで暮らす」は女性の方が高い。

問 12 人の暮らし方について、いろいろな考え方がありますが、あなたはどのような暮らし方をしたいと思いますか。（〇は2つまで）

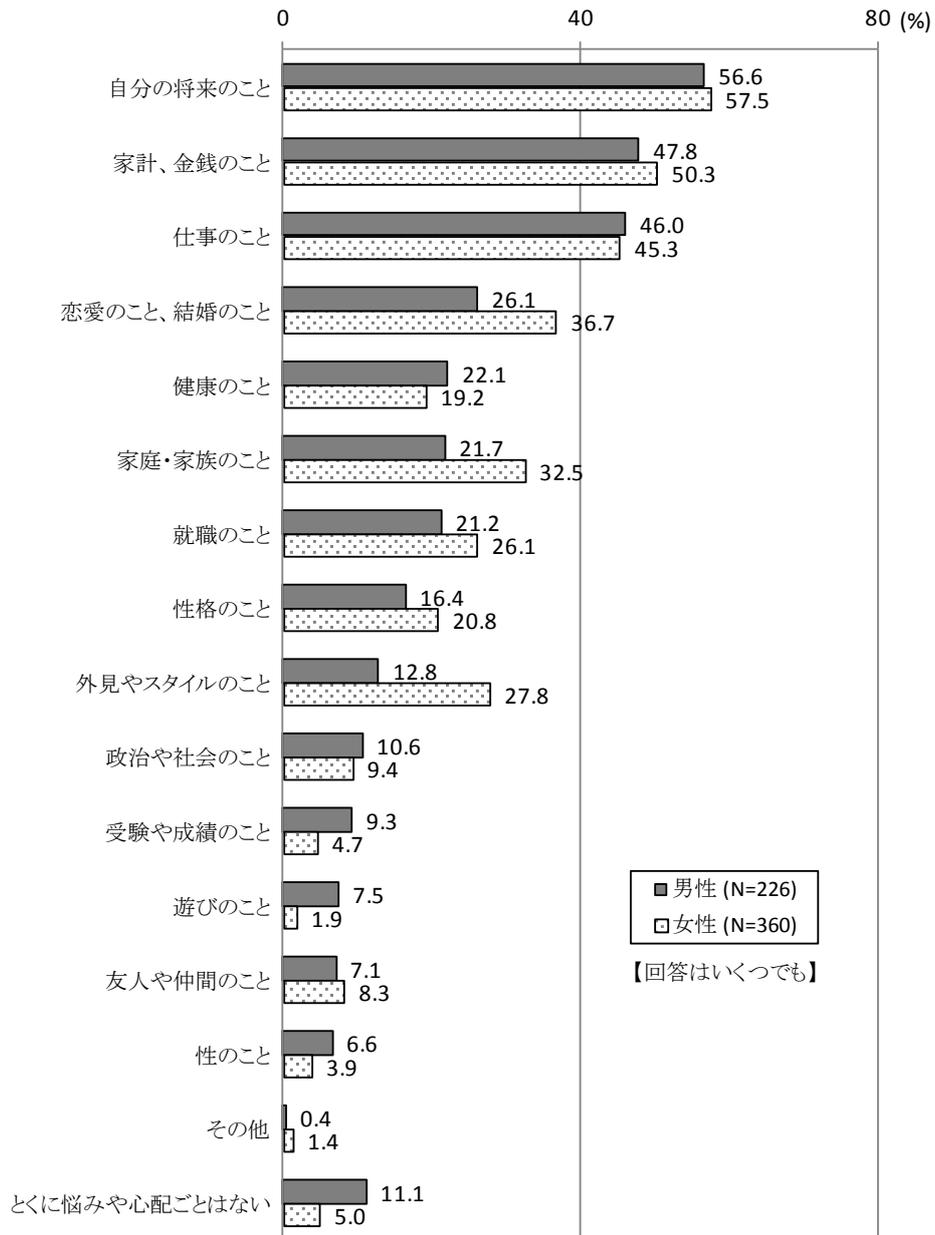


## (2) 悩みや心配ごとと相談相手

### ①現在の悩みや心配ごと

- 男女とも上位3位は、「自分の将来」「家計、金銭」「仕事」。
- 「恋愛、結婚」「家庭、家族」「外見やスタイル」は女性に多く、「とくにない」は男性に多い。

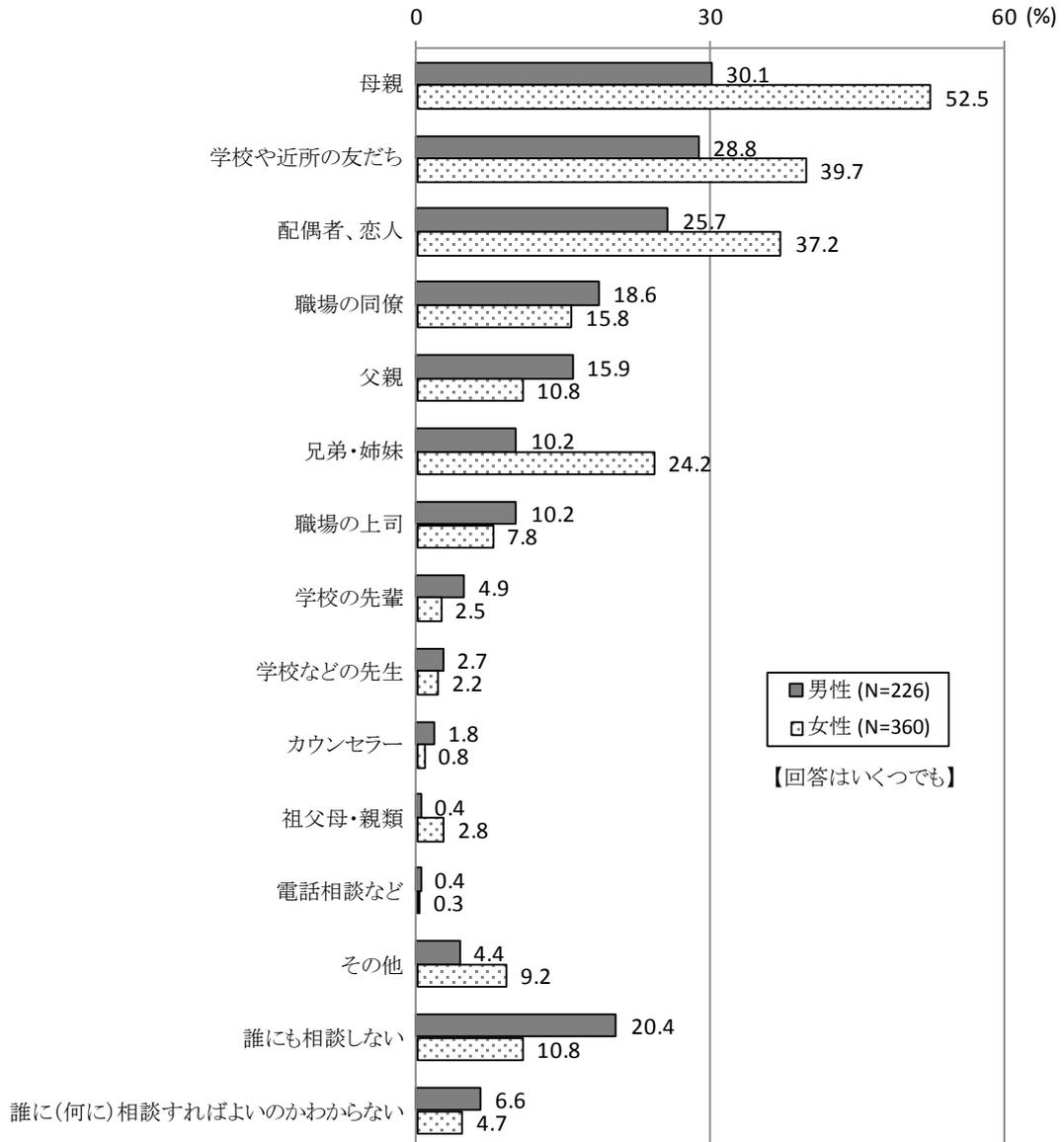
問 14 あなたには現在、どんな悩みや心配ごとがありますか。(〇はいくつでも)



②悩みや心配ごとの相談相手

- 男女とも上位3位は「母親」「友だち」「配偶者、恋人」だが、女性の方が特に高い。
- 「誰にも相談しない」割合は男性で20.4%と高い。

問 15 あなたは悩みや心配ごとを誰（何）に相談していますか。（〇はいくつでも）

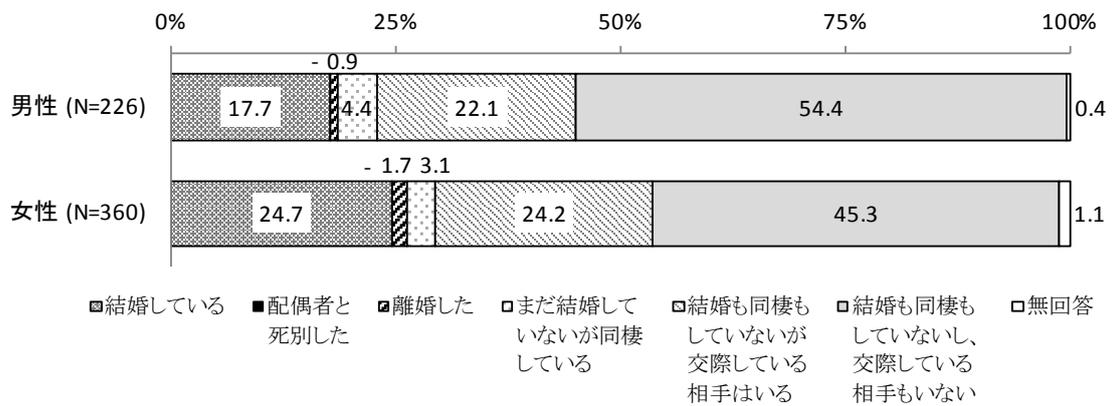


### 3. 結婚と子育て

#### (1) 婚姻状況

- 結婚している人の割合は、女性で 24.7%、男性で 17.7%。
- 「相手がない」人は、男性では 54.4%、女性では 45.3%で、男性の方が約 10 ポイント高い。

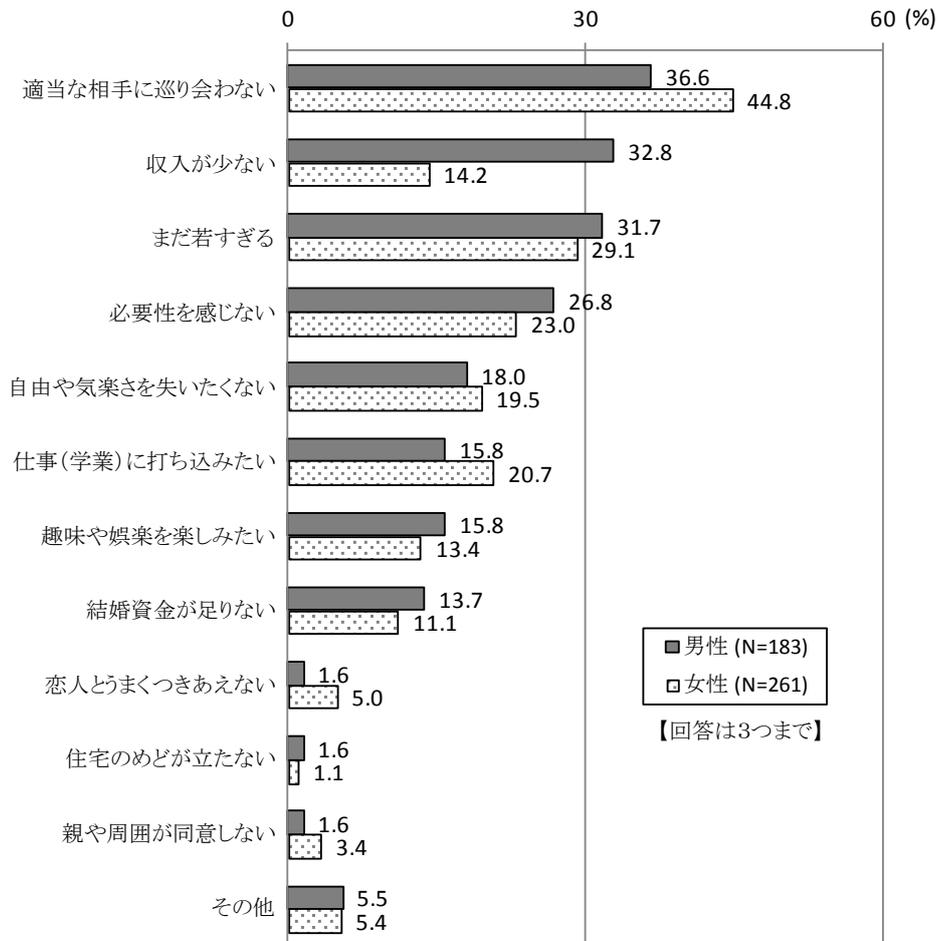
問 21 あなたは、現在、結婚していますか。(○は1つ)



（2）結婚していない理由

- 「適当な相手に巡り会わない」が男女とも最も高い。
- 「収入が少ない」を上げる割合は、男性が女性に比べて2倍以上高く、女性は「仕事（学業）に打ち込みたい」が男性より高い。

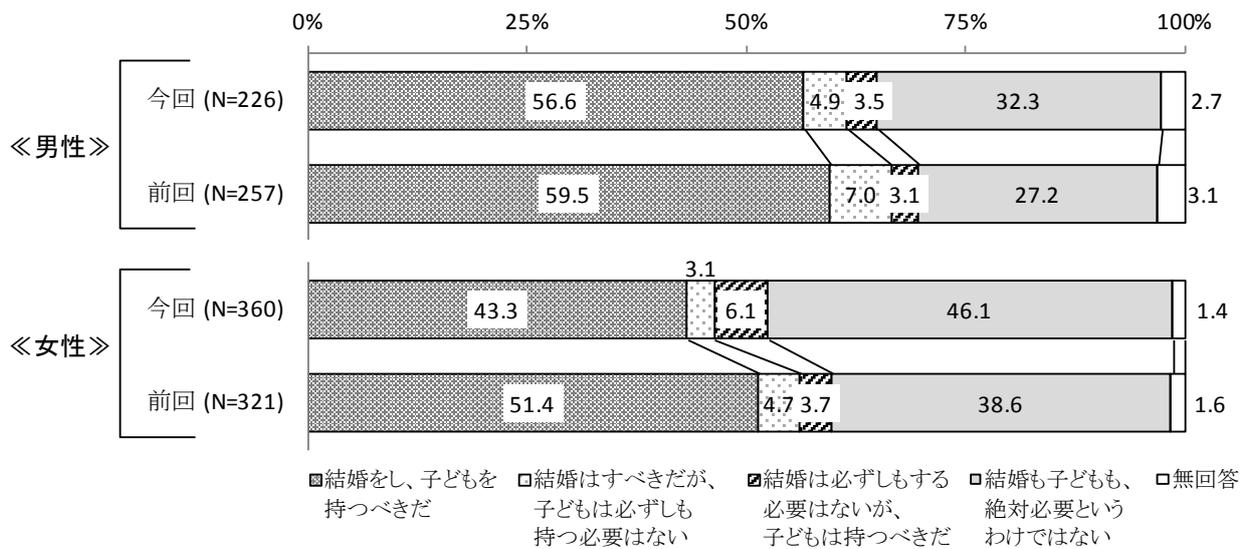
問 21-2 まだ結婚していない人について、その理由は何ですか。（〇は3つまで）



(3) 結婚や出産についての考え

- 男性は「結婚をし、子どもを持つべき」が過半数を超えて高く、女性は「結婚も子どもも必要というわけではない」が46.1%で最も高い。
- 前回と比べると、男女とも「結婚をし、子どもを持つべき」は減少し、「結婚も子どもも必要というわけではない」が増加している。

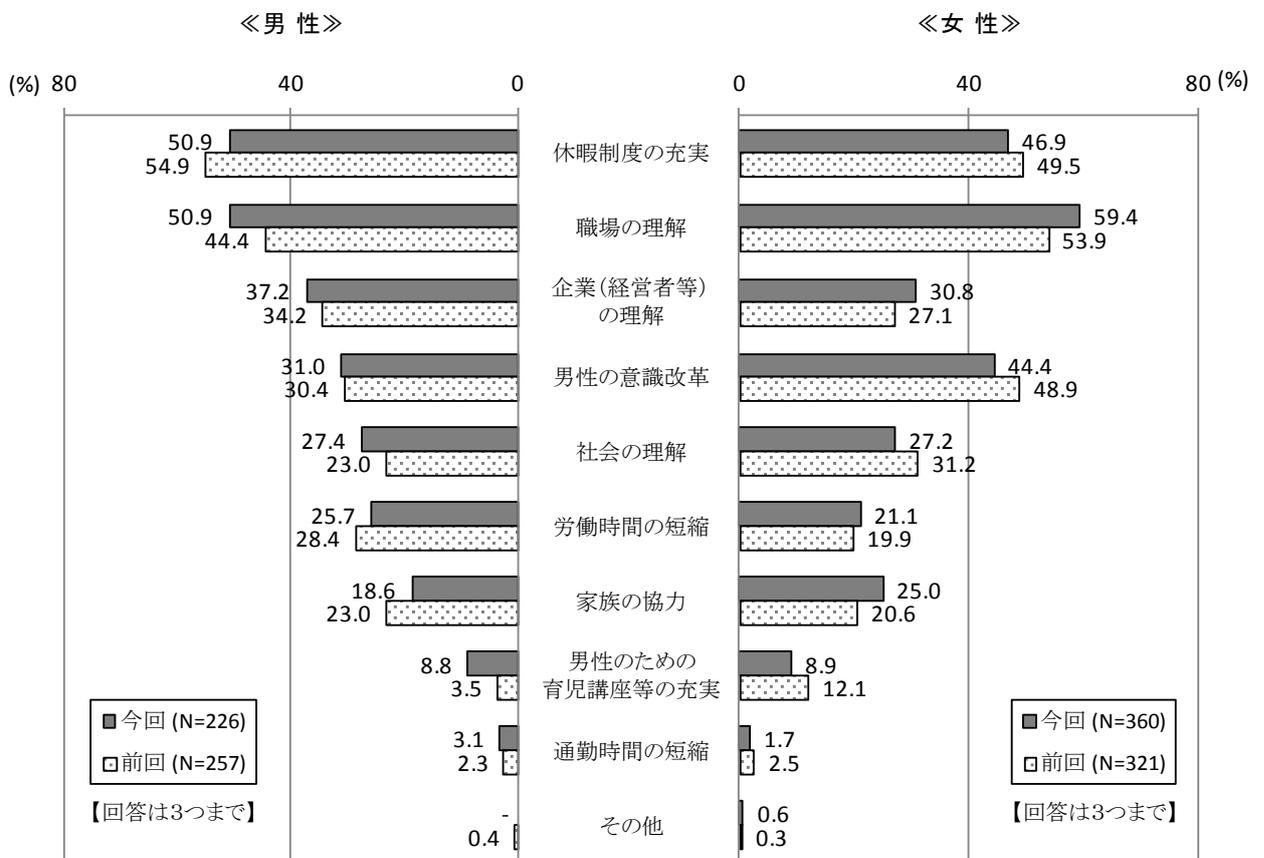
問 24 結婚や出産について、あなたはどのような考えを持っていますか。(〇は1つ)



（4）男性の子育てに必要なこと

- 男女とも「休暇制度の充実」「職場の理解」の割合が5割前後と高くなっている。女性では「男性の意識改革」が44.4%で男性の31.0%に比べて高い。
- 前回と比べると、「休暇制度の充実」は減少し、「職場の理解」「企業の理解」は男女ともに増加している。男性では、「社会の理解」「男性のための育児講座等の充実」が増加しているのに対して、女性では「家族の理解」の増加が目立っている。

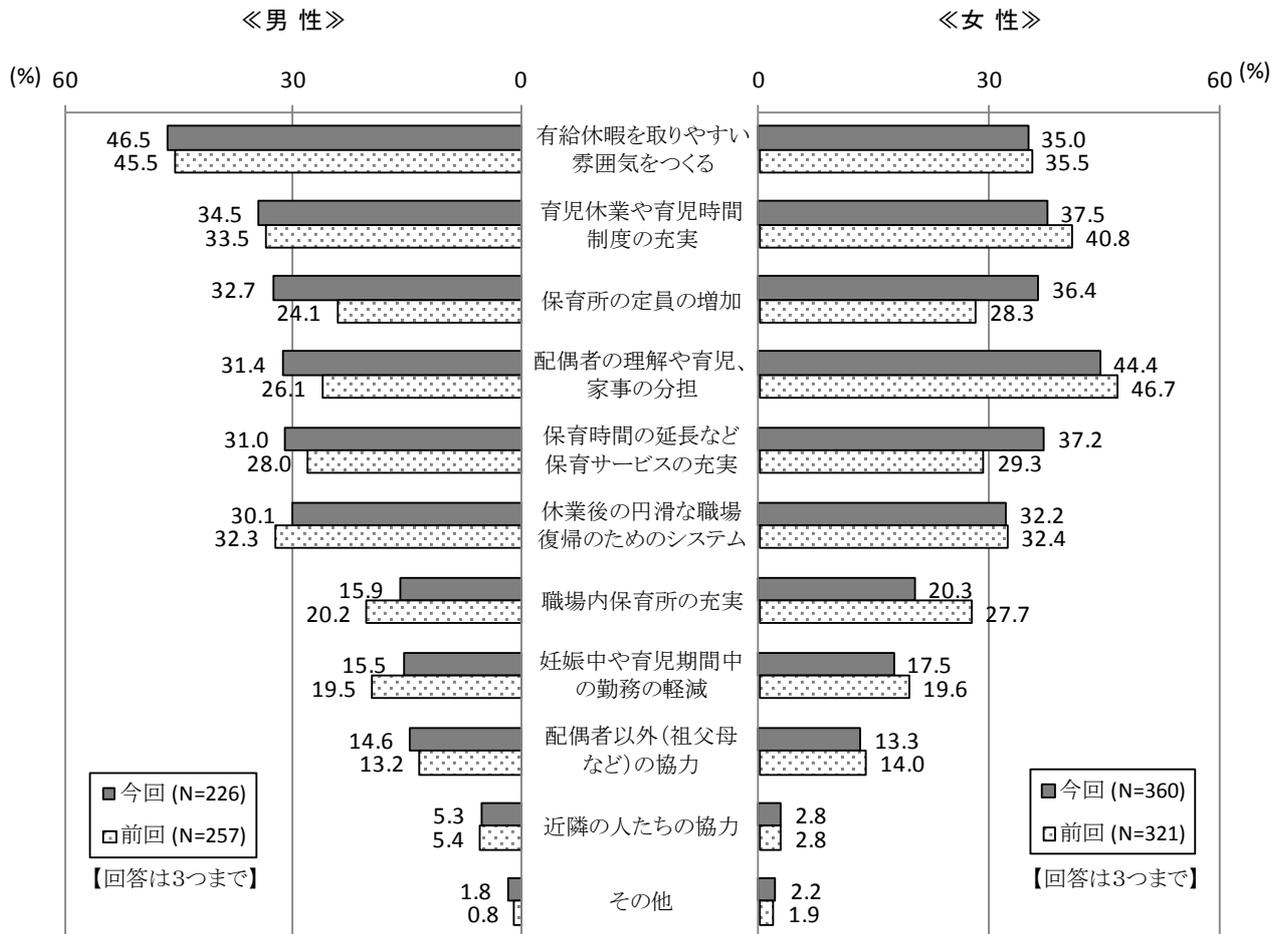
問 26 あなたは、男性が子育てに積極的に関わるために特に必要なものは何だと思えますか。  
 （〇は3つまで）



(5) 子育てと仕事の両立に必要なこと

- 男性は「有給休暇を取りやすく」が、女性は「配偶者の理解や育児・家事の分担」が1位。
- 前回と比べると、「保育所の定員の増加」や「保育サービスの充実」が増加している。

問 27 子育てと仕事を両立させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

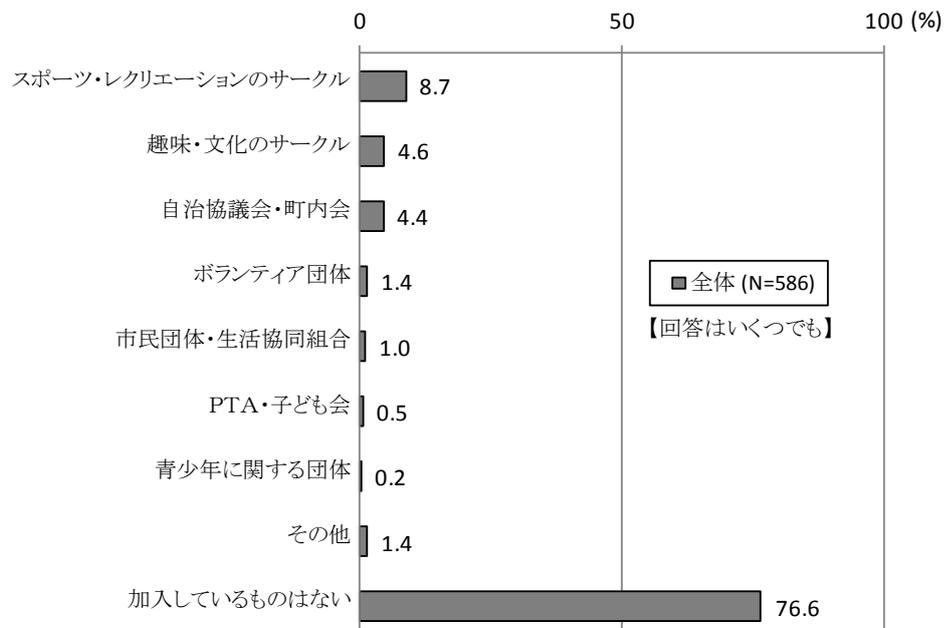


#### 4. 地域との関わり

##### (1) 加入している団体、サークル

■「加入しているものはない」が76.6%で圧倒的に高い。

問6 次にあげる団体やサークルのうち、あなたが加入しているものがありますか。（○はいくつでも）



##### (2) 近所づきあいの程度

■近所づきあいは「あいさつ程度」が64.2%で最も高く、「つきあいはない」人も26.3%いる。

問28 あなたは、近所づきあいをどの程度していますか。（○は1つ）

